

住民対話討論会の結果報告について

平成16年12月1日

近畿地方整備局

<目次>

1. 河川敷保全と利用に関する対話討論会
 1. 1 淀川河川事務所管内
 1. 1. 1 円卓会議アンケート
 1. 1. 2 円卓会議総括報告（淀川河川事務所管内実施分）
 1. 1. 3 ファシリテータとの検討会資料
 1. 2 琵琶湖河川事務所管内
 1. 2. 1 対話討論会（円卓会議）について
 1. 2. 2 ファシリテータとの検討会資料
河川敷ニュース1
河川敷ニュース2
 1. 3 猪名川河川事務所管内
 1. 3. 1 住民対話討論会について
 1. 3. 2 ファシリテータとの検討会資料

2. ダムに関する対話討論会
 2. 1 大戸川ダム（大戸川ダム工事事務所）
 2. 1. 1 対話討論会（円卓会議）について
 2. 2 余野川ダム（猪名川総合開発工事事務所）
 2. 2. 1 対話討論会（円卓会議）について
 2. 2. 2 ファシリテータとの検討会資料
 2. 2. 3 余野川ダムについての住民対話討論会 総括報告
 2. 3 川上ダム（木津川上流河川事務所）
 2. 3. 1 住民対話討論会について
 2. 3. 2 ファシリテータとの検討会資料
 2. 3. 3 木津川上流住民対話集会 提案書
 2. 4 天ヶ瀬ダム再開発（琵琶湖河川事務所）
 2. 4. 1 住民対話討論会について
 2. 4. 2 ファシリテータとの検討会資料
天ヶ瀬ダムワーク（1）にゆ一す第1号
天ヶ瀬ダムワーク（1）にゆ一す第2号
天ヶ瀬ダムワーク（1）にゆ一す第3号
天ヶ瀬ダムワーク（1）にゆ一す第4号
 2. 4. 3 天ヶ瀬ダムワーク 意見書
 2. 5 丹生ダム（琵琶湖河川事務所）
 2. 5. 1 住民対話討論会について
 2. 5. 2 ファシリテータとの検討会資料
丹生ダムかわら版1
丹生ダムかわら版2
丹生ダムかわら版3
丹生ダムかわら版4
 2. 5. 3 丹生ダム対話討論会 報告書

流域委員会への住民対話討論会結果報告一覧

報告会議名	報告日	資料番号	関係河川
第27回委員会	H15.12.9	参考資料2-1	淀川
		参考資料2-2	淀川
第28回委員会	H16.2.26	資料4-3	琵琶湖、大戸川、余野川
		河川敷ニュース1	琵琶湖
		天ヶ瀬ダムワーク(1)にゆーす第1号	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		天ヶ瀬ダムワーク(1)にゆーす第2号	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		丹生ダムかわら版1	姉川・高時川(丹生ダム)
		丹生ダムかわら版2	姉川・高時川(丹生ダム)
		丹生ダムかわら版3	姉川・高時川(丹生ダム)
第29回委員会	H16.5.8	資料5	猪名川、木津川上流、宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)、姉川・高時川(丹生ダム)
ファシリテーターとの検討会	H16.5.15	資料2	淀川
		資料3	猪名川
		資料4	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		資料5-1～5-5	木津川上流
		資料6	余野川(余野川ダム)
		資料7	姉川・高時川(丹生ダム)
		河川敷ニュース1	琵琶湖
		河川敷ニュース2	琵琶湖
		天ヶ瀬ダムワーク(1)にゆーす第1号	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		天ヶ瀬ダムワーク(1)にゆーす第2号	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		天ヶ瀬ダムワーク(1)にゆーす第3号	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		天ヶ瀬ダムワーク(1)にゆーす第4号	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		丹生ダムかわら版1	姉川・高時川(丹生ダム)
		丹生ダムかわら版2	姉川・高時川(丹生ダム)
		丹生ダムかわら版3	姉川・高時川(丹生ダム)
丹生ダムかわら版4	姉川・高時川(丹生ダム)		
木津川上流住民対話集会 提案書	H16.9.25		木津川上流
第9回ダムWG	H16.12.1	余野川ダムについての住民対話討論会	余野川(余野川ダム)
		天ヶ瀬ダムワーク 意見書	宇治川(天ヶ瀬ダム再開発)
		丹生ダム対話討論会 報告書	姉川・高時川(丹生ダム)

住民対話討論会について

	開催日時		ファシリテーター	河川名	会場		テーマ
淀川河川事務所	15/11/2	13:30～16:30	綾 史郎 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授	淀川下流	大阪市	大阪マーチャンダイズマートビル	河川敷保全と利用の方向性について
	15/11/9	13:30～16:30	片寄 俊秀 関西学院大学 総合政策学部 都市政策コース教授	木津川	京田辺市	京田辺市立中部住民センター	河川敷保全と利用の方向性について
	15/11/16	13:30～16:30	片寄 俊秀 関西学院大学 総合政策学部 都市政策コース教授	桂川・宇治川	京都市	京都市勤業館みやこめッセ	河川敷保全と利用の方向性について
	15/11/16	13:30～16:30	綾 史郎 大阪工業大学工学部都市デザイン工学科教授	淀川中流	枚方市	大阪歯科大学	河川敷保全と利用の方向性について
琵琶湖河川事務所	15/11/24	13:00～15:30	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて
	15/12/7	13:00～16:00	竺 文彦 龍谷大学理工学部 環境ソリューション工学科 教授	琵琶湖管内	守山市	守山商工会議所2F大ホール	河川敷保全と利用について
	15/12/20	13:00～15:30	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	彦根市	ひこね燦(さん)ばれす 多目的ホール	丹生ダムについて
	15/12/21	13:00～16:00	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	宇治市	宇治市産業会館 多目的ホール	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/1/17	13:00～15:30	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	長浜市	長浜ロイヤルホテル ロイヤルホール	丹生ダムについて
	16/1/25	13:00～16:00	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	大津市	大津市民会館 小ホール	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/2/7	13:00～16:00	竺 文彦 龍谷大学理工学部 環境ソリューション工学科 教授	琵琶湖管内	守山市	守山商工会議所	河川敷保全と利用について
	16/2/8	13:00～16:00	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	宇治市	宇治市産業会館 多目的ホール	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/3/27	13:00～16:00	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	大津市	ピアザ淡海	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/4/4	13:00～16:30	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて
	16/9/18	13:00～16:00	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	大津市	ピアザ淡海 大会議室	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/10/3	13:00～16:00	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて
	16/10/9	13:30～16:30	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	宇治市	宇治市民会館 ホール	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/10/16	13:00～16:00	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて
	16/10/31	13:00～16:00	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	宇治川	大津市	ピアザ淡海 大会議室	天ヶ瀬ダム再開発について
	16/11/23	13:00～16:00	久 隆浩 近畿大学理工学部社会環境工学科助教授	姉川・高時川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて
16/11/28	13:00～16:00	久保田 洋一 (株)関西総合研究所 研究フェロー	宇治川	宇治市	宇治市民会館 大ホール	天ヶ瀬ダム再開発について	

住民対話討論会について

	開催日時		ファシリテーター	河川名	会場		テーマ
猪名川河川事務所	15/12/7	13:30～16:30	片寄 俊秀 関西学院大学 総合政策学部 都市政策コース教授	猪名川	川西市	川西市商工会館経済交流センター	河川敷の保全と堤防天端や高水敷の利用について
	16/3/7	15:30～16:30	片寄 俊秀 関西学院大学 総合政策学部 都市政策コース教授	猪名川	豊中市	猪名川流域下水道原田処理場	河川敷の保全と堤防天端・河川敷の利用について
猪名川総合開発工事事務所	16/1/25	13:30～16:30	澤井 健二 摂南大学 工学部 都市環境システム工学科 教授	余野川	箕面市	箕面市立箕面文化センター 8F 大会議室	余野川ダムについて
	16/2/14	13:30～16:30	澤井 健二 摂南大学 工学部 都市環境システム工学科 教授	余野川	箕面市	箕面市立箕面文化センター 8F 大会議室	余野川ダムについて
大戸川ダム工事事務所	15/12/7	14:00～17:00	見上 崇洋 立命館大学 政策科学部教授	大戸川	京都市	京都リサーチパーク	大戸川ダムの計画見直し案について
	15/12/14	14:00～17:00	見上 崇洋 立命館大学 政策科学部教授	大戸川	大津市	大津商工会議所	大戸川ダムの計画見直し案について
	16/1/31	14:00～17:00	見上 崇洋 立命館大学 政策科学部教授	大戸川	大津市	大津商工会議所	大戸川ダムの計画見直し案について
木津川上流河川事務所	16/3/20	13:00～16:30	桑子 敏雄 NPO法人合意形成マネジメント協会理事長 東京工業大学教授兼	木津川上流	上野市	ゆめドーム上野第2競技場	川上ダムを含む木津川上流域の将来について
	16/6/5	10:30～16:30	桑子 敏雄 NPO法人合意形成マネジメント協会理事長 東京工業大学教授兼	木津川上流	上野市	ウェルサンピア伊賀 4階白鳳	川上ダムを含む木津川上流域の将来について
	16/7/18	10:00～16:30	桑子 敏雄 NPO法人合意形成マネジメント協会理事長 東京工業大学教授兼	木津川上流	上野市	上野フレックスホテル 2階 会議室	川上ダムを含む木津川上流域の将来について
	16/9/4	10:00～16:30	桑子 敏雄 NPO法人合意形成マネジメント協会理事長 東京工業大学教授兼	木津川上流	上野市	上野フレックスホテル 萩の間	川上ダムを含む木津川上流域の将来について
	16/9/25	10:00～15:30	桑子 敏雄 NPO法人合意形成マネジメント協会理事長 東京工業大学教授兼	木津川上流	上野市	ウェルサンピア伊賀 4階白鳳	川上ダムを含む木津川上流域の将来について

1. 河川敷保全と利用に関する対話討論会

1. 1 淀川河川事務所管内

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| 1. 1. 1 円卓会議アンケート | 1 ~ 3 4 |
| 1. 1. 2 円卓会議総括報告（淀川河川事務所管内実施分） | 3 5 ~ 3 9 |
| 1. 1. 3 ファシリテータとの検討会資料 | 4 0 ~ 8 2 |

円卓会議アンケート結果

<目次>

4会場総合	1
大阪地区	5
京田辺地区	14
枚方地区	20
京都地区	27

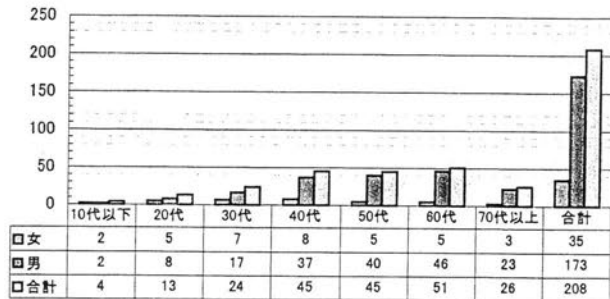
円卓会議アンケート結果（4会場トータル）

年代・性別

回収枚数 209 回答数 208 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	2	2	4
20代	5	8	13
30代	7	17	24
40代	8	37	45
50代	5	40	45
60代	5	46	51
70代以上	3	23	26
合計	35	173	208

参加者の年代・性別？

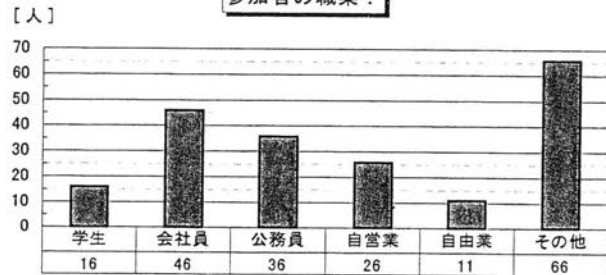


職業

回収枚数 209 回答数 209 回答率 100%

学生	16
会社員	46
公務員	36
自営業	26
自由業	11
その他	66
無回答	8
合計	209

参加者の職業？

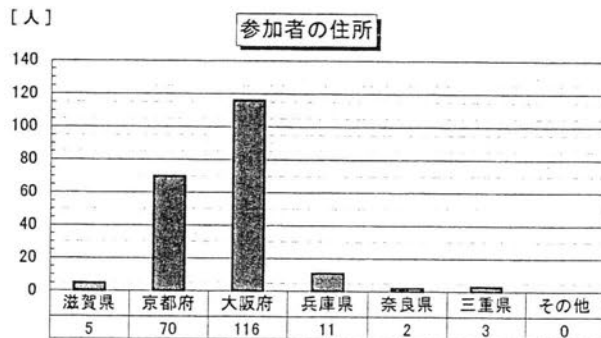


住所

回収枚数 209 回答数 209 回答率 100%

滋賀県	5
京都府	70
大阪府	116
兵庫県	11
奈良県	2
三重県	3
その他	0
無回答	2
合計	209

参加者の住所



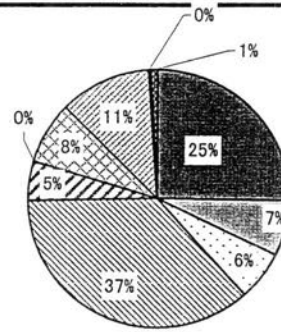
円卓会議アンケート結果（4会場トータル）

Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 209 | 回答数 246 | 回答率 118%

淀川河川事務所から案内があった	62
行政関係者から紹介された	17
知人から紹介された	15
新聞折り込みチラシ	90
新聞記事	12
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	19
流域委員で知った	28
その他	1
無回答	2
合計	246

この円卓会議を何で知りましたか？



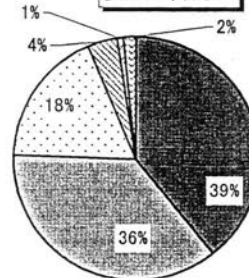
- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他
- 無回答

Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 209 | 回答数 343 | 回答率 164%

河川敷の保全に関心があった	134
河川敷の利用に関心があった	125
どのような会なのかに関心があった	62
発言者に応募した	13
発言者の知人だから	3
その他	6
合計	343

参加の目的？



- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのかに関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

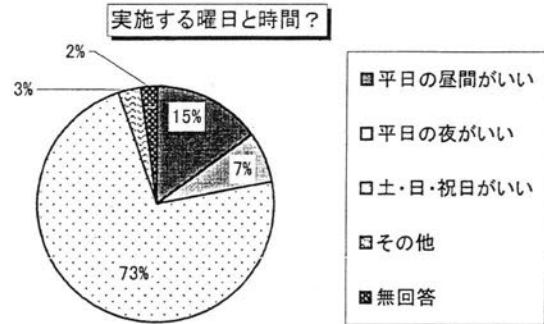
円卓会議アンケート結果（4会場トータル）

Q3. 円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1. 実施する曜日と時間について

回収枚数 209 | 回答数 213 | 回答率 102%

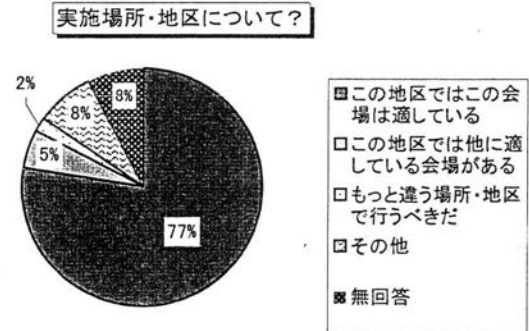
平日の昼間がいい	32
平日の夜がいい	15
土・日・祝日がいい	155
その他	6
無回答	5
合計	213



3・2. 実施場所・地区について

回収枚数 209 | 回答数 210 | 回答率 100%

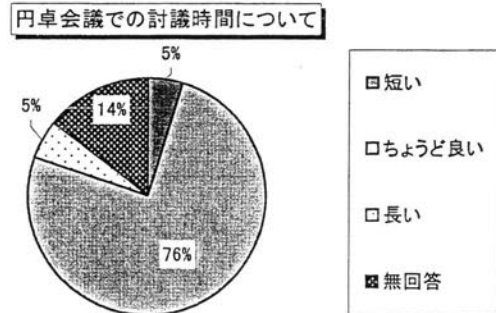
この地区ではこの会場は適している	163
この地区では他に適している会場がある	11
もっと違う場所・地区で行うべきだ	4
その他	16
無回答	16
合計	210



3・3. 円卓会議での討議時間について

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

短い	10
ちょうど良い	158
長い	11
無回答	30
合計	209



短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だとお思いですか。

回収枚数 209 | 回答数 14 | 回答率 7%

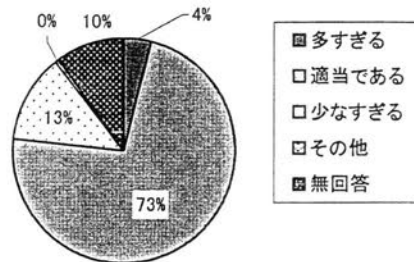
120分くらい	9
180分くらい	2
240分くらい	1
300分くらい	1
回数が必要	1
合計	14

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

多すぎる	8
適当である	152
少なすぎる	27
その他	1
無回答	21
合計	209

発言者の人数について

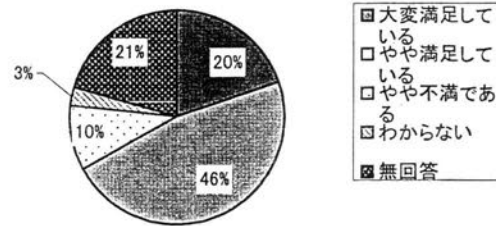


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

大変満足している	41
やや満足している	99
やや不満である	20
わからない	6
無回答	43
合計	209

ファシリテーターを置く方法について

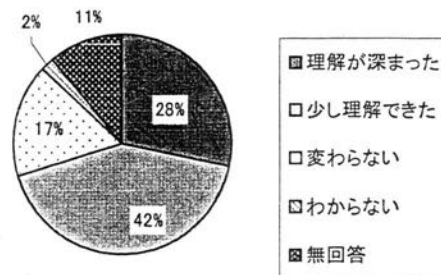


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

理解が深まった	59
少し理解できた	88
変わらない	35
わからない	4
無回答	23
合計	209

内容についての理解は深まりましたか？

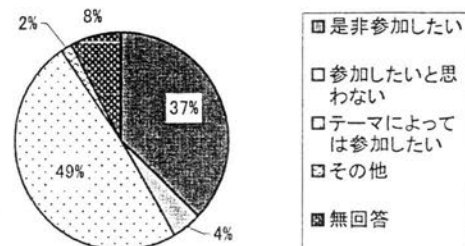


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

是非参加したい	78
参加したいと思わない	9
テーマによっては参加したい	102
その他	4
無回答	16
合計	209

今後も参加したいと思いますか？



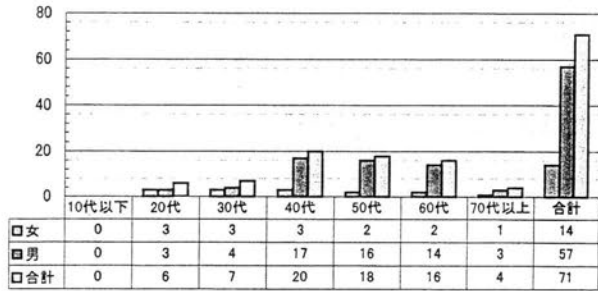
円卓会議アンケート結果（大阪地区）

年代・性別

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	0	0	0
20代	3	3	6
30代	3	4	7
40代	3	17	20
50代	2	16	18
60代	2	14	16
70代以上	1	3	4
合計	14	57	71

参加者の年代・性別？

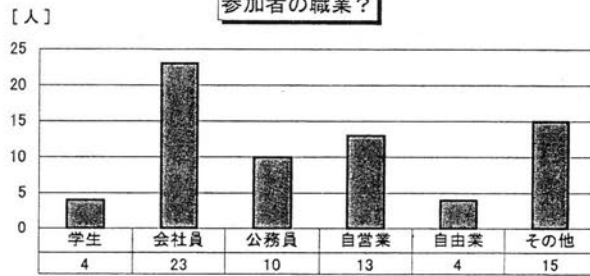


職業

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

学生	4
会社員	23
公務員	10
自営業	13
自由業	4
その他	15
無回答	2
合計	71

参加者の職業？

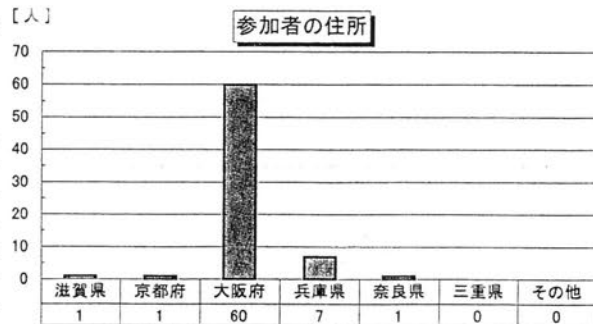


住所

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

滋賀県	1
京都府	1
大阪府	60
兵庫県	7
奈良県	1
三重県	0
その他	0
無回答	1
合計	71

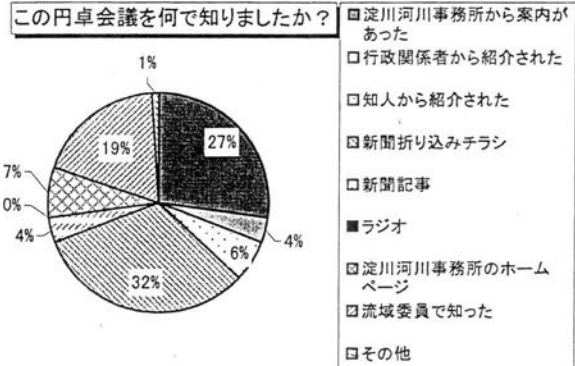
参加者の住所



Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 71 | 回答数 81 | 回答率 114%

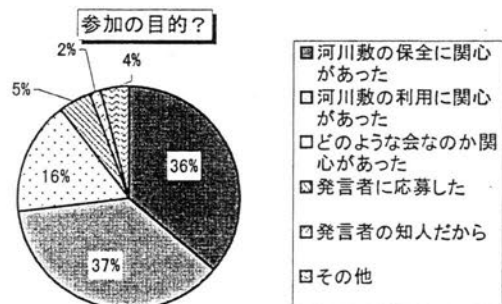
淀川河川事務所から案内があった	22
行政関係者から紹介された	3
知人から紹介された	5
新聞折り込みチラシ	26
新聞記事	3
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	6
流域委員で知った	15
その他	1
合計	81



Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 71 | 回答数 122 | 回答率 172%

河川敷の保全に関心があった	44
河川敷の利用に関心があった	45
どのような会なのかに関心があった	20
発言者に応募した	6
発言者の知人だから	2
その他	5
合計	122



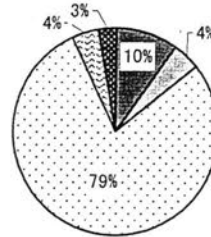
Q3. 円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1. 実施する曜日と時間について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

平日の昼間がいい	7
平日の夜がいい	3
土・日・祝日がいい	56
その他	3
無回答	2
合計	71

実施する曜日と時間？



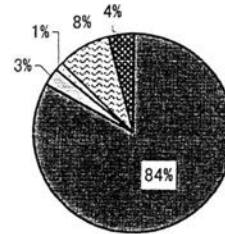
- 平日の昼間がいい
- 平日の夜がいい
- 土・日・祝日がいい
- その他
- 無回答

3・2. 実施場所・地区について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

この地区ではこの会場は適している	59
この地区では他に適している会場がある	2
もっと違う場所・地区で行うべきだ	1
その他	6
無回答	3
合計	71

実施場所・地区について？



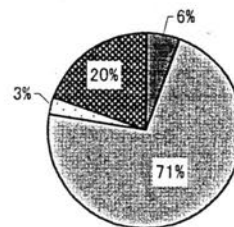
- この地区ではこの会場は適している
- この地区では他に適している会場がある
- もっと違う場所・地区で行うべきだ
- その他
- 無回答

3・3. 円卓会議での討議時間について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

短い	4
ちょうど良い	51
長い	2
無回答	14
合計	71

円卓会議での討議時間について



- 短い
- ちょうど良い
- 長い
- 無回答

短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 71 | 回答数 5 | 回答率 7%

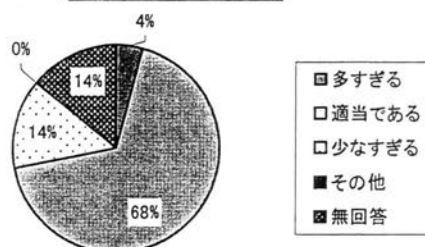
120分くらい	2
180分くらい	1
300分くらい	1
回数が必要	1
合計	5

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

多すぎる	3
適当である	48
少なすぎる	10
その他	0
無回答	10
合計	71

発言者の人数について

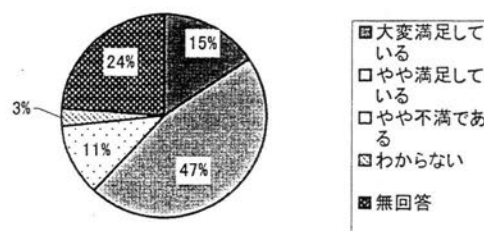


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

大変満足している	11
やや満足している	33
やや不満である	8
わからない	2
無回答	17
合計	71

ファシリテーターを置く方法について

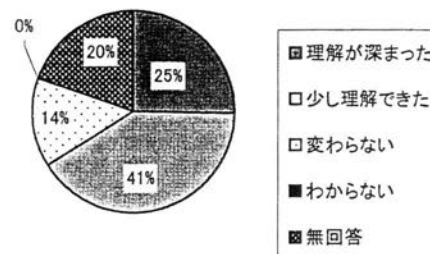


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

理解が深まった	18
少し理解できた	29
変わらない	10
わからない	0
無回答	14
合計	71

内容についての理解は深まりましたか？

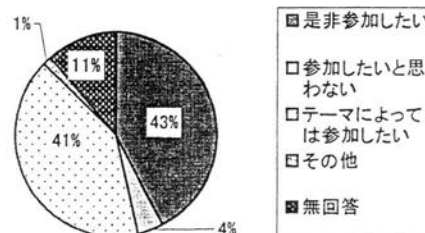


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

是非参加したい	30
参加したいと思わない	3
テーマによっては参加したい	29
その他	1
無回答	8
合計	71

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
1	音響がちよっと悪いようで、発言内容が聞きとりにくい。 もう少し本格的なPA設備のある会議場の方がよいのではないのでしょうか。
2	既得権を振り回すゴルフ場や野球場の関係者の一方的で横暴な意見にあきれて頭にきます。散歩したくても野球場を避けなければいけないのでまともに安心して歩けません。 淀川は人間のためだけのものではありません。 大昔から住んでいる植物や動物のものです。 人間が勝手に手を加えるべきではありません。 自然の美しい川に戻して、その一部を人間にも利用させて下さい。
3	農地もあり、居住地もあり砂ぼこりもし、はっきり管理してほしい。 鳥害、フン害、エチゼンクラゲ、人体の健康上も関係ないでしょうか？サーズの再来かも？ あまりにもグランド利用野球の主張が自制■エチケットも無く多すぎる グランドの言い分ばかり。
4	・自然再生というものを軽視しすぎ、「放っておく」「自然の回復力に任せる」等が当然の様に実施されている。結果はどうなったか？植生は回復せず荒地が形成、もしくは繁殖力の強い外来植物の絶好の基盤として、自然再生とはかけ離れた景観・生態系が創出してしまっている。その責任は？誰もとらない…。どこそこの先生の言う通りにやった。整備費用は我々国民の血税である。思慮深く取り組んでもらいたい。どうせお金を使うならもっと積極的に自然再生という試みに挑戦してほしい。河川敷のグランド利用などレベルが低すぎる。スペース（野球などの）が無いからといって河川空間を人間都合の空間に整備するのは川への冒とくである。ましてや親水空間などと名付けられた見せかけの石ころの整備（危なくなく、きれい）はもう進めないで欲しい。親水というのは本来草むらをかき分けて水場に近づき、そして水に触れ、生態系に触れる事である。私はそこで笑い、また溺れ、泣き、楽しみ、感動を体験してきた。もう名前だけの多自然型川づくりから脱却してもらいたい。 川を教科書に育ててもらった人間からのお願いです。 グランド討論について・・・グランドは少なくとも自然環境に良好な影響を与えない。パネラーの人がたかだか15%とか言っていたが、面積比較で自然を語ってはいけな しかし、河川敷にグランドがある生活、文化を認めてきた(黙認してきた)責任はとるべき。 道路などの無駄づかいをやめ、堤内地でのグランド整備に少しずつでも取り組む。
5	「河川保全と利用について」が議題だったはずが、スポーツ施設として利用することを前提とし、全体を見る視野の広い話がありません。出てもグランド利用派にかき消されてしまっていた。野球やゴルフがいかに好きか、といった河川敷とは何ら関係のない話を延々していた人々があり、大変聞き苦しかった。この人たちは場をはき違えているのではないかと思う。河川敷とは本来、遊水池であり、グラウンドとして整備する場ではない。本来の議題について、グラウンドとして利用する人はほとんど触れていなかった。時間の無駄としか思えない次元の低さだった。もう少し発言者の人選について考えてほしい。ファシリテーターの方は、方向が議題からずれ放題でも軌道修正の一つもせず、何のためにすすんでいるのか謎だった。 本来の川として掃除をしてから、江戸時代のダムを整備すれば良いと思う。
6	①会場設営・運営は非常によい。 ②円卓会議発言の中でゴルフ場、野球場は残してほしいというような意見が多数あったが、人が多く集まる場所でのトイレの問題に全くふれていない。生理的現象の解決策はどうするのか？ ③ゴルフ場の芝生の育成に農薬を使用していないか？ トイレの問題と一緒に淀川水質汚染につながるような利用は絶対にやってはならない。 ④木を植えてはどうかという話もあったが、堤防に弱体化にもつながる恐れがあり、反対だ。
7	私は直接淀川に関係のないところに住んでおりますので、今日は本当の意味で河川の自然環境づくりの話合いを期待しておりましたが、発言者の河川敷の利用や存続だけを考える発言が多いのが残念でした。 現状を維持した上でもっと自然との共生を進めていって頂きたいです。
8	河川敷は河川の「ヒト」の生命からは比較に出来ない「時」を経て、形成されたものであり、地区の野球少年、PTA会長、土建屋関係者等の個人的な事情を優先する個人の考え方の範囲を越えたものである為、彼らの参加して発言を封ずる事は憲法に反し認めないとする事は困難であるが、しかし主題からは、著しく離れた意見を会議場で意見として申し述べる事は、議場に出席する必要はなく主題にそって話を進められる人に出席を求めたい。獲得した優先権を主張し、子供を盾にした発言は聞き苦しい結果として、工事をすすめたい行政の露払い役を担ったの発言か？
9	各々の立場で熱っぽく語っていただき、あらためて他人の意見の存在に感心しました。傍聴の発言の機会、傍聴の前もって考えておくべき課題、宿題などを出して、考えを交換出来る機会があればひよっとしたら名案なるものが生まれるかもしれません。 初めてこの様な機会、感動しています。
10	このような形で合意形成が図られることは大変意義深いことであると思う。 本日の議論がどのように行政側に生かされるのか不明だが次のステップへつなげて行ってほしいと思う。
11	18才の若い方が発言されたのが大変よかったです。いろいろな年代や女性の発言もほしいと思いました。 河川敷グランドの利用者が強く不満をのべられました。もう少し長期的な展望を持った考え方で川を考えてほしいと思いました。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想の内容
12	<ul style="list-style-type: none"> ・どなたが発言されているか分かりにくい。舞台の上などに円卓を設置できないか？ ・(前にも書きましたが)高水敷・低水敷の説明が欲しい。 ・意見書をお送りしたのですが、サーバーのトラブルが何かで届いていなかったらしい。残念ながら参加の機会を得られなかった。資料は今後の会場で配布してほしい。 ・「グラウンド等縮小」には大賛成です。よく方針を打ち出す事ができたと感じております。野球の方の声が大きかったですが、負けずに頑張ってください。 ・野球・ゴルフの問題は野球の人が言うように「多くの人が使っているから少人数で占有しているのではない」ということではなく、「グラウンド利用中は他の者が使えなくなる＝排他的な利用である」ことが問題なのである。
13	<p>①中立な環境の場を提供する。 話の上手、へたで与える印象が左右される。 このような公開討論は双方、井の立つ方の参加が必要なのでは。 話や説明の上手な方の意見に心を動かされてしまう。</p> <p>②よかったこと。 それぞれの立場の方々の意見を生で聞くことができた。</p>
14	<p>大阪、近畿全体かつ都市化した今日河は河川敷内に押しこめられた貴重な自然にあり河川敷内はすべて自然に戻すべきであり野球もゴルフも人工そのものであり体を鍛えたければ山、海いくらでもある。 戦時中sports、screen、sexの3Sと言われたようにsportsに無駄なenergyとお金を消費していると言う面もある。 人間に取り自然は大切、植物をふやせ河川敷は自然に戻すのが当然である。 Golf場、野球場を河川敷だけで考えるな。街の中に野原にグラウンドを作れ</p>
15	<p>今から考えて。0からのスタートにして欲しい。</p>
16	<p>淀川の開発はデレーケの時代に近代的な工法で水制を、作ったのに始まる。近年の開発、特に高度成長期以降淀川にはグラウンドが多く作られていった。最近では自然を壊しすぎを反省からワンドも再生されるようになったが(社)大阪自然環境保全協会では、毎年正月の第1日曜日、阪急中津駅から地下鉄の橋脚まで淀川右岸左岸の水鳥調査を行っている。 15年前には3000羽近くいた水鳥が今では1500羽もいらない。環境をこれ以上悪化させない為、保護・保全を阻害する部分のグラウンドは縮小なり防護柵などの設備を作るべきだ。 又グラウンドの利用者は練習方法を変えることによって高利用を考えるのはどうだろう。</p>
17	<p>発言を聞いていると利害関係(?)がすごくはっきりしていると思う。利用している人達は市民の数から云うと限られた人数で、独占して使用している様に思う。自然にもどして誰でも行きたい所に行けて遊びたいときに好きなことをして遊べるという場の方が利用されやすい。ゴルフ場やグラウンドとして使用されると限られた人達になると思う。</p>
18	<p>発言者の発言内容によっては会場参加者の意見も聞いてはどうか(司会者のさいはいで)</p>
19	<p>今日伺った限りではゴルフ・野球等のスポーツに関する現状保護を話されている様思う 川本来の形に戻すのがベータであると思う 治水洪水等の話もなく利用するあたては上流から下流まで飲料水の源流である 大阪市民が望むものは安全な水である</p>
20	<p>発言者の選び方 公平な立場で、双方共々とも適した発言者を選んでほしい。</p>
21	<p>傍聴する側から発言者が見えにくい。配置を考えてほしい 国土交通省の関わり、意見がなかったことがもの足りない。これではおそらく現状維持に終わるだろう</p>
22	<p>もっと幅広い年齢層の方が参加できたら、と思います。 会に参加するまでは難しいのかもしれませんが、実際に公園やグラウンドを利用している子供たちの声を取り入れてみては、と思いました。 私の知識・情報不足なのかもしれませんが！ なぜ河川敷の利用において、公園やグラウンドの縮小が提案されているのか、その理由についての説明が少ないのでは、と感じました。</p>
23	<p>円卓会議の開催にあたっての中で河川環境では・・・ とありますがどう・・・するのですか？ 生物にとって生きやすい河を作るのにどうしなければならぬか設計してみて河川敷の利用を決めないと中心になる話が話題にならないといういろいろな意見だけが取り上げられて、河川環境はどうするのか 河川環境中心に話をしぼり、話を進めてほしい ゴルフ場の話があるがゴルフ場流出農薬の基準はあるのですか？</p>
24	<p>傍聴者にも多少の発言時間を与えるべきだ。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想の内容	
25	<p>①グラウンド、公園等についての意見</p> <p>1) 河川敷ではなく、工場跡地や空地に設置するべきだ。</p> <p>2) 企業が所有しているグラウンドを使用を希望する者が借りる。</p> <p>②淀川の在来魚について</p> <p>1) 現在、淀川で絶滅した可能性が高い種類(ラブラボテ、日本バラタナゴ、オオウネギ、カワラナゴ、クルマサヨリ、ラコカケゴクラクハゼなど)について徹底した調査を</p> <p>2) アユモドキ、イタセンバラを増やすために池、人工ワンド、水路などを休耕田や空地に設置を推進するべきだ。</p> <p>③淀川環境保全について</p> <p>1) 今後は埋め立て、コンクリート護岸化は一切中止するべきだ。</p> <p>2) 徹底した水質浄化対策の推進。</p>
26	<p>①18才の高校生の発言者があったことは大変良いことであった。</p> <p>②「少年野球」のチームの運営関係者(利用者の側)が、発言者におられる訳ですが、では「学校の校庭」の開放状況であるとか「地域のスポーツ施設」の関係者であるとか。そういう河川敷以外のスポーツ施設の事情の中立的理解者を傍聴者の中あるいは、オブザーバーでも据えて途中で発言させるような工夫もしたら良いと思います。</p> <p>③オブザーバーに「淀川水系流域委員会」の2名の方が参加している訳ですから、最後に彼らへの一言を求めるようにファシリテーターの方に工夫を求めたい。(この部分不満です。)</p>
27	<p>・本来ならば流域委員会の提言の前のもっと早い段階で実施しておくべきだった</p> <p>・堤内地でのグラウンド確保ができない状況の中で、河川敷グラウンドを縮小すべきという基本計画原案を出すことは行政として無責任と言わざるを得ず、見直すべきである。</p> <p>・また、流域委員会と国土交通省の役割分担が分かりにくく、お互い責任を押し付け合っているように感じる。</p> <p>・とりあげて欲しいテーマとしては、住民の合意形成、参加パートナーシップのあり方。</p>
28	<p>日本全国に多数の河川が存在するにもかかわらず淀川だけがなぜ率先して流域委員会が成立したか疑問である。</p>
29	<p>河川敷の利用については、結局のところ都市部の土地利用の問題であると思いました。都市内の土地利用のあり方についての議論の深まりなしに河川敷だけで環境優先というわけには、いかないということは理解ができました。しかしながら、河川敷でしか不可能な自然環境があまりにも不可の流域では、少ないのも事実です。長い時間をかけて、都市部の土地利用の議論を深める必要があると感じました。</p>
30	<p>・グラウンド利用者が荒川、多摩川の例を上げていたが淀川とはちがうことをちゃんと説明してあげてほしい</p> <p>(水利用について淀川は大堰のところの水をのんでいる)</p> <p>・利用者側の意見は目先のことを言われていると思う、今、話しているのは、30年先のあるべき川を考えているので現状維持という意見はない。</p>
31	<p>グラウンドやゴルフ場、環境等の話ばかりでゴルフ場からのボールのとびだしでのキケンな話などの議論もしてもらいたかった</p> <p>淀川ゴルフ場からのボールのとびだしによる人身事故は多数あります。</p>
32	<p>・もう少しファシリテーターが介入してもよいと思う。はじめの1回で意見を言った後には、どの点が一致していて、どの点で意見が違うのかをファシリテーターが仕切って、明確にしていくべき。</p> <p>・発言者、傍聴者へのルールをはじめにはっきりしておいた方がよい。発言者→テーマに関して、意見をいう場、意見の違う人も含めて、より良い案をつくる場であることを認しきすべき。傍聴者→発言者やりとりする際には発言、はく手はえんりすべき。</p> <p>(拍手等あった方がりん場感はあるが、発言者にとってはいあつにもなりかねない)</p> <p>・さいごに意見聴取のあり方にいろいろ意見出されたのはよかったと思う。今後もそのようにすべき。</p>
33	<p>自然保護を言うのであればまず、駐車場が河川敷にあるのはおかしいと思う。そこから始めればいいのか？</p>
34	<p>原稿を読むような発言ではなく「対話」されますように。</p> <p>原稿の棒読みは会の趣旨に反するのではないかと</p> <p>玉木氏の意見に、解決・歩みよりの糸口があると思います</p> <p>お互いの立場に立って、相手側の主張への理解に立って、ということがまったくできない方は、議論がすずまない。対立したままになってしまっています。しかしそれをきいている傍聴者の側はそれのかたくなさを感じてまた自分なりの意見を形成していけるのではないかと思います。</p> <p>一番お若い発言者の方、もうすこし意見をききたかったです。</p> <p>ファシリテーターの方の方に好感がもてました。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想の内容
35	河川敷を環境保護が取るのか、グラウンド利用が取るのか、そのどちらかの立場の人が集まるだけでは、平行線で発展できないと感じた。元兆は自治体、行政の視点に、市民のレクリエーションやスポーツのための用地を確保する義務感が欠けていたことではないか。30・40年かけて、まちがえてきたことは30年かけて修正すべきだ。環境サイドの人も、グラウンド使用者の人も「河川敷には60年代の豊かな河川環境、都市には十分な公園、スポーツ、レクリエーション施設、そしていざという時には災害に対してしぶとい街づくり」同じ理想を持つことは可能だと思う。傍聴席の人たちにも、もっと発言の時間がほしかった。
36	本当に難しいテーマでした。避難場所の確保として残すという意味でも、今あるグラウンドはそのまま残したらいいと思う。 私は大阪城公園の近くに住んでいるけれど、大阪城公園では青シートの住民がたくさんいる。ある人はそこに住むホームレスの人におそわれた。 近所の公園は広い場所なのに、ボール遊びが禁止されている。子供はのびのび育たなければならないと思う。ドイツでは、町じゅうに緑を増やして、鳥や虫など生物が移動できるようにしている。それは、緑ある地点と緑ある地点の距離がとて近くなるよう緑化されている。他のグラウンドを作るのにお金をかけないで、もっと川の水質、洪水対策などにお金をかけるべき。 私が通っている大学は里山にあります。絶滅危惧種の生物もいます。でもフェンス・アスファルト道路のために生物の移動が、大小、さまたげられてしまいました。川の水の流速をおさえるためには、アシや石などで表面を凸凹させた方がよいとききました。ゴミはその場に捨てないで持ち帰り運動をした方がよい。たくさん花や緑を増やして、いつもキレイにしておく。グラウンドを芝生(もしくは根のはる植物)にしたらどうか。すべるけれど、水はけが悪いなら、グラウンドを堀おこして、水はけのよい土層を作ればよい。森のある川は豊水位以上の雨が降っても涵養のため、洪水はおこりにくい。 私は農学部の学生で環境保全は無視できません。今回の会議の意見は参考にさせていただきます。 共存できる道は必ず見つかると思う。
37	淀川河川敷は、野球、ゴルフ、テニス等のスポーツを楽しむ草花の観賞、釣り、野外バーベキュー等の広範囲の利用価値がある 又、野鳥や虫、魚、草花の観察をする事による理学的勉強もできる。そこで環境の保護の為に何がどう悪くどうすべきか。ゴルフ場や野球グラウンドが環境にどのように影響しているのか、現状の中で利用方法を考え工夫していく中でより良い方法が有るのではないか
38	・行政が中心にいない対話集会は適切な形だと思う ・意見発表者にもう少し考えてもらうような投げかけ方をファシリテーターの方にしてもらった方がよいのでは ・傍聴の人たちの意見も聞いて欲しい。意見発表者の発表や議論を傍聴者がどう受けとめたのかを理解することも重要では ・会議の冒頭に、今日の会議で何をやるかの確認、目的意識の共有化が必要ではないか
39	「運営に関しての意見」 発言者にevianの水ペットボトルに紙コップは絶対必要なものなのか？淀川水系を元の環境にもどすという方針の中での円卓会議であれば、そこに環境に良くないペットボトルや紙コップがあるのは、おかしいし、矛盾していると感じる。次からは、環境に慮して、発言者に対しては、ペットボトル、紙コップを用意しない形で、進行していただきたい。私は日常的に水筒を携帯している。それで十分だと思います。 「円卓会議内容について」 対話になっていない。「グラウンド」vs「環境保護」を越えた地点からの議論が次回欲しい。 今日の傍聴者からのおっちゃんの意見は、ものすごく貴重だと思いました。
40	発言者以外の人の発言をもう少し入れて参考に底辺の意見を数多く聞く自然と両立出来る河川敷保全を前向きに方向付ける
41	保全重視・利用重視の両方の立場の意見が聴けたが、河川管理が淀川の水質保全の見地からも意見がほしかった。 淀川を管理するための工事のあり方も市民に公開議論が必要。管理担当者(工事事務所)は計画立案前の市民の意見聴取を強化するべきである。 “生態系の保全には工事をゆっくり実施”することが大切。 “連続したワンドの水は互いに伏流水でつながっている”ことを十分担当者は認識すること。
42	若い人をもう少し呼ぶことができれば良いと思う。
43	河川は自然のままにしてほしい。 人間生活は自然の中で生きるのが当然 どんなにすばらしい施設をしても淀川の景観をそこなう、川の側で生活している私。四季折々の野草、川面の色飛びはねる魚、自然を友として生きて行けるようにしたい。 子供の健全育成の大切さもわかるが行政に働きかけ確保すべきだ。あえて河川敷をいじらなくてもよいのではないか。 一度関係者の方、葦の残されたたった1つの中津辺へ見に来られては、 台がないので乱筆で失礼しました

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想の内容	
44	<p>私はかつて大阪駅の北側の貨物ヤードを森林公園化してほしいと要望を出しました。大阪の町に緑があまりにも少ない。セントラル公園のような公園が駅前に広がればそれは心のやすらぎにもなるしあの梅田の質を底上げにもなります。これだけ少ない緑を河川の緑でまかなうのは残念な事ですがそこまでも緑地(■野)を要求します。また、話は変わりますが防潮戸の開閉が時間がかかる話だと聞きました。それなら1人でもしかも停電でも開まる方法を考えればと思います提案します。</p> <p>扉が自重で閉まる形にすれば動力なしで閉まります。開ける時は停電が直ってからも電気でも開ければ良い分けでいざと云う時に閉らない事が大変な事態を呼ぶと思います。設計者がこんな案すら持っていない事が逆にほらた下さい。これならリモコンでも操作が出来ると思います。</p>
45	<p>発言者以外の意見をどう反映するか 1、2回で終わらずに何回か続けてほしい ※河川敷の利用はやはり現状の地域特性・実態を十分考えるべきである。 現に河川管理者としても、公園整備をしてきている！ 河川敷の利用としては、沿川地元の利用要望について、治水上、利水上問題がなければ、スポーツ利用も環境面での利用であり、一水系として画一的に決めることとしては反対である。</p>
46	<p>自然と人との共生 川とは本来どうあるべきか 数年後どう人と自然が共生できるのか 会議の話一つ一つどれもたいせつである。 子供、大人1人1人すべての人がかんがえ話をする必要だ自然と人が共生していくために(子供・大人たちに環境、又は地域との共生について色々な人の話を聞くべきであり片方の話だけではいけない (子供・大人も環境について勉強すべきだ)</p>
47	<p>・もっとこう言う機会をもっともっとオープンにして増してほしい。 ・もっと住民の意見を聞いてほしい</p>

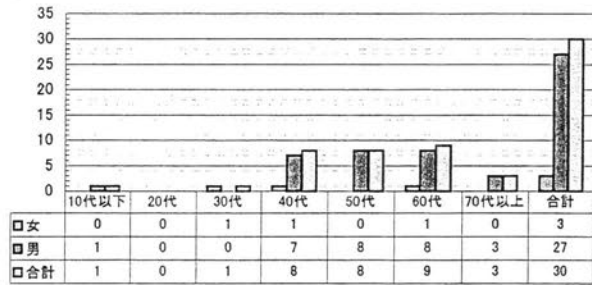
円卓会議アンケート結果（京田辺地区）

年代・性別

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	0	1	1
20代	0	0	0
30代	1	0	1
40代	1	7	8
50代	0	8	8
60代	1	8	9
70代以上	0	3	3
合計	3	27	30

参加者の年代・性別？

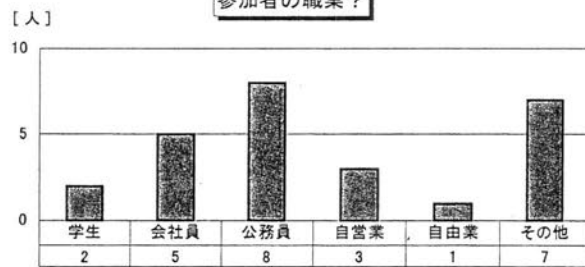


職業

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

学生	2
会社員	5
公務員	8
自営業	3
自由業	1
その他	7
無回答	4
合計	30

参加者の職業？

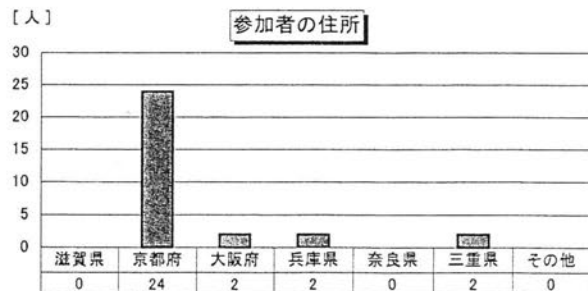


住所

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

滋賀県	0
京都府	24
大阪府	2
兵庫県	2
奈良県	0
三重県	2
その他	0
合計	30

参加者の住所

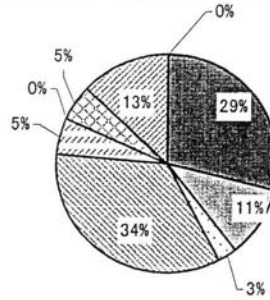


Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 30 | 回答数 38 | 回答率 127%

淀川河川事務所から案内があった	11
行政関係者から紹介された	4
知人から紹介された	1
新聞折り込みチラシ	13
新聞記事	2
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	2
流域委員で知った	5
その他	0
合計	38

この円卓会議を何で知りましたか？



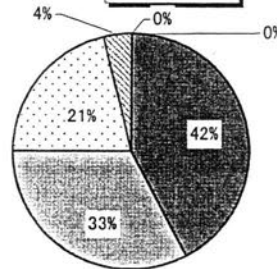
- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他

Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 30 | 回答数 52 | 回答率 173%

河川敷の保全に関心があった	22
河川敷の利用に関心があった	17
どのような会なのかに関心があった	11
発言者に応募した	2
発言者の知人だから	0
その他	0
合計	52

参加の目的？



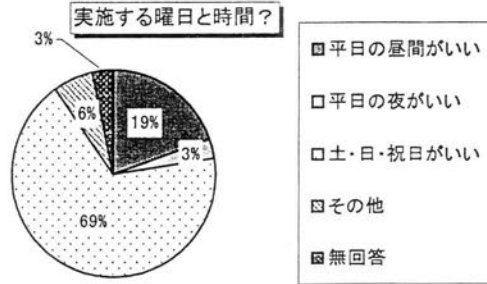
- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのかに関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

Q3. 円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1. 実施する曜日と時間について

回収枚数 30 | 回答数 31 | 回答率 103%

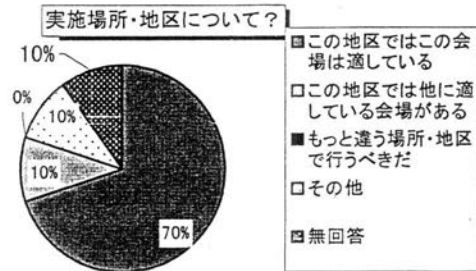
平日の昼間がいい	6
平日の夜がいい	1
土・日・祝日がいい	21
その他	2
無回答	1
合計	31



3・2. 実施場所・地区について

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

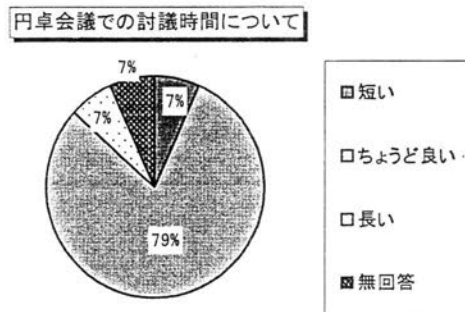
この地区ではこの会場は適している	21
この地区では他に適している会場がある	3
もっと違う場所・地区で行うべきだ	0
その他	3
無回答	3
合計	30



3・3. 円卓会議での討議時間について

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

短い	2
ちょうど良い	24
長い	2
無回答	2
合計	30



短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だとお思いですか。

回収枚数 30 | 回答数 1 | 回答率 3%

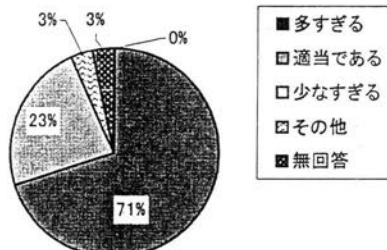
120分～150分くらい	1
合計	1

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

多すぎる	0
適当である	21
少なすぎる	7
その他	1
無回答	1
合計	30

発言者の人数について

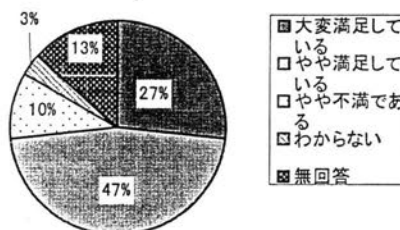


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

大変満足している	8
やや満足している	14
やや不満である	3
わからない	1
無回答	4
合計	30

ファシリテーターを置く方法について

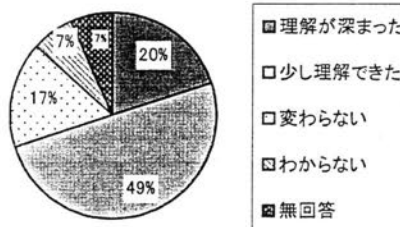


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

理解が深まった	6
少し理解できた	15
変わらない	5
わからない	2
無回答	2
合計	30

内容についての理解は深まりましたか？

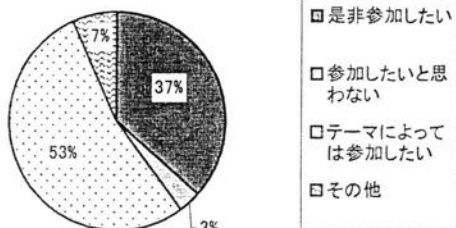


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

是非参加したい	11
参加したいと思わない	1
テーマによっては参加したい	16
その他	2
合計	30

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想の内容	
1	先日はご苦労様でした。 円卓会議に関するアンケートを当日提出出来ませんでしたので送付いたします。 円卓会議は大変良かったと思います。今後取り上げて欲しいテーマとして「大和みどりと自然環境を考える」を提案したいと思っています。
2	河川敷でカヤネズミの保護、生息地の保全に取り組んでいる者として、非常に興味深い内容でした。河川敷に生息するカヤネズミにとっては人工物やグラウンドの建設、花畑、外来種の繁茂は非常に深刻な問題です。河川敷は、野生生物の貴重な生息空間ですので今後新たなグラウンドの建設等はしない方向でお願いしたいと思います。 最後になりましたが、今日の円卓会議で意見を述べさせていただく機会を与えていただき有り難うございました。傍聴者と言うことで発言の機会がないと思っておりましたのでとてもありがたかったです。
3	①木津川水系の中小河川(山田川、普賢寺川など)の水質と環境調査。 ②土地改良、河川改修が環境について与える影響についての徹底した調査。 ③木津川をきれいにするための対策(ダムからの放水を増やす等)を ④木津川で減少している在来種(アユ、ウナギ、テナガエビなど)の生息調査と増殖出来る環境整備を ⑤休耕田などを利用して日本の淡水魚(メダカ、アブラボテ、日本バラタナゴ、ウキゴリなど)の生息池の造成を
4	治水(堤防改修)の優先順位が知りたい。
5	・討議内容から逸脱され本題の自然と人との共生議論から河川敷の効率的運用を論議すべきでないのか。 ・現在の木津川堤防は果たして一昨年名古屋地方の集中豪雨があった場合、各地で破壊し、災害により人命、社会資本施設の流失の被害で計り知れるものがある。環境保全か人名か親水性か子供達が河川と親しむ場所と共に堤体とか河川敷の高度利用を提議すべきである。 ・円卓会議の出席者に現在の木津川概要と用語についても理解して戴くように配慮されたい。(例)堤外・堤内の意味、堤外民地の権利問題など討議の中でずれ違いがある。
6	・一般席では発言者の声が聞こえにくい。 ・議論がどのような結果になるのか見えにくい。(各意見は云放し) ファシリテーターは大変です。 ・一般席からの発言は冷静なものが多いため意見を求めるべき。
7	河川敷利用に特価した議論を想定していたが、流域全体で考えていくべきとの視点や環境に特に自然回復に特価した意見も出ていた。 ファシリテーターは、もっと「河川敷利用」。これを保全と利用の両面からどうあるべきかの議論を出来るように導いていくべきだ。色々、意見主張されるメンバーばかりで難しいと思うが…… ●住民ボランティア●運動施設利用者●行政(管理者・地元自治体)→保全の利用に関してそれぞれがどんな役割があるとか、どうすればよいか ※地元市町は木津川をどうしたいか提示されて議論すべきとの意見が最後にあったが、大切なことであると思う。
8	ファシリテーターが何もしていない。意見がバラバラで出てまとまりがない。よって円卓の人が自分だけの意見であり、議論が少ない。ある程度ファシリテーターがテーマを決めて集中的な議論が必要であった。 一般参加者が理解できるような円卓が望まれる。また、一般からの意見の方が内容が明確であったり、地域に密着していたので大変良かった。
9	前半では利用について設定されているが川の役割などに集中し、評価について話が続いた。本来の議題について話し合っしてほしいものだ。後半に期待している。 このような集会を数多くもって下さい。希望します。
10	傍聴席にも机を置いて欲しい。
11	発表者の人選をして欲しい。
12	湯川氏、佐々木氏を除けば発言者がどの程度木津川(河川敷)へ行き、実態を把握して発言されているか疑問。他の河川、外国とは条件も異なると思われる。(オーストラリアとは人口密度も異なるよ！) 河川敷利用については、国交省から問題点を提示し、それに対する意見を述べてもらう方がよいのでは？
13	1)マイクの不調整で聞きとりにくい。特に早口は困る。シルバーフレンドリーでない。 2)パネラーの意見が現状否定からスタートしているので、不認識の面もあり、かつ良ささを求めている。 3)茶畑は私有地であることを忘れていた様な意見があり、山地権者、茶畑地権者を無視している。
14	・初回だから仕方ないかも知れないが、テーマが発散しがち。「今日は河川敷の話題である」ということを会場全体で認識すべき。 ・議論すべきは「グラウンドを縮小する」という計画のあり方について、賛成・反対あるいは違う方向性の提案を行うことではないか？ ・ファシリテーターから木津川の河川敷の現状等を見せて「木津川をどうするのか」を議論するという方法もあるのではないか？ ・間違った認識のもとに議論が進んでいくことをどのように防止するのか。河川事務所の人が長々と説明しては今までと同じなので、ファシリテーターにメモを差し出し、ファシリテーターから正しい情報を話してもらうなどの対応もあては。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想の内容	
15	一般的な発言と専門的な発言があつてあまり理解できなかった。基本は川の保全・保安と住民とのかかわりだと思う。きょうの会議では河川敷のグラウンドは廃止すべきだという意見があつたが、私はそう思わない。かかわりを大切にしたい。円卓会議の発言者よりも傍聴者からの発言の方が有意義であつた。もし次回も開催予定があるならば、傍聴者の発言を中心にして欲しい。
16	本日の会議の内容は河川敷の利用についての討議であると思われるが、発言の内容が環境問題に主点であつて、今回の会議の主旨がずれてきている様に思われる。 本題にそつた会議になるよう運営が望まれる。
17	発言者、聴く人のカベを無くす方法はないのかなと思つました。事務所専門家の短いレク(その時の質問意見に答えるため)も如何。(例)川床の樹も悪いばかりでない等。 日本の場合、自然と歴史の深い関わりが河川にはあると聞いています。外国の例を安易に引くべきでないと思つます。とは言えこの様な集いは大いに結構です。
18	意見要旨発表の時間を10分(10～15分)程度は欲しい。5分では意見要旨がわからない。
19	このような形で方向性が練られていく課程は大変意義あることだと思える。ただ、どう活かすかは難しい問題だと思う。主催者の今後の取り組みに期待する。
20	会場から意見を拾うのは、文で意見を寄せられなくても口でなら話せる人の話も聞けるのでよかつたと思う。インターネット・ファックスと意見募集の努力は評価するが、話しやすい雰囲気のをできるだけ主催していくことが大切だと思つます。 木津川は、今から市街化が進もうとしていて、河川敷の公園利用に対する危機感が乏しいように思つます。「そんな考え方は猪名川みたいに外来種に占有されて、花粉症など環境悪化に苦しむことになるよ」と警告したかつた。公園やグラウンドは、都市計画の中で堤内地にまだ発展途上の内に確保できる方がいい。木津川はまだ間に合う。今のうちに方針転換し、いい町づくりをしてほしい。猪名川みたいになつてからでは大変ですよと言つたい。

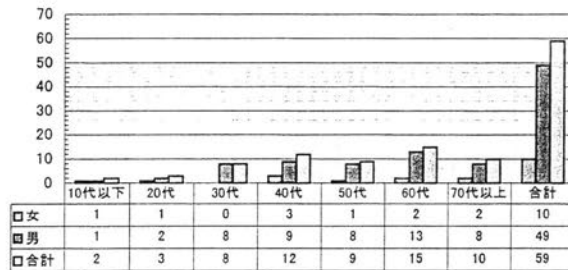
円卓会議アンケート結果（枚方地区）

年代・性別

回収枚数 60 回答数 59 回答率 98%

	女	男	合計
10代以下	1	1	2
20代	1	2	3
30代	0	8	8
40代	3	9	12
50代	1	8	9
60代	2	13	15
70代以上	2	8	10
合計	10	49	59

参加者の年代・性別？

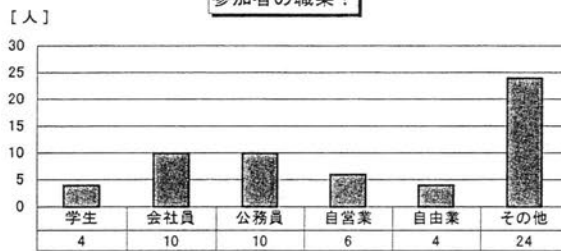


職業

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

学生	4
会社員	10
公務員	10
自営業	6
自由業	4
その他	24
無回答	2
合計	60

参加者の職業？

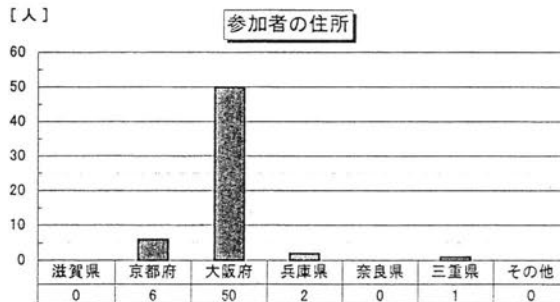


住所

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

滋賀県	0
京都府	6
大阪府	50
兵庫県	2
奈良県	0
三重県	1
その他	0
無回答	1
合計	60

参加者の住所

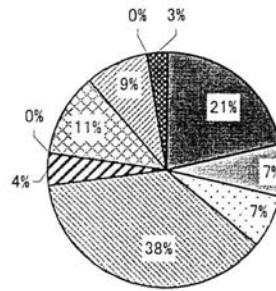


Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 60 | 回答数 70 | 回答率 117%

淀川河川事務所から案内があった	15
行政関係者から紹介された	5
知人から紹介された	5
新聞折り込みチラシ	26
新聞記事	3
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	8
流域委員で知った	6
その他	0
無回答	2
合計	70

この円卓会議を何で知りましたか？

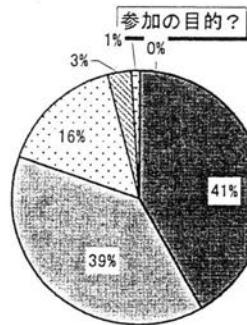


- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他
- 無回答

Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 60 | 回答数 96 | 回答率 160%

河川敷の保全に関心があった	40
河川敷の利用に関心があった	37
どのような会なのか関心があった	15
発言者に応募した	3
発言者の知人だから	1
その他	0
合計	96



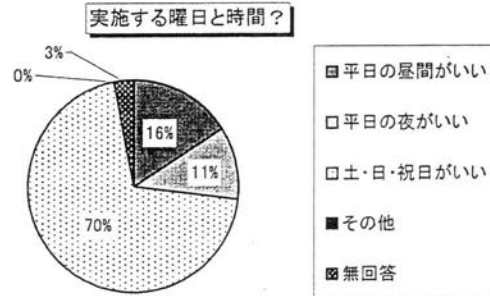
- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのか関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

Q3. 円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1. 実施する曜日と時間について

回収枚数 60 | 回答数 63 | 回答率 105%

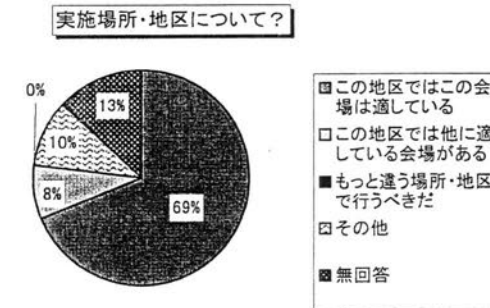
平日の昼間がいい	10
平日の夜がいい	7
土・日・祝日がいい	44
その他	0
無回答	2
合計	63



3・2. 実施場所・地区について

回収枚数 60 | 回答数 61 | 回答率 102%

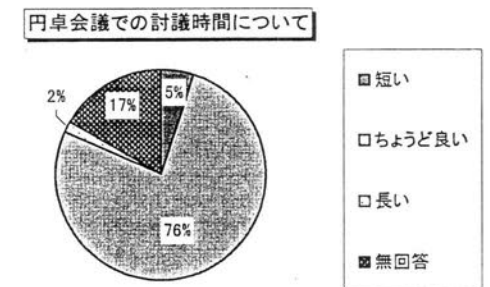
この地区ではこの会場は適している	42
この地区では他に適している会場がある	5
もっと違う場所・地区で行うべきだ	0
その他	6
無回答	8
合計	61



3・3. 円卓会議での討議時間について

回収枚数 60 | 回答数 60 | 回答率 100%

短い	3
ちょうど良い	46
長い	1
無回答	10
合計	60



短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 60 | 回答数 2 | 回答率 3%

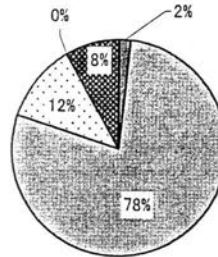
120分くらい	1
180分くらい	1
合計	2

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

多すぎる	1
適当である	47
少なすぎる	7
その他	0
無回答	5
合計	60

発言者の人数について



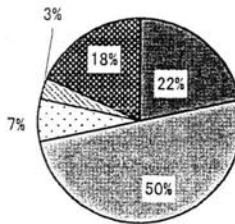
- 多すぎる
- 適当である
- 少なすぎる
- その他
- 無回答

3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

大変満足している	13
やや満足している	30
やや不満である	4
わからない	2
無回答	11
合計	60

ファシリテーターを置く方法について



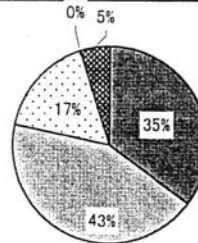
- 大変満足している
- やや満足している
- やや不満である
- わからない
- 無回答

Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

理解が深まった	21
少し理解できた	26
変わらない	10
わからない	0
無回答	3
合計	60

内容についての理解は深まりましたか？



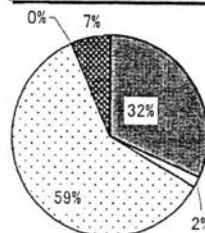
- 理解が深まった
- 少し理解できた
- 変わらない
- わからない
- 無回答

Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

是非参加したい	19
参加したいと思わない	1
テーマによっては参加したい	36
その他	0
無回答	4
合計	60

今後も参加したいと思いますか？



- 是非参加したい
- 参加したいと思わない
- テーマによっては参加したい
- その他
- 無回答

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
1	<p>駐車場や狭小な個建住宅に占領された狭い日本のせめてもの広い？！河川敷は、今日発言された各位の意見を十分に生かしつつ、長期展望に立つ誤りない環境整備と活用の智恵を具体化して、次代に残してやりたい。 3味1体の総合力を！！！！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国・地方(行政) (バックアップ) + ・学識経験者 (誤りなき整備) + ・民治(ボランティア)+(自由な時間と余力のある労力を活用) <p>予算軽少です。</p> <p> <input checked="" type="radio"/> 済み <input checked="" type="radio"/> 今後 </p> <p> スポーツエリアはほぼ充足されているのでは！(若・壮年層)対■ { ガーデニングエリアの適地、設定(老・少年層) 舟運(太陽光ソーラー利用) </p>
2	<p>大学で環境学を学んでおり、淀川の河川敷の利用について興味があったので参加しました。今回の円卓会議に参加して、思ったことは、発言者の方々の意見の中には、個人的な(人間中心、自分中心な)意見の方がおられ、その意見を押しつけているように感じました。発言者の中のある人が言っておられたように、グラウンドや公園など、スポーツ施設としての利用者が多いのは確かですが、使っている方々の多くは、スポーツだけを目的としており、河川にふれ合う機会はありません。一見、河川敷のスポーツ施設としての利用は、自然と人間がうまく共生しているかのようですが、人工的に作られた場であり、本来の自然ではないと思います。お金はかかると思いますが、スポーツ施設の代替場はあるはずですが、しかし貴重な生物が棲息する環境は替わりがありません。地球環境の保全は、全世界的な問題であり、一部の人間が楽しむだけの娯楽施設は縮小されるべきであると思います。河川敷を本来の自然とふれ合うための場であるように、真の「人間と自然の共生」ができる場であってほしいと思います。そのためには、こういった円卓会議に多くの人が参加してほしい、参加を呼びかけてほしいと思います。</p>
3	<p>スポーツ、レジャー、四季おりおりの花など、個人の趣味、楽しみレベルの話をしている場合なのでしょうか。人間が壊した自然は、もう元には戻せない、絶滅危惧される種の保存など時間の待てない問題はないのでしょうか。専門家のお話をもっとお聞きしたいです。</p>
4	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴルフ・グラウンド利用側の人は、「それなりに皆自然環境を楽しんでいる」と話すが、もしナイスショット・ナイスヒットの時に鳥の声が聞こえたなら、それは悲鳴です。どうか分かって欲しい。 ・グラウンドと環境の両立？根本が違うので不可能。屋上緑化とは訳が違う。 ・自然再生は放っておくだけでは、達成し得ない。もともとの(古くの)河川ではない。(直線・激流・外来種)。護岸能力を持ち、淀川に適した植物を皆(住民も巻き込んで)育て、増やし、生物が戻ってくる土台づくりをしなくては行けない。 ・スポーツは必要。ただその舞台として「河川」という世界を候補に出すのはレベルが低すぎるのでは？環境後進国の得点がさらにあがってしまいますよ。 ・もう自然環境の破壊はどうしようもない時点に限りなく近づいています。人間都合の整備はもう少なくとも河川・森林においてはすぐにでも止めるべきと考えます。 ・ヨシ原は人間を疎外するものではない。子供達は遊ぶ。きつと遊びます。遊ぶ精神を持つ子供達を僕らは育てましょう。
5	<p>(1)街に近い河川では環境も大切だが「活用」との共生が必要である。(現実的に活用するという考え) (2)現状(全体)をもっと説明できないか？(公平な立場で)堤防強化の必要性、その具体的な場所(危険度、堤防強化の用地確保とは？) (3)生態系を守る為にすべてのゴルフ場やグラウンドをつぶす必要があるのか？ (4)ゴルフ場が改めるべき事は？(グラウンドもその他も・・・) (5)生態系の現状は？</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・考える資料として河川敷の目的別利用割合がほしい。 ・グラウンド、ゴルフ等の利用と環境保全については決定的に異なる立場にある。どのように折衝をつけるのか？私は現状は過剰利用と考える。 ・鶴殿では導水路を作ってヨシの保全と繁殖をはかっている。部分的には美観と云って良い。これを拡大し、同時に安心して歩けるよう多少の整備をしてもらいたい。 ・導水路の維持拡大に税金を使うことは有益と考える。 ・流域委員会は諮問機関？どの程度役所に影響力あるのか。しかし昔よりは良くなったでしょう。
7	<p>こういう会議はあってよかったと思う。</p>
8	<p>この会が開催されたことに大きな意義と良くなるかも知れない未来を感じます。 ・行政(淀川河川敷事務所)の謙虚な姿勢を評価したいと思います。休日なのに出勤された方々ご苦労様でした。この河の現状を理解するために1日ツアーを計画して下さいませんか。今日を機会に自然のために何が出来るか、御指導下さい。眠くならなかったの久し振り。お礼に替えさせていただきます。</p>
9	<p>人口の推移(野球、ゴルファー)等を考へて長期的計画を立てるべきである。</p>
10	<p>部外者の一方的な話、挑戦的な論戦にはき然(退場)と対応すべき問題である</p>
11	<p>発言のなかに、流域委員会の提言を曲解しているものがあつた。提言に対する誤解は委員発言を求めて、修正してもいいのではないか。 運動利用か自然かという対立の議論で終止したのは残念です。</p>
12	<p>発言者の方たちは、決められた時間内に要約して発言してほしかった。ファシリテーターの先生が大変困っていました。</p>
13	<p>会議の進め方を円滑に公平にして下さい。 ヤジが気になった。退出させてはどうか？</p>
14	<p>役所の人の意見は重要だと思いました。このようなまちづくりの会議においてその自治体の職員を交じえる事が必要だと思います。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
15	私は利用側の意見をもっておりましたが本日参加しまして保全・利用のトレードオフへの理解が深まり、かたよらずに、バランスのよい、方向性を指す事が大切と感じました。
16	・利用とはグラウンドやゴルフ場づくりだけではない。遊びの質を考えるべきだ。高機の鶴殿を活用した遊び、自然への関心を子供たちにもたせる遊び方などあるはず。 ・川を「文化」として考えてみるべきだ。「心」の問題を考えてみるべきだ。「保全」と「利用」だけではない。 谷崎潤一郎の「芦刈り」や鶴殿の歴史を考えてみよう。 ・議論が賛成反対のヒステリックな話にならない様に ・試案をもとに議論してみるのも一案 ・行政の方、ゴルフ場の方は、個人として参加されているのか、行政、業者の立場で参加しているのか？
17	スポーツ施設をのこしながら（ゴルフ場はいらない）淀川の自然を回復させる手段、アイデアがあると思う。コンクリートで固めてしまうから、生物が住めなくなる訳で、石をつみ重ねて堤防をつくるなど、知恵があるはず。 ・石に水草が付き、魚が卵を生む環境をつくる。 ・自然に水が浄化するシステムができる 水際まで草木が生える環境づくりが必要である。
18	（テーマ）共生・飲料水について 共存できないか？自然もたいせつ。一定の役割をはたしているグラウンド・ゴルフ場もたいせつ。 思うことはすべての人・生物とうに優しい環境づくりをするべきだ。 ただ思うに両方にいえることは、水と言うことだ。 ・数年先まで淀川の水飲めるのか？そのためにどうするかがだいじだと思ふ。あと子人・大人の環境教育がだいじ環境と言うむずかしいものでなく、今あるワンド・河川をこれ以上つぶさないようによこさないように川にゴミをすてないようするなど今できることから考えることから始める河川敷の話は（バランス）ある話をし共存した地域環境づくりをしていただきたい
19	一般席からの円卓会議中の発言者に庶務はもっと注意すべきだし、注意を聞かない場合は退場させるべきである。一度しか注意していない。これはおかしい。この人は、最後まで議論のじゃまをしている。私だけでなく他の人でも良く思っていない人はいたと思います。 庶務に不満が残った。休憩時になぜすぐ窓をしめようかできなかったのか。寒い人もいたと思うが、横の住宅地からの子供の声、ブラインドがゆれる音議論のさまたげになっていたと思うが・・・。 うるさくてすみません。
20	行政の立場の者が、行政という看板をかかげての意見発表や行政の立場の議論を展開されたことは問題である。個人としての参加ということであるなら、それに徹するべきであると思う。 今後の円卓会議や市民会議の運営にあつては、研究が必要であらう。
21	淀川の河川敷は自然にもどすべきである。 ・今河川敷をスポーツ設備に使っているのは人間の都合で使っているだけで、他の生物の事を考えてない。 ・河川敷のグラウンドをなくし、他に求めると高くつくと言われるが河川に接していない市町村はどうされているのか他の方法が取られている淀川、河川敷の自然環境が複元されれば川の生物、植物、昆虫、野鳥等の宝庫となると思う。大阪府域では淀川へ行けば何んでも見るのできる所にして欲しい。
22	1、ゴルフ場の利用について 河川敷のゴルフ場は、公共性から見ると、お金を取り利用はおかしいと思う。公共性を言うのなら金銭は不要とするべきだ！今後も継続するとしたら、ゴルフ代の1部を河川敷の自然保全にフィードバック出来る様にしたらと思う。10～20%を自然環境費とし、環境整備に利用すれば、プレーしている人も自然環境保全に役立つ事になると思う。 2、意見を聞いていると、総論賛成、格論反対の構図である。 グラウンド希望者に対し、代替グラウンドの確保を行政が積極的にしてほしい。代替グラウンドを与えて、減らして行く様にしてほしい。今反対している人も代替グラウンドが与えられれば反対しないと思う。 3、河川敷の1部を生物のために開放する対策が必要 堤防側は人が利用、川側は生物が利用と言うすみ分けが必要であり、その様なシステム作りを早急に検討してほしい。
23	3. 5のファシリテーターをおく方式については、大変満足しているにチェックを入れませんでした。それはファシリテーターというのが何なのかわからなかったからです。 ですが、円卓会議の傍聴というので参加して、最後までお聞きしていますと、方向づけや結論は決まっているわけではなくともある程度理念を持ち、かつ又国交省（国土交通省）のつまり行政の機関とかかわっての観点をお持ちなので良かったと思います。 正しい方向付けが、理解できた事が参考になりました。
24	ヤジる人は撤去させるべき 極論や原則論だけでは、合意することはない。ファシリテーターの役割が十分に機能されていない。
25	淀川舟運について
26	・自然環境の保全へという方針だが、ここで言う自然環境とはどういふものなのか？人も入らない自然なのか？人が入って行ける中途半端な自然なのだろうか？ ・一方の意見のみを押し通す議論は民主的ではない。どのように共生して行くかを議論すべきではないでしょうか？ ・100%自然に戻したいのならば、川から人を排除することか？ ・グラウンドがあることが良いこととは思わないが、互いの歩み寄りが必要。○か×かの議論をしても結論なんて出ない。 ・大変難しい議論で、私も何が良いのか判断出来ないが、一方のみの意見を押し通す結論はしてほしくないと思います。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
27	<p>開会前のテレビの放映について、若干疑問があります。内容がかなり一方的な河川敷利用派の宣伝であり会議の中立性を損うものです。総じて流域委に対抗する河川局側の批判的意識すら感じられます。フラットな土地でのゴルフ場はこのスポーツとしても無意味です。</p> <p>日本の風土にそぐわないゴルフ場の自然破壊は目にあまるものがあります。里山をくずし、農業をふりまき、チップケなステータスシンボルを誇る、嫌なスポーツです。それが河川を破壊しているのです。</p> <p>河川の特性に則したレジャーはよいのですが、そこが空き地だから利用しようという立場からの河川の悪用には絶対反対です。</p> <p>・スーパー堤防問題について円卓会議を望みます！！</p>
28	<p>河敷での自然化、河敷の細かな利用状況、河敷での犯罪状況を分析提供した上で討議すべきである。</p> <p>私も少年野球に携わっています。年間淀川水系で数万人？の子供達が健全な育成を受けて育てられています。現在の利用状況等を考えるとどうして代替地の確保が出来るであろうか。河敷のクリーン作戦は数多くのボランティアの方々に助けてもらっています。</p> <p>自然も大切ですが自然に戻すとゴミなどは河川管理事業だけで出来るのだろうか？河敷（駐車場含む）には車まで捨てられている。</p> <p>現在社会においては青少年だけではなく大人も含めた犯罪の場となってしまう事が考えられる。</p> <p>現在社会そしてこれからの社会構勢を分析予測して討議していくべきである。</p> <p>P.S.現在自然に近い所では野犬がたくさん住んで被害を被っています。（賛否両論だけではなく討議すべきである）</p>
29	<p>いろいろな意見を知ることができて良い</p>
30	<p>本会の議論をどう生かすか不明だが、今後活かしてほしい。</p> <p>本日を含め円卓会議の議論を聞いて、自然環境を改善・拡大再生しつつ、グラウンドも残していく方策があるような気がしている。</p>
31	<p>色々の立場の違いから発言も異なることも仕方がない。野球場は減少せずにそのまま維持してほしい。駐車場もつくってほしい。ゴルフ場は500万人の中で何人利用しているのか。</p> <p>これはつぶすべきである。子供は少ないが体力づくりや交流をする為には必要。ただ大きく金をかけずに環境第1を考えた開発が必要。枚方大橋以南をもっと自然的にする様望む。</p> <p>牧野以北は散歩する道とか、自然散策道を八幡までつくってほしい。</p> <p>堤防は2階館、3階館の鉄筋建りの道路にしては、これは河川敷と少し違う。</p> <p>これは取り上げてほしいテーマ</p>
32	<p>・せっかくの円卓会議、今回の不規則発言は品位を欠くものです。厳しく注意、出入禁止にして下さい。</p> <p>・傍聴2回目です。合意形成の為。整備局の皆様の御努力に敬意を表します。</p> <p>・枚方のゾーニングは私し以前から考えています。南港の野鳥園は好例ですね。</p> <p>・「国の席は別だから」良く言われる縦割ですがもうそろそろ横断的な方法を開発する時ですね。</p>
33	<p>1、淀川河川敷の自然地区を拡大するための法的措置(例えば淀川自然再生促進法等により淀川沿川の堤内地での都市公園整備の国庫 ■ 河川敷ゴルフ場廃止に伴う生活再建措置等を定める。)を議題にすべきである。</p> <p>2、河川整備計画の保全目標が明確にされず、保全生態学、ビオトープ論等から淀川河川敷の生物の多様性を保全・再生する具体的な施策がないので、今後、議論すべきではないか。</p>
34	<p>・傍聴席にもテーブルを設置出来ないか(メモをするのに不自由であった)</p> <p>・傍聴席から許可のない発言に対し断固たる制裁を望む</p>
35	<p>今回の河川敷問題は全国的なものなのか関東方面の都会の中玉川 荒川の河川敷の利用は人口増 淀川は京都～大阪市内での公園化もある 然し青少年の利用出来る施設としてスポーツに使用している野球場、サッカー社会人高校生の全てのスポーツ人口は日本人の将来の姿を考える時に体力気力は少年時代に育てるもので どうかスポーツ施設を残して下さい。</p>
36	<p>発言者のレベルの均一化が必要では</p> <p>高田直俊氏のご意見は立場と関係なく非常に配慮されたお話で真剣なお考えに共鳴する。</p>
37	<p>01 groundの為、そしてgolf場の為の駐車場をつくってくれとはとんでもない事である。原子爆弾、飛行機はワル者だ。自動車つかいすぎ有害無益 なくすべき</p> <p>02 golf場で日本列島腐り果てた</p> <p>03 戦前自動車のない日本では馬車等で荷物を運んでいた。飢饉災害等の為には鉄道、船そして最低限の自動車にすべきである。</p> <p>04 枚方市役所は牽強附会、余計な事に金を人間をつかうところだ。</p> <p>自治体が市民の金をつかって余計なことをする自治体の見本だ</p>
38	<p>「国営河川公園」としてのグラウンド、自治体で使用許可されたグラウンドが区別されないままに河川敷でのスポーツが話されていた。</p> <p>整理できて後問題点(スポーツについての)を絞って討議してほしい。</p> <p>河川ゴルフ場の経営者が参加していたが、経営者になるためにどんな資格が必要か、教えてほしいものです。</p>
39	<p>もっと具体的な事例に絞って議論すべきである。</p> <p><例>サイクリングロード 野球場 ビオトープ ゴルフ場 広場</p> <p>既存の施設を残しながらも、自然の回復は可能ではないか。～どうする！！</p> <p>・サイクリングロードは枚野～八幡市間を完成させるべきでないか。</p> <p>・くずはゴルフ場は1/2にして有効利用すべきである</p> <p>※本流から50m～100mのところは第2水路を作りこの間を自然帯として回復できるのでは(施設との共存)</p>

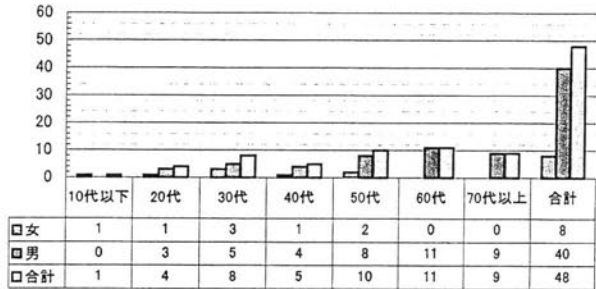
円卓会議アンケート結果（京都地区）

年代・性別

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	1	0	1
20代	1	3	4
30代	3	5	8
40代	1	4	5
50代	2	8	10
60代	0	11	11
70代以上	0	9	9
合計	8	40	48

参加者の年代・性別？

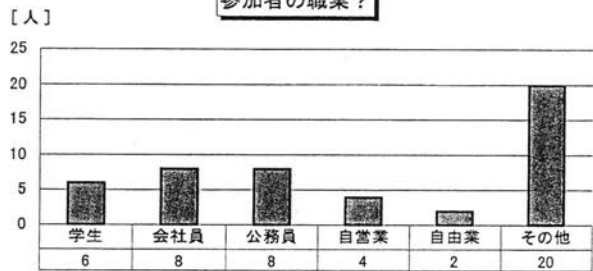


職業

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

学生	6
会社員	8
公務員	8
自営業	4
自由業	2
その他	20
無回答	0
合計	48

参加者の職業？

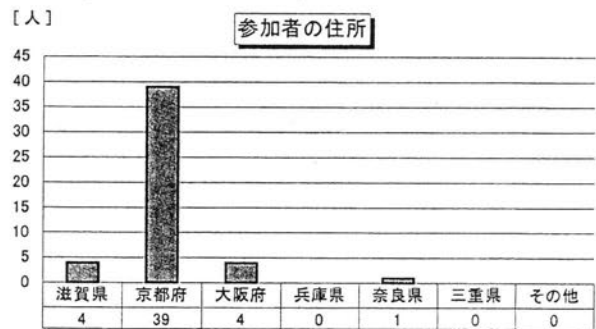


住所

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

滋賀県	4
京都府	39
大阪府	4
兵庫県	0
奈良県	1
三重県	0
その他	0
無回答	0
合計	48

参加者の住所

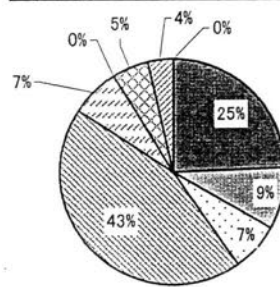


Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 48 回答数 57 回答率 119%

淀川河川事務所から案内があった	14
行政関係者から紹介された	5
知人から紹介された	4
新聞折り込みチラシ	25
新聞記事	4
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	3
流域委員で知った	2
その他	0
合計	57

この円卓会議を何で知りましたか？

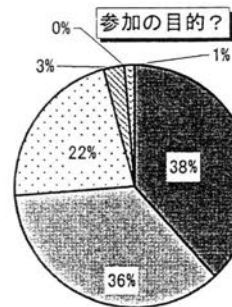


- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他

Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 48 回答数 73 回答率 152%

河川敷の保全に関心があった	28
河川敷の利用に関心があった	26
どのような会なのかに関心があった	16
発言者に応募した	2
発言者の知人だから	0
その他	1
合計	73



- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのかに関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

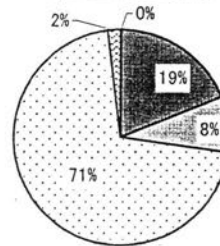
Q3. 円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1. 実施する曜日と時間について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

平日の昼間がいい	9
平日の夜がいい	4
土・日・祝日がいい	34
その他	1
無回答	0
合計	48

実施する曜日と時間？



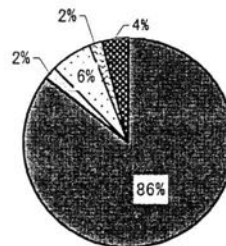
- 平日の昼間がいい
- 平日の夜がいい
- 土・日・祝日がいい
- その他
- 無回答

3・2. 実施場所・地区について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

この地区ではこの会場は適している	41
この地区では他に適している会場がある	1
もっと違う場所・地区で行うべきだ	3
その他	1
無回答	2
合計	48

実施場所・地区について？



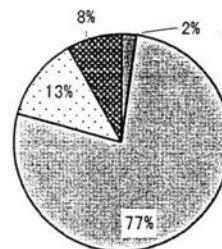
- この地区ではこの会場は適している
- この地区では他に適している会場がある
- もっと違う場所・地区で行うべきだ
- その他
- 無回答

3・3. 円卓会議での討議時間について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

短い	1
ちょうど良い	37
長い	6
無回答	4
合計	48

円卓会議での討議時間について



- 短い
- ちょうど良い
- 長い
- 無回答

短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 48 | 回答数 6 | 回答率 13%

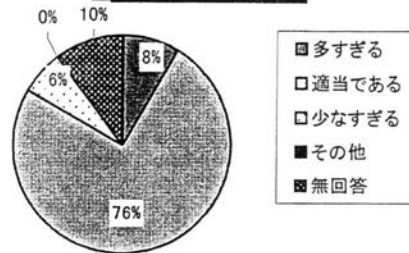
120分くらい	5
240分くらい	1
合計	6

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

多すぎる	4
適当である	36
少なすぎる	3
その他	0
無回答	5
合計	48

発言者の人数について

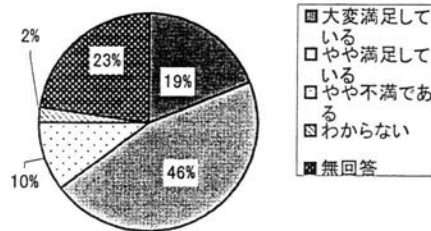


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

大変満足している	9
やや満足している	22
やや不満である	5
わからない	1
無回答	11
合計	48

ファシリテーターを置く方法について

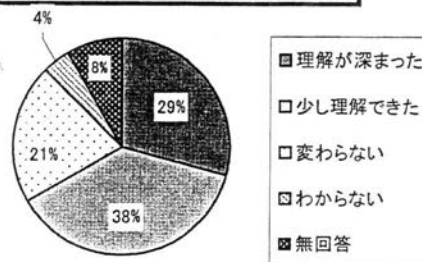


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

理解が深まった	14
少し理解できた	18
変わらない	10
わからない	2
無回答	4
合計	48

内容についての理解は深まりましたか？

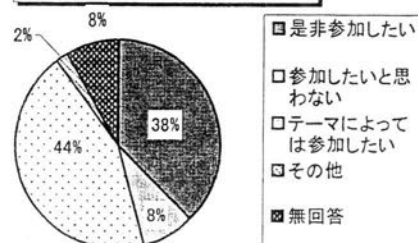


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

是非参加したい	18
参加したいと思わない	4
テーマによっては参加したい	21
その他	1
無回答	4
合計	48

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想	
1	<p>11月16日 河川敷保全会議。京都会場『円卓会議』招待有り難うございました。盛会で、活発な意見湧出の中、議事進行もスムーズに予定時間で終了しまして成功でした。</p> <p>11月20日 京都市議会では、京都市の1級河川の水量減少が、田中英之 自民党議員から指摘されまして熱弁でしたが、京都市の返答は、『自然現象には何とも出来ない』でした。</p> <p>今後の運営資料としては、大型スライド幕の設置で、分かりやすく、鮮明に映写されており、河川の変遷。現在の問題点。改革案。等。継続映写に続いて、河川に集まる鳥、魚、虫、草の、美しい生態と、河川汚染による生物の病気等も、四季の撮影、編集、映写を望みます。</p> <p>滋賀県、大津市、琵琶湖は、湖、河川が汚染する洗剤の使用禁止令が、町に家庭に浸透して、僅かづつでも美化に復旧している。上流の努力にも応えるべく、恩恵を受けている、京都府、大阪府。河川河畔の各市町村。自然破壊の洗剤。除草剤。染料。工場排水。下流での自治体にも、汚染防止対策を要望します。コイの罹病溺死が無いように。水量減少の鴨川では、僅かの汚水でも、汚染濃度が高くて、困難な増水工事よりも、河畔汚染防止が、悠久の河川美化につながります。</p>
2	<p>淀川河川関係の担当に対し意見を述べ、それに対し回答する事を主眼にするものと思っていたのがっかりした。テーマに素なおに討論すべきで進行をもっと考えるべきだ。</p>
3	<p>自然工法、保全地の管理など新たに発生する費用の見込み。 近隣住民の意識(アンケート調査があれば、ぜひ) (セキュリティなどの観点で、意外に自然型への抵抗感はあるかもしれないので)</p>
4	<p>桂川、宇治川及びテーマが植物、生物等の広範囲すぎて、色々な意見があっても発散してしまうので、もっとテーマを局所的に絞りこんで、意見を交わす方が有意義であると思われる。 たとえば、現地対話集会を検討する必要がある。</p>
5	<p>・金をかけて整備したものを自然に戻すということと又金をかけて戻すことの是非について考えさせられた。 ・せっかく整備したグラウンドをへらして河原にすることの意味がわからない。利用者がある限り使わせるべきであると思う。 ・今日の会議は何をテーマにしていたのか、ファシリテーターの会議が悪く、目的が何であったのか理解できなかった。 ファシリテーターが最後にまとめることが必要であろう。</p>
6	<p>・住民の声を聞く方法として正しいのか。意見を述べる人は日頃から対行政として活動をつづける人に多く、多くの人の声をうまく反映できるか、何かフォローアップがあってもいいかも。 ・もう少しテーマに具体性、範囲の縮小があると活発な議論になるかもしれない (高水敷について) ・その都市の問題に大きく関わると思われる。その都市のニーズが河川に影響すると思われる。治水、自然との共生を頭にいられたうえで固有の議論があってもいいのではないかと ・淀川は日本を代表する歴史のある川であり、固有性が発揮できるのではないかと</p>
7	<p>地域住民の意見交換の場としては、素晴らしい会議だったと思います。ただ非常にすすめ方が難しいのももう少し分かり易い流れにして頂きたいです。 また、このような会議の報告をHPで掲示されると思いますが、地域ごとに地図や写真と合わせて、意見とそれに対する近畿地方整備局の対応をそれぞれ見れるようにすればよいと考えます。そうすれば会議を継続、管理するにあたってよりよいデータとして蓄積されていくと思います。</p> <p>【図挿入有り】</p>
8	<p>河川敷の運動施設について 現在使用利用されている運動場施設(専用使用)を公認追認することになりはしないか 新規参入ができないのは既得権を守ることに過ぎない 全部ある施設を撤去する。できる前提で議論すべきである</p>
9	<p>盛り上げりに欠けた。 出席者にいろいろな方が入る工夫をしてほしい</p>
10	<p>・河川敷農業(私有地)で後継者がなく困ったあげく、「ふれ会い農業」とは勝手すぎる ・羽束師橋下流に京都市が管理する野球場があり、少し増水すると水没する。するとブルトーザーがはいり、1000万円以上かけて整地している。そのの堤防は水防訓練の場所となっていて、ヘリコプターで市長が来たこともある。広域避難所でもある。全く不経済である。 ・洪水の時を知らない人の発言ばかりである。先祖伝来の地域を守る私としては堤防の強化が第一である。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
11	私自身河川敷にて畑をやっているが、最近中止の建札が建てられた。桂川久我橋上流年老の集りでシルバークラブの畑として、これから大いにガンバローと話しあった所であった。作物はシルバー会の会員さんに配り喜ばれて居り非常に残ねんです。農業はほとんど使用せず、虫は手で殺しています。他河に流れてくるペットボトル、カン等は拾い集めて家庭ゴミとして出しています。畑は聞く所によると戦争中からやってあり私自身20年近く、近くの百姓さんから借り受けたのがはじまりです。 会場は音のヒビキのよい所してほしい
12	1, それぞれの利害がある。 2, 利害のある人が集まって考える。 3, 現地を見る。 4, 現地で会議を行う。(できれば地元の人に入ってもらう) 5, 半分ずつ我まんすることが大事。 6, 次回期待。
13	川へ流れる汚物、汚水、ゴミの不法投キ どう市民が考えて行動するべきか。ゆっくり話したい。
14	もっと広く利用する側の意見を取り上げて欲しいと思う。
15	住民の意見を聞く、互いに議論をすることはよい事である。しかし、同メンバーで議論を数回重ねないと自分の意見もまとまらないし、他の人の意見も理解が難しい。「整備計画」策定にあたって、円卓会議の効果を吸収することが無理と感じられる。(時間的に) 淀川水系流域委員会の思いつきですか？計画の期限を延ばすのですか？
16	淀川流域の河川ごとで話し合いの場があればいいと思う。 例えば桂川流域円卓会議 木津川 " 宇治川 " 水生、河川敷、などテーマはいろいろあっていいと思う。 情報交換の場にもなる。
17	ほぼ国交省の方針と同じ方向の意見の方が多し事に物足りなさを感じました。 むしろ反対の方が多しと日ごろ感じていたので、そこら辺での活発な討論が有ると思っていたので、その点残念です。 反対意見の方々はどうして今日参加しないのだろう？
18	本日の発言内容において、市民参加型の農業体験地域としての利用について興味をもって聞いていた。堤外の占用地ではなく民有地において管理された利用方法という視点が必要と思われた レンジャーの位置付けが議論されているか、市民の中で、四輪駆動車の乗入れ防止、不法占用不法投棄防止等の市民活動を行っている人に対し、何らかの認定をする事により、防止がかなり可能となると思われる。
19	河によって、また同じ河でも場所によって河川敷のあり方はことなるので、もう少しテーマをしぼるべきではないか。 論点がまったくかみ合わないという印象をうけた。
20	会議の目的(成果として期待されてるもの)が何なのか不明であったので、まとまりがなくなったのでは？
21	グラウンドの利用についてが主な論点ではなかったかと思っていたのですが、利用されている方の参加がないのはこの会議を行う意義が半減してしまうと思います。 会を行う時には事前に参加者を選定すべきだと思います。少年野球チームの子供達も参加されたらよかったですのではないのでしょうか。 意見を言われる方は保全派・利用派・共存派などはっきり区別し、論点をしっかり定めるべきでは。話が具体的な例になりすぎかなと感じます。でも結局は個々の川・地域によって事情も異なるだろうし、話はそういう方向に行ってしまうものなのかもしれません。 このような「淀川水系」のように広域なものについて住民の方々と話しあうということは大変だと実感しました。 もっと広い視点が必要だと思います。
22	桂川の流域住民として、また桂川で野生生物を調査している立場として、今日意見を述べる機会を与えていただき、有難うございました。 いろいろな立場の方々が、河川敷の保全・利用について話し合う場がこれまでなかったと思うので、今日のような円卓会議は非常に有意義な試みだと思います。ぜひ、今回限りのことに終わらせず、今後も年1回くらいのペースで続けていっていただきたいと思います。
23	畑・グラウンド等の利用者が多く参加して意見を言って欲しかった。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
24	<p>グラウンドの使用は、ほどほどがよいと思います。 一部可能なかぎり農地の活用はよいと思います。 しかし、農薬の使用は禁止すべきと考えます。 河川敷には河川にたしやす歩道をとぎれとぎれで無いような方法で、出来るかぎり宇治川から大阪方面や木津川の奈良方面にのびるような型で実現出来ればと考えます。 桂川地域のふれ合い農園はよいと思います。 使用方法と管理に課題が有ると感じます。 水質の浄化も考えてほしい。 バイクや自転車の乗入れは禁止すべきと考えます。 多くの意見を聞くことが出来参考になりました。 会場からの意見も取り上げられていただいたことはありがたいです。</p>
25	<p>討論の内容をもう少し限定した方がよかったと思います。議論が深まらなかったのが残念ですが、色々な人の意見を聞くことができました。 治水という視点からの意見も聞きたかったです。</p>
26	<p>医療問題について</p>
27	<p>なかなかまとまりがつかないが、これはこれでよいのだと思う。 いろいろな立場の意見を知ることができてよかった。 あとは、このようなPI手法を確保していきつつ、どのように政策決定していくのが大きな課題であり、大変興味があるところだ。</p>
28	<p>自然との共存それは大変むずかしいものです。 自然なくして人間の生活も考えられないのも又、事実です。意見の中での河川の利用法はもっともっと議論する課題です。自然を守りながら、開拓するのは、人間の大きな課題。それに成功すれば、地球のあるべき姿も見えてくる気がします。</p>
29	<p>上流の治山についても</p>
30	<p>主題について内容が詳しく知らなかったため、今までは全部参加して来ましたが大体の内容が知りましたので今後、会議をしぼって参加したいと思います。 (即ち内容がしぼれないから)</p>
31	<p>もっと座席にゆとりを持たせてほしい。</p>
32	<p>宇治川、桂川、木津川でそれぞれの現状報告がほしい、とくに運動公園の設置や堤防上のサイクリングロードの利用、実態、等一定のポイントを知らせた上で話しを聞きたかった。 河川敷の利用の方向性を考える上で堤防上の利用をどうするか、一緒に考えてほしい。 会場からの発言がムダに長い時間を3分位に切るべき。</p>
33	<p>今年国際「水フォーラム」が京都で開かれ、(途中、アメリカのイラク攻撃が開始されて「水フォーラム」が影が薄くなってしまったが)そのために国土交通省・環境庁から行事予算が付いたから、それぞれの地方の住民の声を聞くということは結構だが、応々行政が住民の声を聞くフリをするだけに終わらないように、積極的に可及的速やかに解決に努力されたい。 自然保護か。人間(利益)優先かにしぼられてきたようだが、例えば京都市内への観光客誘致の駐車場を河川敷に造り、シャトルバスで観光地までピストンする案は京都市・京都府から以前より積極的に建設省(河川管理庁)に提起されるべきであったと思うし、これからでも遅くはない。京都市等は働きかけるべきだろう。 観光都市京都の河川敷にホームレスが定住しているのは、見苦しく危険。関係庁間で至急解決すべきである。</p>
34	<p>水、川、問題の重要性はわかっているつもりです。 画面の全体が見えず、発言者の背中をみているという、座席の再考を望みます。</p>
35	<p>河川敷に施設がある場所はよく管理され維持されていると思いますが自然にまかされている場所に大型ゴミやペットボトル、ビニール等がすてられています。 これを失くす為には一人一人の、マナーの向上が求められます。マナーの向上を計る為にもう少しメディアの助力を得ることも考えるべきです。“落た常識の向上を計る” 淀川流域を区分して、問題を取り上げ議論を重ねて決論を出す。 河川敷は自然の最たる場所です。昔は自然災害さえなければ生物のイヤシの場所です。少しでもその自然に近い場所に戻すことを考え、地球の温暖化・異常気候の進行を軽減してほしいものです。</p>

円卓会議総括報告（淀川河川事務所管内実施分）

2003.12.4

1 実施内容

1. 提出された意見は全部で60通あった。
2. 円卓会議の概要：淀川河川事務所の管内は広く、状況も地域毎に異なるので、3日間、4会場（大阪市天満橋、京田辺市、枚方市、京都市、各会場とも、日曜日の午後、3時間程度）で行い、延べ32人が意見を発表・議論した。
3. 意見発表者の選択においては、時間的な制約から、総数で8名ぐらいが適当であると判断し、意見書の内容を検討して、原則として積極的利用を主張する方と、保全復元を主張する方が人数的にバランスするように心掛けた。また若者と女性は応募数が少ないので、できるだけ優先して選択させていただいた。また、選択されなかったが会場にいられていた方には、優先的に会場での発言をお願いした。毎回、会場からの発言も相当数いただくことができた。

2. 円卓会議を行った意義

1. 初めての住民による円卓会議であり、このような機会を通じて相互の理解が若干なりとも進む可能性があることが認められ、開催したこと自体に相当な意義があったのではないかと思われる。
2. また、論議を進めるなかで、「河川敷の利用は縮小を基本とする」という基本方針に対する一般の人の理解はまだ不十分であり、なおさまざまな方法でPRすべきことが明らかになった。

3. 出された主な意見とファシリテータの感想

1. 河川敷利用者の意見としては、二つの意見があることが明らかになった。
 - ①堤内に施設が無いから、河川敷を利用せざるを得ないとするもの。この方々には、場所が無くなるという危機感がつよくあり、現状を死守するとの意見まであったが、同時に、他に行く場所さえあれば出ていく気持ちはあった。
 - ②都市河川の空間は、本来、公園や花壇、芝生、農地等として、例えばパリのセーヌ河畔のように、都市的な利用をすべきであるというもの。この御意見は保全・復元と真っ向から対立する考え方であり、着地点を見つけるために相当な論議と理論的な考察および具体的な技術や手法の開発が必要であると思われる。
2. 積極的利用を主張する方には、なお利用を拡張すべきとの意見（例えば枚方地区、京田辺地区）もあったが、これ以上の河川敷利用はすべきでない、現状凍結ないしは若干の縮小は必要との意見が各地区とも利用者側からかなり多く出されており、この点は大いに注目すべきであると思われる。
3. 保全・復元を主張する意見には、淀川生態系滅亡の危機感がつよく感じられ、復活を急がなければならないとしながらも、いま直ちに全面的に利用を停止すべきというわけではなく、一步一步着実に進めるべきとの意見が多かった。
4. 中間的な意見として、生態系の保全の必要性を十分認めた上で、ある程度の都市的・施設利用も認めるという、両立を求める意見も複数あった。
5. 意見の土台がまちまちで、議論がなかなか噛み合わなかった点は否めない。
6. 当初は自分の意見を言うだけで、他人の意見に耳を傾けようとしなかった人も、議論が進む中で、相互に新しい発見があって若干改善された事例も見うけられた。
7. したがって、今後なお議論を深めて行くことにより、両者の歩み寄りの余地はある

と判断された。

4. 今後の方向

1. 一定の結論を導くためには、円卓会議をなんらかのかたちで継続する必要があると思われる。
2. その場合、共通の土台を得るために、たとえば今回の意見発表メンバーに再度参集していただき、現場を視察した後に議論を行うという方法はどうか。
3. さらに次なる展開としては、①「河川敷の利用は縮小を基本とする」という基本方針に対する是非、②河川毎に「河川保全利用委員会」を設け事案毎に同委員会で議論するという方法についての是非、を具体的に提示し、議論することが河川整備計画を具体的に進めて行く上で重要であると思われる。

河川敷保全と利用の方向性についての円卓会議 実施状況

●発言応募数及び当日発言者数

実施日	開催地区	発言者応募数		選 定 理 由
		応募者	当日発言者	
11/2	大阪会場	17	8	大阪会場での発言応募者の中から、時間的制約より、発言内容などのバランスを考え、8名(含高校生1名)をお願いした。 (ゴルフ場関係者1名、野球関係者2名、地元出身者1名、河川敷の環境保全の意見を持つ方4名)
11/9	京田辺会場	7	7	京田辺会場への応募者全員に発言をお願いした。
11/16	枚方会場	15	9	枚方会場での発言応募者の中から時間的制約より、発言内容などのバランスを考え、9名(内女性2名)をお願いした。 (ゴルフ場関係者1名・野球関係者1名、一般公園利用者2名、自治体関係者(個人資格)1名、河川敷の環境保全の意見を持つ方4名)
11/16	京都会場	11	8	京都会場での発言応募者の中から時間的制約より、発言内容などのバランスを考え8名をお願いした。 (河川敷利用者、河川環境保全のご意見を持つ方、中間の立場の方等)
	ご意見のみ	10		円卓での発言を希望していない方等
		60	32	

●傍聴者の参加人数等

実施日	開催地区	事前申込者	参 加 者 数			計	備 考
			参加者	当日参加者	報道機関		
11/2	大阪会場	133	103	24	8	135	TV:MBS 読売・大阪日々・日経
11/9	京田辺会場	54	40	14	0	54	
11/16	枚方会場	102	70	11	1	82	朝日新聞社
11/16	京都会場	91	53	16	1	70	京都新聞社
		380	266	65	10	341	

●傍聴者の事前申込方法

開催地区	ハガキ	FAX	メール	その他	合計
大阪会場	17	56	51	9	133
京田辺会場	4	27	21	2	54
枚方会場	16	38	40	8	102
京都会場	21	29	36	5	91

37

河川敷保全と利用の方向性についての円卓会議 実施状況

実施日		開催地区	会場名	ファシリテーター	淀川水系流域委員会 出席委員		
11/2 (日)	13:30~16:30	大阪会場	大阪マーチャンダイズマートビル	綾 史郎	寺田 武彦	三田村緒佐武	-
11/9 (日)	13:30~16:30	京田辺会場	京田辺市立中部住民センター「せせらぎ」	片寄 俊秀	嘉田由紀子	川上 聡	-
11/16 (日)	13:30~16:30	枚方会場	大阪歯科大学牧野学舎	綾 史郎	川上 聡	山村 恒年	-
11/16 (日)	13:30~16:30	京都会場	京都市勤業館「みやこめっせ」	片寄 俊秀	田村 悦一	塚本 明正	山本 範子

住民対話集会(円卓会議)の予定について

No.	日時	河川名	担当事務所	会場	会場名	テーマ	ファシリテーター
1	11月2日	淀川下流	淀川河川	大阪市	大阪マーチャンダイズマートビル2階3・4・5号室	河川敷保全と利用の方向性について	大阪工業大学 教授 綾史郎
2	11月9日	木津川	淀川河川	京田辺市	京田辺市立中部住民センター"せせらぎ"メインホール	河川敷保全と利用の方向性について	関西学院大学 教授 片寄俊秀
3	11月16日	桂川・宇治川	淀川河川	京都市	京都市勤業館"みやこめっせ"地下1階 第1展示場	河川敷保全と利用の方向性について	関西学院大学 教授 片寄俊秀
4	11月16日	淀川中流	淀川河川	枚方市	大阪歯科大学 牧野学舎 本館3階 セミナー室	河川敷保全と利用の方向性について	大阪工業大学 教授 綾史郎
5	11月24日	姉川・高時川	琵琶湖河川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて	近畿大学 助教授 久隆浩
6	12月7日	猪名川	猪名川河川	川西市	川西市商工会館経済交流センター4F多目的ホール	高水敷保全と利用について	関西学院大学 教授 片寄俊秀
7	12月7日		琵琶湖河川	守山市	守山商工会議所	高水敷保全と利用について	龍谷大学 教授 笠文彦
8	12月7日	大戸川	大戸川ダム	京都市	京都リサーチパーク	大戸川ダムの計画見直し案について	立命館大学 教授 見上崇洋
9	12月14日	大戸川	大戸川ダム	大津市	大津市商工会議所 大津市打出浜1-3 TEL:077-522-4185	大戸川ダムの計画見直し案について	立命館大学 教授 見上崇洋
10	12月20日	姉川・高時川	琵琶湖河川	彦根市	ひこね燦ばれず 多目的ホール 彦根市小泉町648-3 TEL:0749-28-7272	丹生ダムについて	近畿大学 助教授 久隆浩
11	12月21日	宇治川	琵琶湖河川	宇治市	宇治市産業会館 多目的ホール 京都府宇治市宇治琵琶45-13 TEL:0774-23-3101	天ヶ瀬ダム再開発について	(株)関西総合研究所 久保田洋一
12	1月17日	姉川・高時川	琵琶湖河川	長浜市	長浜ロイヤルホテル ロイヤルホール 長浜市大島町38 TEL:0749-64-2000	丹生ダムについて	近畿大学 助教授 久隆浩
13	1月25日	宇治川	琵琶湖河川	大津市	大津市民会館 小ホール 大津市島の関14番1号 TEL:077-525-1234	天ヶ瀬ダム再開発について	(株)関西総合研究所 久保田洋一
14	1月25日	余野川	猪名川総合開発	箕面市	箕面市立箕面文化センター 8F大会議室 箕面市箕面6-3-1 TEL:072-721-1901	余野川ダムについて	摂南大学 教授 澤井健二
15	2月8日	宇治川	琵琶湖河川	宇治市	宇治市産業会館 多目的ホール 京都府宇治市宇治琵琶45-13 TEL:0774-23-3101	天ヶ瀬ダム再開発について	(株)関西総合研究所 久保田洋一

「河川敷保全と利用の方向性について」

- 円卓会議総括報告
- 実施状況
- 新聞記事
- 告知チラシ
- アンケート結果

【ファシリテーター】

綾 史郎

(大阪工業大学 工学部都市デザイン工学科 教授)

片寄 俊秀

(関西学院大学 総合政策学部都市政策コース 教授)

1 実施内容

1. 提出された意見は全部で60通あった。
2. 円卓会議の概要：淀川河川事務所の管内は広く、状況も地域毎に異なるので、3日間、4会場（大阪市天満橋、京田辺市、枚方市、京都市、各会場とも、日曜日の午後、3時間程度）で行い、延べ32人が意見を発表・議論した。
3. 意見発表者の選択においては、時間的な制約から、総数で8名ぐらいが適当であると判断し、意見書の内容を検討して、原則として積極的利用を主張する方と、保全復元を主張する方が人数的にバランスするように心掛けた。また若者と女性は応募数が少ないので、できるだけ優先して選択させていただいた。また、選択されなかったが会場にいられていた方には、優先的に会場での発言をお願いした。毎回、会場からの発言も相当数いただくことができた。

2. 円卓会議を行った意義

1. 初めての住民による円卓会議であり、このような機会を通じて相互の理解が若干なりとも進む可能性があることが認められ、開催したこと自体に相当な意義があったのではないと思われる。
2. また、論議を進めるなかで、「河川敷の利用は縮小を基本とする」という基本方針に対する一般の人の理解はまだまだ不十分であり、なおさまざまな方法でPRすべきことが明らかになった。

3. 出された主な意見とファシリテータの感想

1. 河川敷利用者の意見としては、二つの意見があることが明らかになった。
 - ①堤内に施設が無いから、河川敷を利用せざるを得ないとするもの。この方々には、場所が無くなるという危機感がつよくあり、現状を死守するとの意見まであったが、同時に、他に行く場所さえあれば出ていく気持ちはあった。
 - ②都市河川の空間は、本来、公園や花壇、芝生、農地等として、例えばパリのセーヌ河畔のように、都市的な利用をすべきであるというもの。この御意見は保全・復元と真っ向から対立する考え方であり、着地点を見つけるために相当な論議と理論的な考察および具体的な技術や手法の開発が必要であると思われた。
2. 積極的利用を主張する方には、なお利用を拡張すべきとの意見（例えば枚方地区、京田辺地区）もあったが、これ以上の河川敷利用はすべきでない、現状凍結ないしは若干の縮小は必要との意見が各地区とも利用者側からかなり多く出されており、この点は大いに注目すべきであると思われる。
3. 保全・復元を主張する意見には、淀川生態系滅亡の危機感がつよく感じられ、復活を急がなければならないとしながらも、いま直ちに全面的に利用を停止すべきというわけではなく、一步一步着実に進めるべきとの意見が多かった。
4. 中間的な意見として、生態系の保全の必要性を十分認めた上で、ある程度の都市的・施設利用も認めるという、両立を求める意見も複数あった。
5. 意見の土台がまちまちで、議論がなかなか噛み合わなかった点は否めない。
6. 当初は自分の意見を言うだけで、他人の意見に耳を傾けようとしなかった人も、議論が進む中で、相互に新しい発見があって若干改善された事例も見うけられた。
7. したがって、今後なお議論を深めて行くことにより、両者の歩み寄りの余地はある

と判断された。

4. 今後の方向

1. 一定の結論を導くためには、円卓会議をなんらかのかたちで継続する必要があると思われる。
2. その場合、共通の土台を得るために、たとえば今回の意見発表メンバーに再度参集していただき、現場を視察した後に議論を行うという方法はどうか。
3. さらに次なる展開としては、①「河川敷の利用は縮小を基本とする」という基本方針に対する是非、②河川毎に「河川保全利用委員会」を設け事案毎に同委員会で議論するという方法についての是非、を具体的に提示し、議論することが河川整備計画を具体的に進めて行く上で重要であると思われる。

河川敷保全と利用の方向性についての円卓会議 実施状況

● 発言応募数及び当日発言者数

実施日	開催地区	発言者応募数		選 定 理 由
		応募者	当日発言者	
11/2	大阪会場	17	8	大阪会場での発言応募者の中から、時間的制約より、発言内容などのバランスを考え、8名(含高校生1名)をお願いした。 (ゴルフ場関係者1名、野球関係者2名、地元出身者1名、河川敷の環境保全の意見等を持つ方4名)
11/9	京田辺会場	7	7	京田辺会場への応募者全員に発言をお願いした。
11/16	枚方会場	15	9	枚方会場での発言応募者の中から時間的制約より、発言内容などのバランスを考え、9名(内女性2名)をお願いした。 (ゴルフ場関係者1名・野球関係者1名、一般公園利用者2名、自治体関係者(個人資格)1名、河川敷の環境保全の意見を持つ方4名)
11/16	京都会場	11	8	京都会場での発言応募者の中から時間的制約より、発言内容などのバランスを考え8名をお願いした。 (河川敷利用者、河川環境保全のご意見を持つ方、中間の立場の方等)
	ご意見のみ	10		円卓での発言を希望していない方等
		60	32	

● 傍聴者の参加人数等

実施日	開催地区	事前申込者	参加者数			計	備 考
			参加者	当日参加者	報道機関		
11/2	大阪会場	133	103	24	8	135	TV:MBS 読売・大阪日々・日経
11/9	京田辺会場	54	40	14	0	54	
11/16	枚方会場	102	70	11	1	82	朝日新聞社
11/16	京都会場	91	53	16	1	70	京都新聞社
		380	266	65	10	341	

● 傍聴者の事前申込方法

開催地区	ハガキ	FAX	メール	その他	合計
大阪会場	17	56	51	9	133
京田辺会場	4	27	21	2	54
枚方会場	16	38	40	8	102
京都会場	21	29	36	5	91

河川敷保全と利用の方向性についての円卓会議 実施状況

実施日		開催地区	会場名	ファシリテーター	淀川水系流域委員会 出席委員		
11/2 (日)	13:30~16:30	大阪会場	大阪マーチャンダイズマートビル	綾 史郎	寺田 武彦	三田村緒佐武	—
11/9 (日)	13:30~16:30	京田辺会場	京田辺市立中部住民センター「せせらぎ」	片寄 俊秀	嘉田由紀子	川上 聡	—
11/16 (日)	13:30~16:30	枚方会場	大阪歯科大学牧野学舎	綾 史郎	川上 聡	山村 恒年	—
11/16 (日)	13:30~16:30	京都会場	京都市勤業館「みやこめっせ」	片寄 俊秀	田村 悦一	塚本 明正	山本 範子

「河川敷保全と利用の方向性について」話そう!

ぜひ参加のんだ河川敷

河川管理者も悩んでいます、あなたのご意見を…
円卓会議に参加しませんか?

今後、川の整備の方針は

河川環境では…

少しだけ手伝って、後は自然にまかせ、昔の川のように、瀬と淵があり、生き物にとってすみやすい川にします。

河川敷の利用では…

身近な自然空間を利用して、公園やグラウンドなどを作ってきましたが、これからは、自然環境保全・再生することが大切です。グラウンドなどのように、本来河川敷以外で利用するものについては、縮小を基本としています。

しかし…

既存の利用施設が数多くの人々に利用され、また住民や自治体等からはグラウンド等のスポーツ施設に対する存続および新設の強い要望があります。

- ▶ 円卓会議で発言を希望される方は意見書を提出して頂きます。
- ▶ 第三者の司会・進行役(ファシリテーター)が意見書をもとに、円卓に参加する方を選びます。

円卓会議日程

	会場	河川名	会場名	開催日	時間
1	大阪地区	淀川下流	大阪マーチャントイスマートビル 2F 3・4・5号	11月2日(日)	13:30~16:30
2	京田辺地区	木津川	京田辺市立中部住民センター せせらぎメインホール	11月9日(日)	13:30~16:30
3	京都地区	桂川 宇治川	京都市勤業館 みやこめっせ 地下1階 第1展示場	11月16日(日)	13:30~16:30
4	枚方地区	淀川中流	大阪歯科大学 牧野学舎 本館 3階 セミナー室	11月16日(日)	13:30~16:30

この募集が終了した方で選ばれなかった方のご意見も、円卓会議の資料として公表させていただきます

司会・進行(ファシリテーター)

綾 史郎 (あや しろう)

(大阪工業大学 工学部都市デザイン工学科 教授)
 遊びや研究の場として35年以上淀川水系に係わっており、城北ワンド群を手始めに、河川工学的な研究を中心として、歴史や環境、生物など様々な切り口から淀川水系を研究している。現在は、河川学的視野から淀川生態系の保全・復元の研究に力を注いでおり、年中淀川を駆け回っている。

片寄 俊秀 (かたよせ としひで)

(関西学院大学 総合政策学部都市政策コース 教授)
 都市および地域環境プランナー。住民参加のまちづくりを研究。モットーは「つくり戻そう子供天国。山、川、海 そして下町の再生と復権」

河川整備計画とは…

今後、20～30年間の具体的な河川の整備をどうしていくかを定めるための計画を、住民のみなさんや淀川水系流域委員会（以下：流域委員会）、府県・市町村（自治体）などの意見を聴いてつくります。これが河川整備計画です。

淀川水系流域委員会とは…

流域委員会は、具体的な河川の整備内容を示す「河川整備計画」をつくるにあたり学識経験者等から意見を聴く場として、平成13年2月に国土交通省近畿地方整備局によって設置されました。流域委員会は委員会と3つの地域部会（琵琶湖、淀川、猪名川）および4つのテーマ別部会（環境・利用、治水、利水、住民参加）で構成されています。

淀川水系流域図



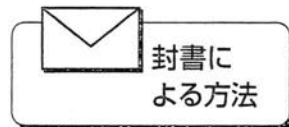
発言者応募方法

意見書提出の締め切り

10月10日(金)
(必着)

●発言を希望される方は、事前に意見書をご提出下さい。

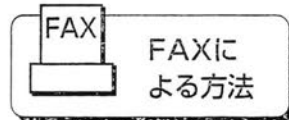
発言希望者は意見書をA4用紙1枚程度にまとめ、発言希望会場、住所、氏名、年齢、電話番号、E-mailアドレス（お持ちの方のみ）、所属（もしあれば）、これまでの経歴や活動経験（もしあれば）をご記入のうえ、下記方法のいずれかでお申し込み下さい。



住所：〒573-1191 大阪府枚方市新町2-2-10
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
河川整備計画 係



Eメール: kasenseibi@yodoriver-net.jp
ホームページからのお申し込みも可能です。



FAX: 072-844-5461

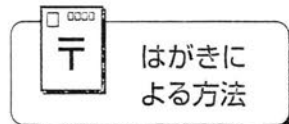
傍聴者応募方法

傍聴申し込みの締め切り

10月24日(金)

●傍聴を希望される方（どなたでも傍聴可能です）は、希望会場、住所、氏名、連絡先（TEL）をご記入のうえ、下記の方法のいずれかでお申し込み下さい。

ホームページ: <http://www.kkr.mlit.go.jp/yodogawa>



住所：〒573-1191 大阪府枚方市新町2-2-10
国土交通省近畿地方整備局淀川河川事務所
河川整備計画 係



Eメール: kasenseibi@yodoriver-net.jp
ホームページからのお申し込みも可能です。



FAX: 072-844-5461

円卓会議アンケート結果

<目次>

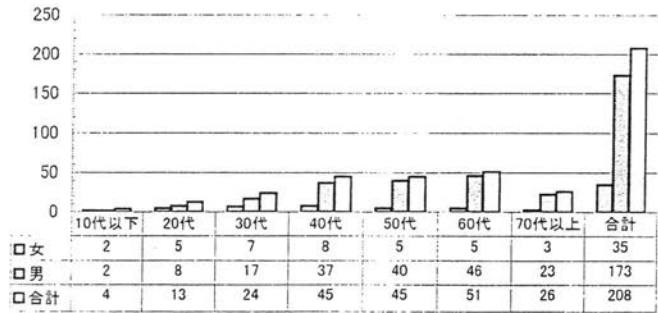
4会場総合	1
大阪地区	5
京田辺地区	14
枚方地区	20
京都地区	27

年代・性別

回収枚数 209 回答数 208 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	2	2	4
20代	5	8	13
30代	7	17	24
40代	8	37	45
50代	5	40	45
60代	5	46	51
70代以上	3	23	26
合計	35	173	208

参加者の年代・性別？

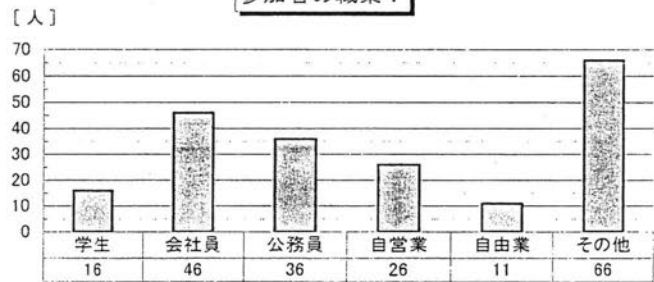


職業

回収枚数 209 回答数 209 回答率 100%

学生	16
会社員	46
公務員	36
自営業	26
自由業	11
その他	66
無回答	8
合計	209

参加者の職業？

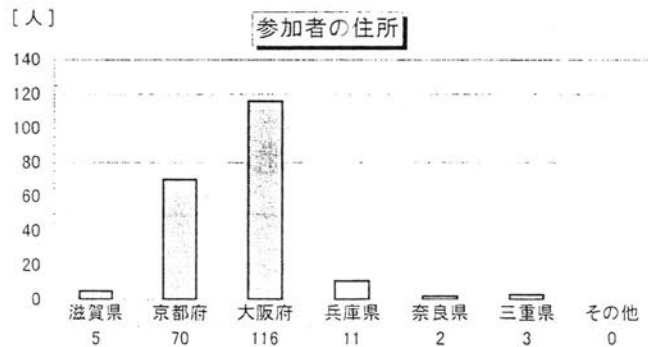


住所

回収枚数 209 回答数 209 回答率 100%

滋賀県	5
京都府	70
大阪府	116
兵庫県	11
奈良県	2
三重県	3
その他	0
無回答	2
合計	209

参加者の住所

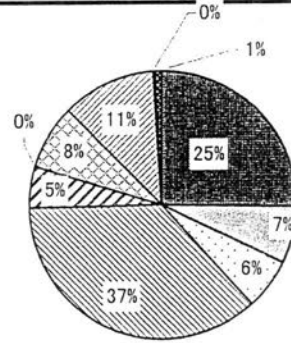


Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 209 | 回答数 246 | 回答率 118%

淀川河川事務所から案内があった	62
行政関係者から紹介された	17
知人から紹介された	15
新聞折り込みチラシ	90
新聞記事	12
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	19
流域委員で知った	28
その他	1
無回答	2
合計	246

この円卓会議を何で知りましたか？



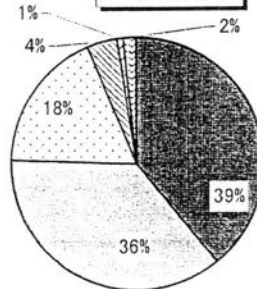
- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他
- 無回答

Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 209 | 回答数 343 | 回答率 164%

河川敷の保全に関心があった	134
河川敷の利用に関心があった	125
どのような会なのか関心があった	62
発言者に応募した	13
発言者の知人だから	3
その他	6
合計	343

参加の目的？



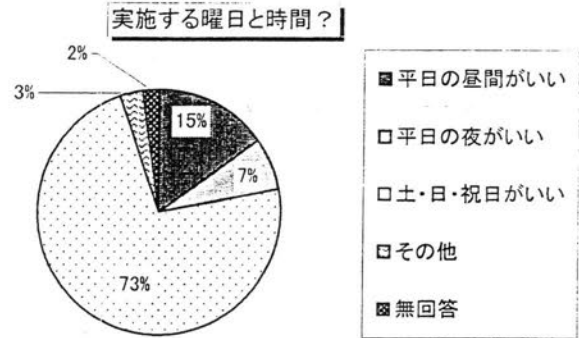
- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのか関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

Q3.円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1.実施する曜日と時間について

回収枚数 209 | 回答数 213 | 回答率 102%

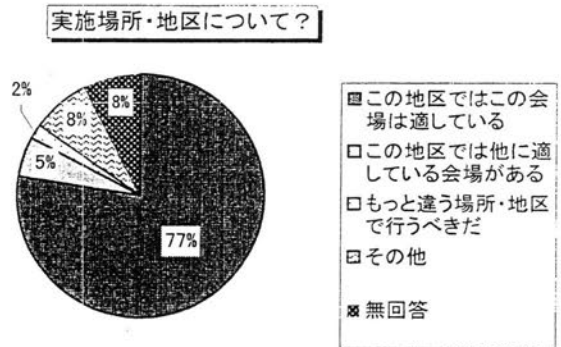
平日の昼間がいい	32
平日の夜がいい	15
土・日・祝日がいい	155
その他	6
無回答	5
合計	213



3・2.実施場所・地区について

回収枚数 209 | 回答数 210 | 回答率 100%

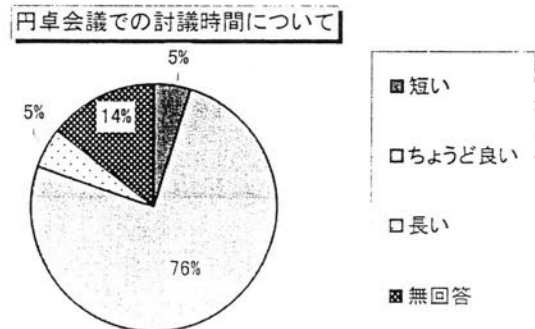
この地区ではこの会場は適している	163
この地区では他に適している会場がある	11
もっと違う場所・地区で行うべきだ	4
その他	16
無回答	16
合計	210



3・3.円卓会議での討議時間について

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

短い	10
ちょうど良い	158
長い	11
無回答	30
合計	209



短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 209 | 回答数 14 | 回答率 7%

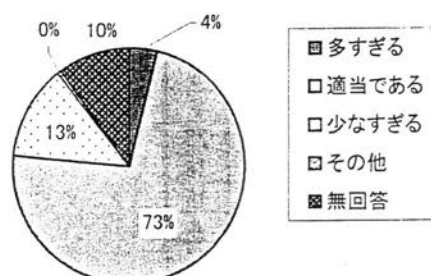
120分くらい	9
180分くらい	2
240分くらい	1
300分くらい	1
回数が必要	1
合計	14

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

多すぎる	8
適当である	152
少なすぎる	27
その他	1
無回答	21
合計	209

発言者の人数について

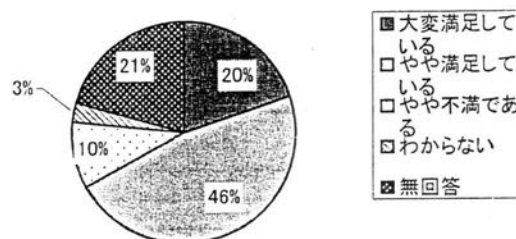


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

大変満足している	41
やや満足している	99
やや不満である	20
わからない	6
無回答	43
合計	209

ファシリテーターを置く方法について

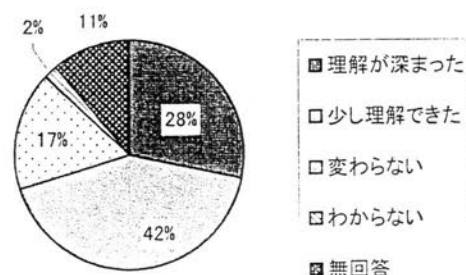


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

理解が深まった	59
少し理解できた	88
変わらない	35
わからない	4
無回答	23
合計	209

内容についての理解は深まりましたか？

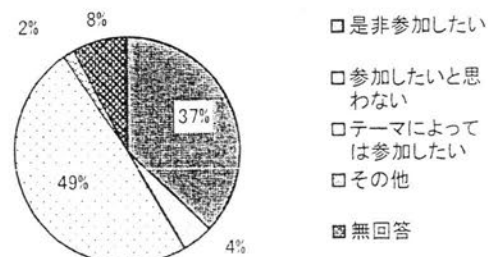


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 209 | 回答数 209 | 回答率 100%

是非参加したい	78
参加したいと思わない	9
テーマによっては参加したい	102
その他	4
無回答	16
合計	209

今後も参加したいと思いますか？

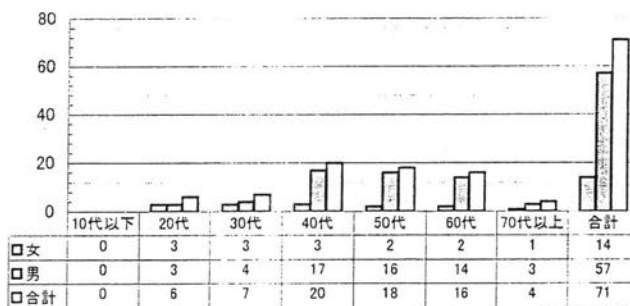


年代・性別

回収枚数 71 回答数 71 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	0	0	0
20代	3	3	6
30代	3	4	7
40代	3	17	20
50代	2	16	18
60代	2	14	16
70代以上	1	3	4
合計	14	57	71

参加者の年代・性別？

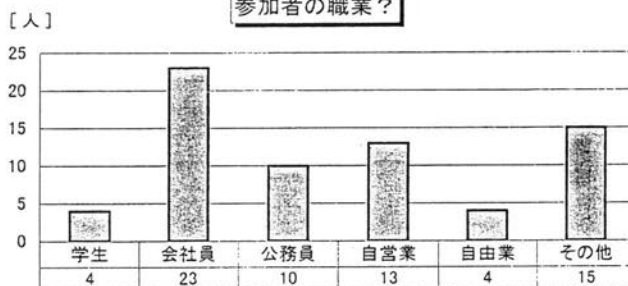


職業

回収枚数 71 回答数 71 回答率 100%

学生	4
会社員	23
公務員	10
自営業	13
自由業	4
その他	15
無回答	2
合計	71

参加者の職業？

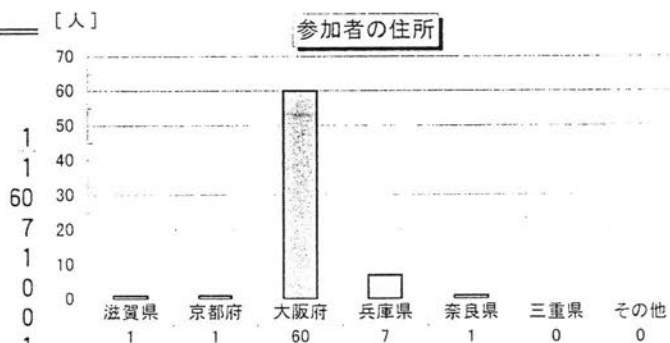


住所

回収枚数 71 回答数 71 回答率 100%

滋賀県	1
京都府	1
大阪府	60
兵庫県	7
奈良県	1
三重県	0
その他	0
無回答	1
合計	71

参加者の住所

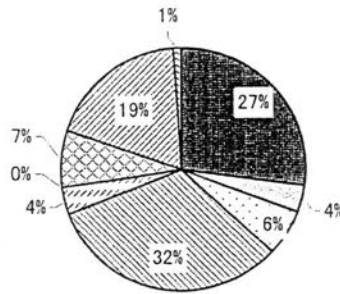


Q1.この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 71 | 回答数 81 | 回答率 114%

淀川河川事務所から案内があった	22
行政関係者から紹介された	3
知人から紹介された	5
新聞折り込みチラシ	26
新聞記事	3
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	6
流域委員で知った	15
その他	1
合計	81

この円卓会議を何で知りましたか？



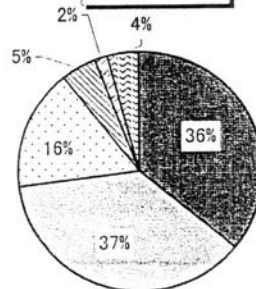
- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他

Q2.今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 71 | 回答数 122 | 回答率 172%

河川敷の保全に関心があった	44
河川敷の利用に関心があった	45
どのような会なのか関心があった	20
発言者に応募した	6
発言者の知人だから	2
その他	5
合計	122

参加の目的？



- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのか関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

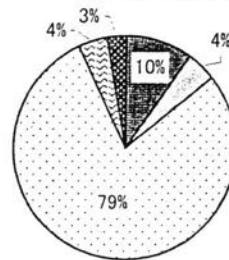
Q3. 円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1. 実施する曜日と時間について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

平日の昼間がいい	7
平日の夜がいい	3
土・日・祝日がいい	56
その他	3
無回答	2
合計	71

実施する曜日と時間？



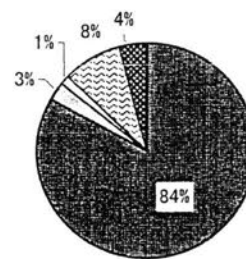
- 平日の昼間がいい
- 平日の夜がいい
- 土・日・祝日がいい
- その他
- 無回答

3・2. 実施場所・地区について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

この地区ではこの会場は適している	59
この地区では他に適している会場がある	2
もっと違う場所・地区で行うべきだ	1
その他	6
無回答	3
合計	71

実施場所・地区について？



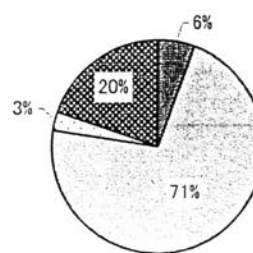
- この地区ではこの会場は適している
- この地区では他に適している会場がある
- もっと違う場所・地区で行うべきだ
- その他
- 無回答

3・3. 円卓会議での討議時間について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

短い	4
ちょうど良い	51
長い	2
無回答	14
合計	71

円卓会議での討議時間について



- 短い
- ちょうど良い
- 長い
- 無回答

短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 71 | 回答数 5 | 回答率 7%

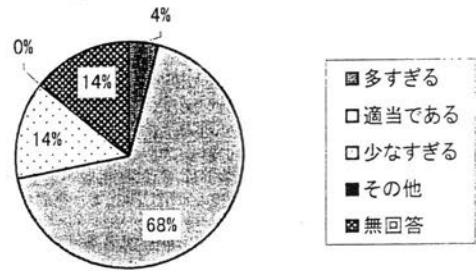
120分くらい	2
180分くらい	1
300分くらい	1
回数が必要	1
合計	5

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

多すぎる	3
適当である	48
少なすぎる	10
その他	0
無回答	10
合計	71

発言者の人数について

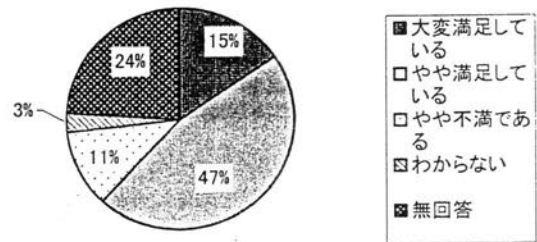


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

大変満足している	11
やや満足している	33
やや不満である	8
わからない	2
無回答	17
合計	71

ファシリテーターを置く方法について

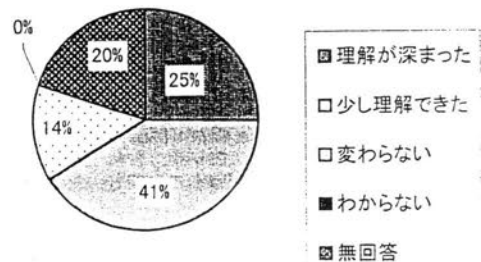


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

理解が深まった	18
少し理解できた	29
変わらない	10
わからない	0
無回答	14
合計	71

内容についての理解は深まりましたか？

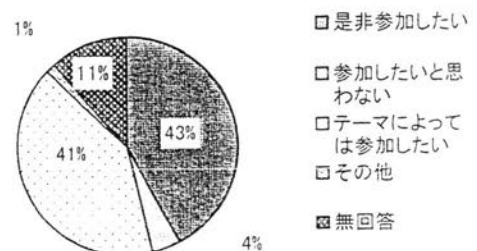


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 71 | 回答数 71 | 回答率 100%

是非参加したい	30
参加したいと思わない	3
テーマによっては参加したい	29
その他	1
無回答	8
合計	71

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
1	音響がちょっと悪いようで、発言内容が聞きとりにくい。 もう少し本格的なPA設備のある会議場の方がよいのではないのでしょうか。
2	既得権を振り回すゴルフ場や野球場の関係者の一方的で横暴な意見にあきれて頭にきます。散歩したくても野球場を避けなければいけないのでまともに安心して歩けません。 淀川は人間のためだけのものではありません。 大昔から住んでいる植物や動物のものです。 人間が勝手に手を加えるべきではありません。 自然の美しい川に戻して、その一部を人間にも利用させて下さい。
3	農地もあり、居住地もあり砂ぼこりもし、はっきり管理してほしい。 鳥害、フン害、エチゼンクラゲ、人体の健康上も関係ないでしょうか？サーズの再来かも？ あまりにもグラウンド利用野球の主張が自制■エチケットも無く多すぎる グラウンドの言い分ばかり。
4	・自然再生というものを軽視しすぎ、「放っておく」「自然の回復力に任せる」等が当然の様に実施されている。結果はどうなったか？植生は回復せず荒地が形成、もしくは繁殖力の強い外来植物の絶好の基盤として、自然再生とはかけ離れた景観・生態系が創出してしまっている。その責任は？誰もとらない…。どこそこの先生の言う通りにやった。整備費用は我々国民の血税である。思慮深く取り組んでほしい。どうせお金を使うならもっと積極的に自然再生という試みに挑戦してほしい。河川敷のグラウンド利用などレベルが低すぎる。スペース(野球などの)が無いからといって河川空間を人間都合の空間に整備するのは川への冒とくである。ましてや親水空間などと名付けられた見せかけの石ころの整備(危なくなく、きれい)はもう進めないで欲しい。親水というのは本来草むらをかき分けて水場に近づき、そして水に触れ、生態系に触れる事である。私はそこで笑い、また溺れ、泣き、楽しみ、感動を体験してきた。もう名前だけの多自然型川づくりから脱却してほしい。 川を教科書に育ててもらった人間からのお願いです。 グラウンド討論について…グラウンドは少なくとも自然環境に良好な影響を与えない。パネラーの人がただか15%とか言っていたが、面積比較で自然を語ってはいけない。 しかし、河川敷にグラウンドがある生活、文化を認めてきた(黙認してきた)責任はとるべき。 道路などの無駄づかいをやめ、堤内地でのグラウンド整備に少しずつでも取り組む。
5	「河川保全と利用について」が議題だったはずが、スポーツ施設として利用することを前提とし、全体を見る視野の広い話がありえず、出てもグラウンド利用派にかき消されてしまっていた。野球やゴルフがいかにか好きか、といった河川敷とは何ら関係のない話を延々していた人々がおり、大変聞き苦しかった。この人たちは場をはき違えているのではないかと思う。河川敷とは本来、遊水池であり、グラウンドとして整備する場ではない。本来の議題について、グラウンドとして利用する人はほとんど触れていなかった。時間の無駄としか思えない次元の低さだった。もう少し発言者の人選について考えてほしい。ファシリテーターの方は、方向が議題からずれ放題でも軌道修正の一つもせず、何のためにずわっているのか謎だった。 本来の川として掃除をしてから、江戸時代のダムを整備すれば良いと思う。
6	①会場設営・運営は非常によい。 ②円卓会議発言の中でゴルフ場、野球場は残してほしいというような意見が多数あったが、人が多く集まる場所でのトイレの問題に全くふれていない。生理的現象の解決策はどうするのか？ ③ゴルフ場の芝生の育成に農薬を使用していないか？ トイレの問題と一緒に淀川水質汚染につながるような利用は絶対にやってはならない。 ④木を植えてはどうかという話もあったが、堤防に弱体化につながる恐れがあり、反対だ。
7	私は直接淀川に関係のないところに住んでおりますので、今日は本当の意味で河川の自然環境づくりの話し合いを期待していましたが、発言者の河川敷の利用や存続だけを考える発言が多いのが残念でした。 現状を維持した上でもっと自然との共生を進めていって頂きたいです。
8	河川敷は河川の「ヒト」の生命からは比較に出来ない「時」を経て、形成されたものであり、地区の野球少年、PTA会長、土建屋関係者等の個人的な事情を優先する個人の考え方の範囲を越えたものである為、彼らの参加して発言を封ずる事は憲法に反し認めないとする事は困難であるが、しかし主題からは、著しく離れた意見を会議場で意見として申し述べる事は、議場に出席する必要はなく主題にそって話を進められる人に出席を求めたい。獲得した優先権を主張し、子供を盾にした発言は聞き苦しい結果として、工事をすすめてほしい行政の露払い役を担っての発言か？
9	各々の立場で熱っぽく語っていただき、あらためて他人の意見の存在に感心しました。傍聴の発言の機会、傍聴の前もって考えておくべき課題、宿題などを出して、考えを交換出来る機会があればひょっとしたら名案なるものが生まれるかもしれません。 初めてこの様な機会、感動しています。
10	このような形で合意形成が図られることは大変意義深いことであると考えている。 本日の議論がどのように行政側に生かされるのか不明だが次のステップへつなげて行ってほしいと思う。
11	18才の若い方が発言されたのが大変よかったと思います。いろいろな年代や女性の発言もほしいと思いました。 河川敷グラウンドの利用者が強く不満のべられました。もう少し長期的な展望を持った考え方で川を考えてほしいと思いました。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想の内容
12	<ul style="list-style-type: none"> ・どなたが発言されているか分かりにくい。舞台の上などに円卓を設置できないか？ ・(前にも書きましたが)高水敷・低水敷の説明が欲しい。 ・意見書をお送りしたのですが、サーバーのトラブルが何かで届いていなかったらしい。残念ながら参加の機会を得られなかった。資料は今後の会場で配布してほしい。 ・「グラウンド等縮小」には大賛成です。よく方針を打ち出す事ができたと感じております。野球の方の声が大きかったのですが、負けずに頑張ってください。 ・野球・ゴルフの問題は野球の人が言うように「多くの人が使っているから少人数で占有しているのではない」ということではなく、「グラウンド利用中は他の者が使えなくなる＝排他的な利用である」ことが問題なのである。
13	<ul style="list-style-type: none"> ①中立な環境の場を提供する。 話の上手、へたで与える印象が左右される。 このような公開討論は双方、弁の立つ方の参加が必要なのでは。 話や説明の上手な方の意見に心を動かされてしまう。 ②よかったこと。 それぞれの立場の方々の意見を生で聞くことができた。
14	<p>大阪、近畿全体かつ都市化した今日河は河川敷内に押しこめられた貴重な自然にあり河川敷内はすべて自然に戻すべきであり野球もゴルフも人工そのものであり体を鍛えたければ山、海いくらでもある。 戦時中sports、screen、sexの3Sと言われたようにsportsに無駄なenergyとお金を消費していると言う面もある。 人間に取り自然は大切、植物をふやせ河川敷は自然に戻すのが当然である。 Golf場、野球場を河川敷だけで考えるな。街の中に野原にグラウンドを作れ</p>
15	<p>今から考えて、0からのスタートにして欲しい。</p>
16	<p>淀川の開発はデレーケの時代に近代的な工法で水制を、作ったのに始まる。近年の開発、特に高度成長期以降淀川にはグラウンドが多く作られていった。最近では自然を壊しすぎを反省からワンドも再生されるようになったが(社)大阪自然環境保全協会では、毎年正月の第1日曜日、阪急中津駅から地下鉄の橋脚まで淀川右岸左岸の水鳥調査を行っている。 15年前には3000羽近くいた水鳥が今では1500羽もいかない。環境をこれ以上悪化させない為、保護・保全を阻害する部分のグラウンドは縮小なり防護柵などの設備を作るべきだ。 又グラウンドの利用者は練習方法を変えることによって高利用を考えるのはどうだろう。</p>
17	<p>発言を聞いていると利害関係(?)がすごくはっきりしていると思う。利用している人達は市民の数から云うと限られた人数で、独占して使用している様に思う。自然にもどして誰でも行きたい所に行けて遊びたいときに好きなことをして遊べるという場の方が利用されやすい。ゴルフ場やグラウンドとして使用されると限られた人達になると思う。</p>
18	<p>発言者の発言内容によっては会場参加者の意見も聞いてはどうか(司会者のさいはいで)</p>
19	<p>今日伺った限りではゴルフ・野球等のスポーツに関する現状保護を話されてる様思う 川本来の形に戻るのがベターであると思う 治水洪水等の話もなく利用するあたては上流から下流まで飲料水の源流である 大阪市民が望むものは安全な水である</p>
20	<p>発言者の選び方 公平な立場で、双方共もつとも適した発言者を選んでほしい。</p>
21	<p>傍聴する側から発言者が見えにくい。配置を考えてほしい 国土交通省の関わり、意見がなかったことがもの足りない。これではおそらく現状維持に終わるだろう</p>
22	<p>もっと幅広い年齢層の方が参加できたら、と思います。 会に参加するまでは難しいのかもしれませんが、実際に公園やグラウンドを利用している子供たちの声を取り入れてみては、と思いました。 私の知識・情報不足なのかもしれませんが！ なぜ河川敷の利用において、公園やグラウンドの縮小が提案されているのか、その理由についての説明が少ないのでは、と感じました。</p>
23	<p>円卓会議の開催にあたっての中で河川環境では・・・ とありますがどう・・・するのですか？ 生物にとって生みやすい河を作るのにどうしなければならぬか設計してみて河川敷の利用を決めないと中心になる 話が話題にならないといろいろな意見だけが取り上げられて、河川環境はどうするのか 河川環境中心に話をしぼり、話を進めてほしい ゴルフ場の話があるがゴルフ場流出農薬の基準はあるのですか？</p>
24	<p>傍聴者にも多少の発言時間を与えるべきだ。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想の内容
25	<p>①グラウンド、公園等についての意見</p> <p>1) 河川敷ではなく、工場跡地や空地に設置するべきだ。</p> <p>2) 企業が所有しているグラウンドを使用を希望する者が借りる。</p> <p>②淀川の在来魚について</p> <p>1) 現在、淀川で絶滅した可能性が高い種類(ラブラボテ、日本バラタナゴ、オオウネギ、カワラナゴ、クメサヨリ、ラコカゲゴクラクハゼなど)について徹底した調査を</p> <p>2) アユモドキ、イタセンパラを増やすために池、人工ワンド、水路などを休耕田や空地に設置を推進するべきだ。</p> <p>③淀川環境保全について</p> <p>1) 今後は埋め立て、コンクリート護岸化は一切中止するべきだ。</p> <p>2) 徹底した水質浄化対策の推進。</p>
26	<p>①18才の高校生の発言者があったことは大変良いことであった。</p> <p>②「少年野球」のチームの運営関係者(利用者の側)が、発言者におられる訳ですが、では「学校の校庭」の開放状況であるとか「地域のスポーツ施設」の関係者であるとか。そういう河川敷以外のスポーツ施設の事情の中立的理解者を傍聴者の中あるいは、オブザーバーでも据いて途中で発言させるような工夫もしたら良いと思います。</p> <p>③オブザーバーに「淀川水系流域委員会」の2名の方が参加している訳ですから、最後に彼らへの一言を求めるようにファシリテーターの方に工夫を求めたい。(この部分不満です。)</p>
27	<p>・本来ならば流域委員会の提言の前のもっと早い段階で実施しておくべきだった</p> <p>・堤内地でのグラウンド確保ができない状況の中で、河川敷グラウンドを縮小すべきという基本計画原案を出すことは行政として無責任と言わざるを得ず、見直すべきである。</p> <p>・また、流域委員会と国土交通省の役割分担が分かりにくく、お互い責任を押し付け合っているように感じる。</p> <p>・とりあげて欲しいテーマとしては、住民の合意形成、参加パートナーシップのあり方。</p>
28	<p>日本全国に多数の河川が存在するにもかかわらず淀川だけがなぜ率先して流域委員会が成立したか疑問である。</p>
29	<p>河川敷の利用については、結局のところ都市部の土地利用の問題であると思いました。都市内の土地利用のあり方についての議論の深まりなしに河川敷だけで環境優先というわけには、いけないということは理解ができました。しかしながら、河川敷でしか不可能な自然環境があまりにも不可の流域では、少ないのも事実です。長い時間をかけて、都市部の土地利用の議論を深める必要があると感じました。</p>
30	<p>・グラウンド利用者が荒川、多摩川の例を上げていたが淀川とはちがうことをちゃんと説明してあげてほしい</p> <p>(水利用について淀川は大堰のところの水をのんでいる)</p> <p>・利用者側の意見は目先のことを言われていると思う、今、話しているのは、30年先のあるべき川を考えているので現状維持という意見はない。</p>
31	<p>グラウンドやゴルフ場、環境等の話ばかりでゴルフ場からのボールのとびだしでのケケンな話などの議論もしてもらいたかった</p> <p>淀川ゴルフ場からのボールのとびだしによる人身事故は多数あります。</p>
32	<p>・もう少しファシリテーターが介入してもよいと思う。はじめの1回で意見を言った後には、どの点が一致していて、どの点で意見が違うのかをファシリテーターが仕切って、明確にしていくべき。</p> <p>・発言者、傍聴者へのルールをはじめにはっきりしておいた方がよい。発言者→テーマに関して、意見をいう場、意見の違う人も含めて、より良い案をつくる場であることを認しきすべき。傍聴者→発言者やりとりする際には発言、はく手はえんりよすべき。</p> <p>(拍手等あった方がりん場感はあるが、発言者にとってははいあつにもなりかねない)</p> <p>・さいごに意見聴取のあり方にいろいろ意見出されたのはよかったと思う。今後もそのようにすべき。</p>
33	<p>自然保護を言うのであればまず、駐車場が河川敷にあるのはおかしいと思う。そこから始めればよいのでは？</p>
34	<p>原稿を読むような発言ではなく「対話」されますように。</p> <p>原稿の棒読みは会の趣旨に反するのではないかと</p> <p>玉木氏の意見に、解決・歩みよりの糸口があると思います</p> <p>お互いの立場に立って、相手側の主張への理解に立って、ということがまったくできない方は、議論がすずまない。対立したままになってしまっています。しかしそれをきいている傍聴者の側はそのかたくなさを感じてまた自分なりの意見を形成していられるのではないかと思います。</p> <p>一番若い発言者の方、もうすこし意見をききたかったです。</p> <p>ファシリテーターの方の方に好感がもてました。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想の内容
35	<p>河川敷を環境保護が取るのか、グラウンド利用が取るのか、そのどちらかの立場の人が集まるだけでは、平行線で発展できないと感じた。元兆は自治体、行政の視点に、市民のレクリエーションやスポーツのための用地を確保する義務感が欠けていたことではないか。30・40年かけて、まちがえてきたことは30年かけて修正すべきだ。環境サイドの人も、グラウンド使用者の人も「河川敷には60年代の豊かな河川環境、都市には十分な公園、スポーツ、レクリエーション施設、そしていざという時には災害に対してしびとい街づくり」同じ理想を持つことは可能だと思う。傍聴席の人たちにも、もっと発言の時間がほしかった。</p>
36	<p>本当に難しいテーマでした。避難場所の確保として残すという意味でも、今あるグラウンドはそのまま残したらいいと思う。 私は大阪城公園の近くに住んでいるけれど、大阪城公園では青シートの住民がたくさんいる。ある人はそこに住むホームレスの人におそわれた。 近所の公園は広い場所なのに、ボール遊びが禁止されている。子供はのびのび育たなければならないと思う。ドイツでは、町じゅうに緑を増やして、鳥や虫など生物が移動できるようにしている。それは、緑ある地点と緑ある地点の距離がとても近くなるよう緑化されている。他のグラウンドを作るのにお金をかけないで、もっと川の水質、洪水対策などにお金をかけるべき。 私が通っている大学は里山にあります。絶滅危惧種の生物もいます。でもフェンス・アスファルト道路のために生物の移動が、大小、さまざざられてしまいました。川の水の流速をおさえるためには、アシヤ石などで表面を凸凹させた方がよいとききました。ゴミはその場に捨てないで持ち帰り運動をした方がよい。たくさん花や緑を増やして、いつもキレイにしておく。グラウンドを芝生（もしくは根のはる植物）にしたらどうか。すべるけれど、水はけが悪いなら、グラウンドを掘おこして、水はけのよい土層を作ればよい。森のある川は豊水位以上の雨が降っても函養のため、洪水はおこりにくい。 私は農学部で環境保全は無視できません。今回の会議の意見は参考にさせていただきます。 共存できる道は必ず見つかると思う。</p>
37	<p>淀川河川敷は、野球、ゴルフ、テニス等のスポーツを楽しむ草花の観賞、釣り、野外バーベキュー等の広範囲の利用価値がある 又、野鳥や虫、魚、草花の観察をする事による理学的勉強もできる。そこで環境の保護の為に何がどう悪くどうすべきか。ゴルフ場や野球グラウンドが環境にどのように影響しているのか、現状の中で利用方法を考え工夫していく中でより良い方法が有るのではないかと</p>
38	<ul style="list-style-type: none"> ・行政が中心にいない対話集会は適切な形だと思う ・意見発表者にもう少し考えてもらうような投げかけ方をファシリテーターの方にしてもらった方がよいのでは ・傍聴の人たちの意見も聞いて欲しい。意見発表者の発表や議論を傍聴者がどう受けとめたのかを理解することも重要では ・会議の冒頭に、今日の会議で何をやるかの確認、目的意識の共有が必要ではないか
39	<p>「運営に関しての意見」 発言者にevianの水ペットボトルに紙コップは絶対必要なものなのか？淀川水系を元の環境にもどすという方針の中での円卓会議であれば、そこに環境に良くないペットボトルや紙コップがあるのは、おかしいし、矛盾していると感じる。次回からは、環境に慮して、発言者に対しては、ペットボトル、紙コップを用意しない形で、進行していただきたい。 私は日常的に水筒を携帯している。それで十分だと思います。 「円卓会議内容について」 対話になっていない。「グラウンド」vs「環境保護」を越えた地点からの議論が次回欲しい。 今日の傍聴者からのおっちゃんの見解は、ものすごく貴重だと思いました。</p>
40	<p>発言者以外の人の発言をもう少し入れて参考に底辺の意見を数多く聞く自然と両立出来る河川敷保全を前向きに方向付ける</p>
41	<p>保全重視・利用重視の両方の立場の意見が聴けたが、河川管理が淀川の水質保全の見地からも意見がほしかった。 淀川を管理するための工事のあり方も市民に公開議論が必要。管理担当者(工事事務所)は計画立案前の市民の意見聴取を強化するべきである。 “生態系の保全には工事をゆっくり実施”することが大切。 “連続したワンドの水は互いに伏流水でつながっている”ことを十分担当者は認識すること。</p>
42	<p>若い人をもう少し呼ぶことができれば良いと思う。</p>
43	<p>河川は自然のままにしてほしい。 人間生活は自然の中で生きるのが当然 どんなにすばらしい施設をしても淀川の景観をそこなう、川の側で生活している私。四季折々の野草、川面の色飛びはねる魚、自然を友して生きて行けるようにしたい。 子供の健全育成の大切さもわかるが行政に働きかけ確保すべきだ。あえて河川敷をいじらなくてもよいのではないかと。 一度関係者の方、葦の残されたたった1つの中津辺へ見に来られては、台がないので乱筆で失礼しました</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

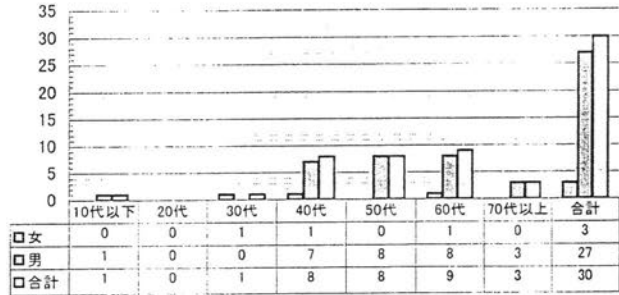
ご意見・ご感想の内容	
44	<p>私はかつて大阪駅の北側の貨物ヤードを森林公園化してほしいと要望を出しました。大阪の町に緑があまりにも少ない。セントラル公園のような公園が駅前に広がればそれは心のやすらぎにもなるしあの梅田の質を底上げにもなります。これだけ少ない緑を河川の緑でまかなうのは残念な事ですがそこまでも緑地(■野)を要求します。また、話は変わりますが防潮戸の開閉が時間がかかる話だと聞きました。それなら1人でもしかも停電でも開まる方法を考えればと思い提案します。</p> <p>扉が自重で閉まる形にすれば動力なしで閉まります。開ける時は停電が直ってからも電気でも開ければ良い分けでいざと云う時に開らない事が大変な事態を呼ぶと思います。設計者がこんな案すら持っていない事が逆にはらたださい。これならリモコンでも操作が出来ると思います。</p>
45	<p>発言者以外の意見をどう反映するか 1、2回で終わらずに何回か続けてほしい ※河川敷の利用はやはり現状の地域特性・実態を十分考えるべきである。 現に河川管理者としても、公園整備をしてきている！ 河川敷の利用としては、沿川地元の利用要望について、治水上、利水上問題がなければ、スポーツ利用も環境面での利用であり、一水系として画一的に決めることとしては反対である。</p>
46	<p>自然と人との共生 川とは本来どうあるべきか 数年後どう人と自然が共生できるのか 会議の話し一つ一つどれもたいせつである。 子供、大人1人1人すべての人がかんがえ話をする必要だ自然と人が共生していくために(子供・大人たちに環境、又は地域との共生について色々な人の話を聞くべきであり片方の話だけではいけない (子供・大人も環境について勉強すべきだ)</p>
47	<p>・もっとこう言う機会をもっともっとオープンにして増してほしい。 ・もっと住民の意見を聞いてほしい</p>

年代・性別

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	0	1	1
20代	0	0	0
30代	1	0	1
40代	1	7	8
50代	0	8	8
60代	1	8	9
70代以上	0	3	3
合計	3	27	30

参加者の年代・性別？

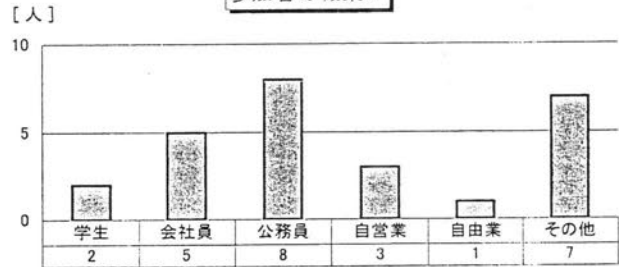


職業

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

学生	2
会社員	5
公務員	8
自営業	3
自由業	1
その他	7
無回答	4
合計	30

参加者の職業？

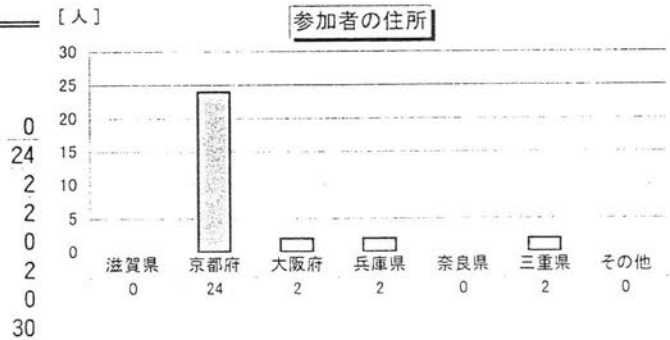


住所

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

滋賀県	0
京都府	24
大阪府	2
兵庫県	2
奈良県	0
三重県	2
その他	0
合計	30

参加者の住所

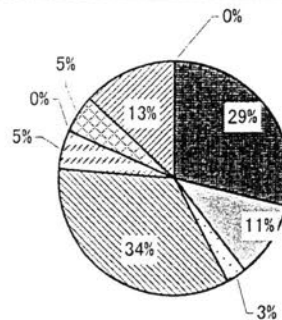


Q1.この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 30 | 回答数 38 | 回答率 127%

淀川河川事務所から案内があった	11
行政関係者から紹介された	4
知人から紹介された	1
新聞折り込みチラシ	13
新聞記事	2
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	2
流域委員で知った	5
その他	0
合計	38

この円卓会議を何で知りましたか？



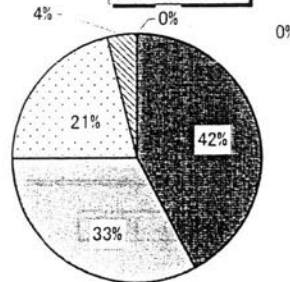
- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他

Q2.今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 30 | 回答数 52 | 回答率 173%

河川敷の保全に関心があった	22
河川敷の利用に関心があった	17
どのような会なのか関心があった	11
発言者に応募した	2
発言者の知人だから	0
その他	0
合計	52

参加の目的？



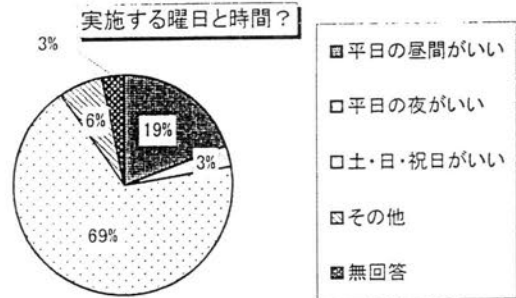
- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのか関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

Q3.円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1.実施する曜日と時間について

回収枚数 30 回答数 31 回答率 103%

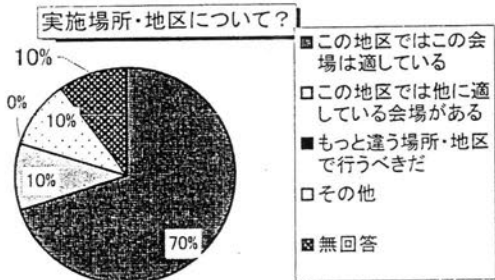
平日の昼間がいい	6
平日の夜がいい	1
土・日・祝日がいい	21
その他	2
無回答	1
合計	31



3・2.実施場所・地区について

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

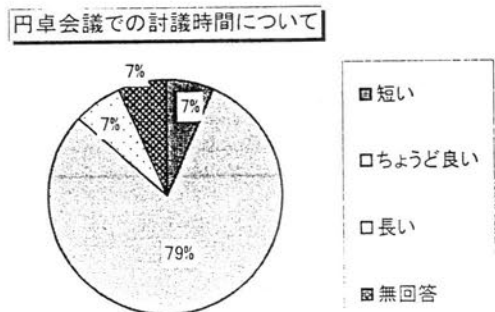
この地区ではこの会場は適している	21
この地区では他に適している会場がある	3
もっと違う場所・地区で行うべきだ	0
その他	3
無回答	3
合計	30



3・3.円卓会議での討議時間について

回収枚数 30 回答数 30 回答率 100%

短い	2
ちょうど良い	24
長い	2
無回答	2
合計	30



短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 30 回答数 1 回答率 3%

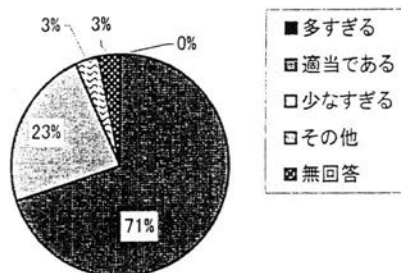
120分～150分くらい	1
合計	1

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

多すぎる	0
適当である	21
少なすぎる	7
その他	1
無回答	1
合計	30

発言者の人数について

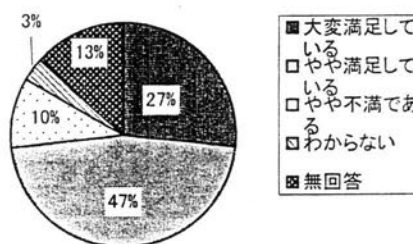


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

大変満足している	8
やや満足している	14
やや不満である	3
わからない	1
無回答	4
合計	30

ファシリテーターを置く方法について

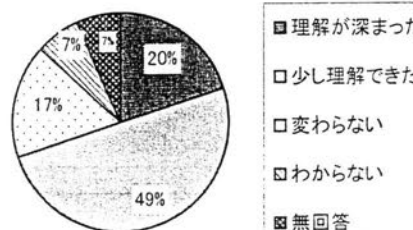


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

理解が深まった	6
少し理解できた	15
変わらない	5
わからない	2
無回答	2
合計	30

内容についての理解は深まりましたか？

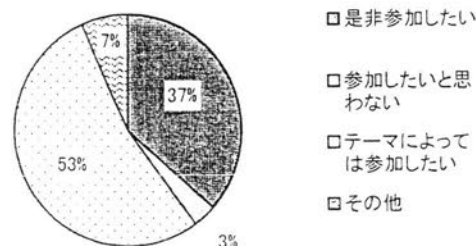


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 30 | 回答数 30 | 回答率 100%

是非参加したい	11
参加したいと思わない	1
テーマによっては参加したい	16
その他	2
合計	30

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想の内容
1	<p>先日はご苦労様でした。 円卓会議に関するアンケートを当日提出出来ませんでしたので送付いたします。 円卓会議は大変良かったと思います。今後取り上げて欲しいテーマとして「大和みどりと自然環境を考える」を提案したいと思っています。</p>
2	<p>河川敷でカヤネズミの保護、生息地の保全に取り組んでいる者として、非常に興味深い内容でした。河川敷に生息するカヤネズミにとっては人工物やグラウンドの建設、花畑、外来種の繁茂は非常に深刻な問題です。河川敷は、野生生物の貴重な生息空間ですので今後新たなグラウンドの建設等はしない方向でお願いしたいと思います。 最後になりましたが、今日の円卓会議で意見を述べさせていただく機会を与えていただき有り難うございました。傍聴者と言うことで発言の機会がないと思っておりましたのでとてもありがたかったです。</p>
3	<p>①木津川水系の中小河川(山田川、普賢寺川など)の水質と環境調査。 ②土地改良、河川改修が環境について与える影響についての徹底した調査。 ③木津川をきれいにするための対策(ダムからの放水を増やす等)を ④木津川で減少している在来種(アユ、ウナギ、テナガエビなど)の生息調査と増殖出来る環境整備を ⑤休耕田などを利用して日本の淡水魚(メダカ、アブラボテ、日本バラタナゴ、ウキゴリなど)の生息池の造成を</p>
4	<p>治水(堤防改修)の優先順位が知りたい。</p>
5	<p>・討議内容から逸脱され本題の自然と人の共生論議から河川敷の効率的運用を論議すべきでないのか。 ・現在の木津川堤防は果たして一昨年名古屋地方の集中豪雨が合った場合、各地で破堤し、災害により人命、社会資本施設の流失の被害で計り知れるものがある。環境保全か人名か親水性か子供達が河川と親しむ場所と共に堤体とか河川敷の高度利用を提議すべきである。 ・円卓会議の出席者に現在の木津川概要と用語についても理解して戴くように配慮されたい。(例)堤外・堤内の意味、堤外民地の権利問題など討議の中でずれ違いがある。</p>
6	<p>・一般席では発言者の声が聞こえにくい。 ・議論がどのような結果になるのか見えにくい。(各意見は云放し) ファシリテーターは大変です。 ・一般席からの発言は冷静なものが多いので意見を求めるべき。</p>
7	<p>河川敷利用に特価した議論を想定していたが、流域全体で考えていくべきとの視点や環境に特に自然回復に特価した意見も出ていた。 ファシリテーターは、もっと「河川敷利用」。これを保全と利用の両面からどうあるべきかの議論を出来るように導いていくべきだ。色々、意見主張されるメンバーばかりで難しいと思うが、…… ●住民ボランティア ●運動施設利用者 ●行政(管理者・地元自治体) → 保全の利用に関してそれぞれがどんな役割があるとか、どうすればよいか ※地元市町は木津川をどうしたいか提示されて議論すべきとの意見が最後にあったが、大切なことであると思う。</p>
8	<p>ファシリテーターが何もしていない。意見がバラバラで出てまとまりがない。よって円卓の人が自分だけの意見であり、議論が少ない。ある程度ファシリテーターがテーマを決めて集中的な議論が必要であった。 一般参加者が理解できるような円卓が望まれる。また、一般からの意見の方が内容が明確であったり、地域に密着していたので大変良かった。</p>
9	<p>前半では利用について設定されているが川の役割などに集中し、評価について話が続いた。本来の議題について話してほしいものだ。後半に期待している。 このような集会を数多くもって下さい。希望します。</p>
10	<p>傍聴席にも机を置いて欲しい。</p>
11	<p>発表者の人選をして欲しい。</p>
12	<p>湯川氏、佐々木氏を除けば発言者がどの程度木津川(河川敷)へ行き、実態を把握して発言されているか疑問。他の河川、外国とは条件も異なると思われる。(オーストラリアとは人口密度も異なるよ！) 河川敷利用については、国交省から問題点を提示し、それに対する意見を述べてもらう方がよいのでは？</p>
13	<p>1)マイクの不調整で聞きとりにくい。特に早口は困る。シルバーフレンドリーでない。 2)パネラーの意見が現状否定からスタートしているので、不認識の面もあり、かつこ良さを求めている。 3)茶畑は私有地であることを忘れていた様な意見があり、山地権者、茶畑地権者を無視している。</p>
14	<p>・初回だから仕方がないかも知れないが、テーマが発散しがち。「今日は河川敷の話題である」ということを会場全体で認識すべき。 ・議論すべきは「グラウンドを縮小する」という計画のあり方について、賛成・反対あるいは違う方向性の提案を行うことではないか？ ・ファシリテーターから木津川の河川敷の現状等を見せて「木津川をどうするのか」を議論するという方法もあるのではないか？ ・間違った認識のもとに議論が進んでいくことをどのように防止するのか。河川事務所の人が長々と説明しては今までと同じなので、ファシリテーターにメモを差し出し、ファシリテーターから正しい情報を話してもらうなどの対応もありでは。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

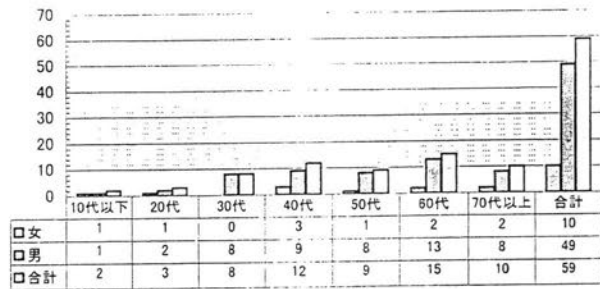
ご意見・ご感想の内容	
15	一般的な発言と専門的な発言があってあまり理解できなかった。基本は川の保全・保安と住民とのかかわりだと思う。きょうの会議では河川敷のグランドは廃止すべきだという意見があったが、私はそう思わない。かかわりを大切にしたい。円卓会議の発言者よりも傍聴者からの発言の方が有意義であった。もし次回も開催予定があるならば、傍聴者の発言を中心にして欲しい。
16	本日の会議の内容は河川敷の利用についての討議であると思われるが、発言の内容が環境問題に主点であって、今回の会議の主旨がずれてきている様に思われる。本題にそった会議になるよう運営が望まれる。
17	発言者、聴く人のカベを無くす方法はないのかなと思いました。事務所専門家の短いレク（その時の質問意見に答えるため）も如何。（例）川床の樹も悪いばかりでない等。日本の場合、自然と歴史の深い関わりが河川にはあると聞いています。外国の例を安易に引くべきでないと思います。とは言えこの様な集いは大いに結構です。
18	意見要旨発表の時間を10分（10～15分）程度は欲しい。5分では意見要旨がわからない。
19	このような形で方向性が練られていく課程は大変意義あることだと思える。ただ、どう活かすかは難しい問題だと思う。主催者の今後の取り組みに期待する。
20	会場から意見を拾うのは、文で意見を寄せられなくても口でなら話せる人の話も聞けるのでよかったと思う。インターネット・ファックスと意見募集の努力は評価するが、話しやすい雰囲気のをできるだけ主催していくことが大切だと思います。木津川は、今から市街化が進もうとしていて、河川敷の公園利用に対する危機感が乏しいように思います。「そんな考え方は猪名川みたいに外来種に占有されて、花粉症など環境悪化に苦しむことになるよ」と警告したかった。公園やグランドは、都市計画の中で堤内地にまだ発展途上の内に確保できる方がいい。木津川はまだ間に合う。今のうちに方針転換し、いい町づくりをしてほしい。猪名川みたいになってからでは大変ですよと言いたい。

年代・性別

回収枚数 60 回答数 59 回答率 98%

	女	男	合計
10代以下	1	1	2
20代	1	2	3
30代	0	8	8
40代	3	9	12
50代	1	8	9
60代	2	13	15
70代以上	2	8	10
合計	10	49	59

参加者の年代・性別？

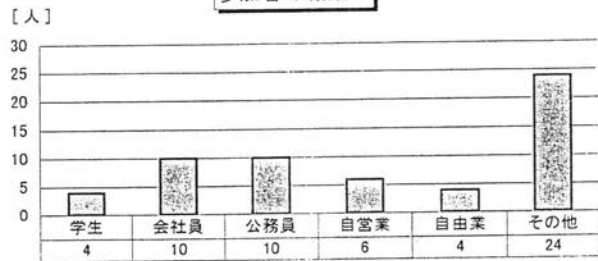


職業

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

学生	4
会社員	10
公務員	10
自営業	6
自由業	4
その他	24
無回答	2
合計	60

参加者の職業？

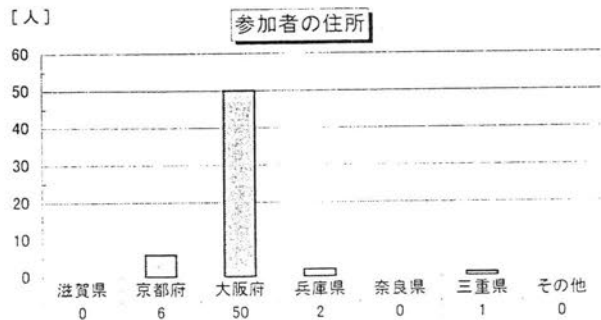


住所

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

滋賀県	0
京都府	6
大阪府	50
兵庫県	2
奈良県	0
三重県	1
その他	0
無回答	1
合計	60

参加者の住所

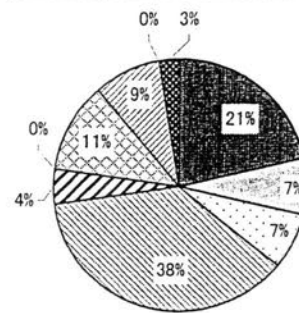


Q1. この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 60 | 回答数 70 | 回答率 117%

淀川河川事務所から案内があった	15
行政関係者から紹介された	5
知人から紹介された	5
新聞折り込みチラシ	26
新聞記事	3
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	8
流域委員で知った	6
その他	0
無回答	2
合計	70

この円卓会議を何で知りましたか？



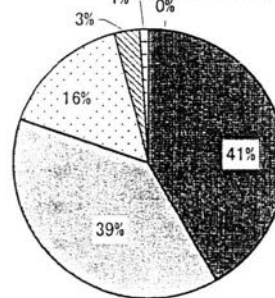
- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他
- 無回答

Q2. 今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 60 | 回答数 96 | 回答率 160%

河川敷の保全に関心があった	40
河川敷の利用に関心があった	37
どのような会なのかに関心があった	15
発言者に応募した	3
発言者の知人だから	1
その他	0
合計	96

参加の目的？



- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのかに関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

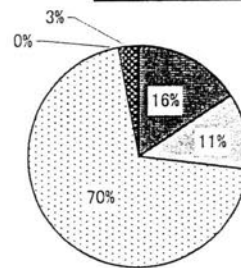
Q3.円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1.実施する曜日と時間について

回収枚数 60 | 回答数 63 | 回答率 105%

平日の昼間がいい	10
平日の夜がいい	7
土・日・祝日がいい	44
その他	0
無回答	2
合計	63

実施する曜日と時間？



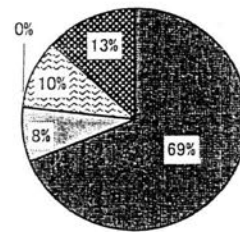
- 平日の昼間がいい
- 平日の夜がいい
- 土・日・祝日がいい
- その他
- 無回答

3・2.実施場所・地区について

回収枚数 60 | 回答数 61 | 回答率 102%

この地区ではこの会場は適している	42
この地区では他に適している会場がある	5
もっと違う場所・地区で行うべきだ	0
その他	6
無回答	8
合計	61

実施場所・地区について？



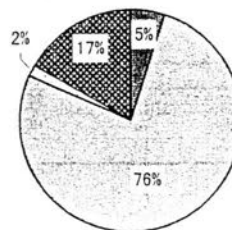
- この地区ではこの会場は適している
- この地区では他に適している会場がある
- もっと違う場所・地区で行うべきだ
- その他
- 無回答

3・3.円卓会議での討議時間について

回収枚数 60 | 回答数 60 | 回答率 100%

短い	3
ちょうど良い	46
長い	1
無回答	10
合計	60

円卓会議での討議時間について



- 短い
- ちょうど良い
- 長い
- 無回答

短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だとお思いですか。

回収枚数 60 | 回答数 2 | 回答率 3%

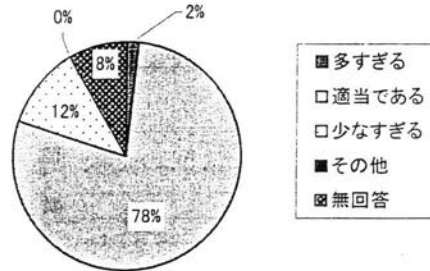
120分くらい	1
180分くらい	1
合計	2

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

多すぎる	1
適当である	47
少なすぎる	7
その他	0
無回答	5
合計	60

発言者の人数について

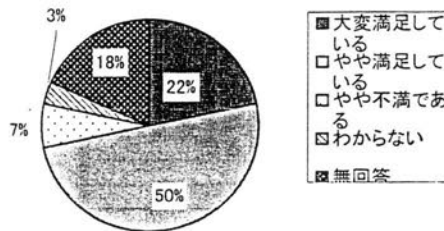


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

大変満足している	13
やや満足している	30
やや不満である	4
わからない	2
無回答	11
合計	60

ファシリテーターを置く方法について

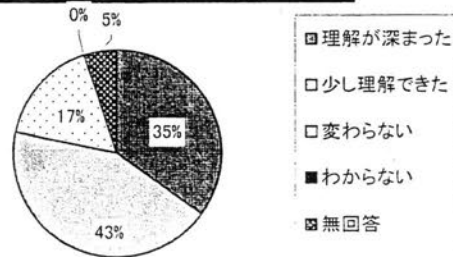


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

理解が深まった	21
少し理解できた	26
変わらない	10
わからない	0
無回答	3
合計	60

内容についての理解は深まりましたか？

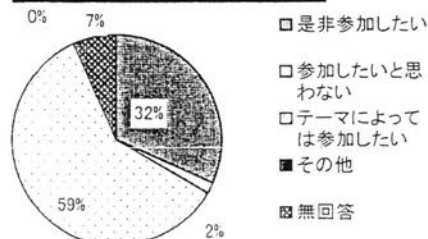


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 60 回答数 60 回答率 100%

是非参加したい	19
参加したいと思わない	1
テーマによっては参加したい	36
その他	0
無回答	4
合計	60

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
1	<p>駐車場や狭小な個連住宅に占領された狭い日本のせめてもの広い？！河川敷は、今日発言された各位の意見を充分に生かしつつ、長期展望に立つ誤りない環境整備と活用の智恵を具体化して、次代に残してやりたい。 3味1体の総合力を！！ 国・地方(行政) (バックアップ) + 学識経験者 (誤りなき整備) + 民治(ボランティア)+(自由な時間と余力のある労力を活用) 予算軽少です。</p> <p>○済み ○今後 { スポーツエリアはほぼ充足されているのでは！(若・壮年層)対■ ガーデニングエリアの適地、設定(老・少年層) 舟運(太陽光ソーラー利用)</p>
2	<p>大学で環境学を学んでおり、淀川の河川敷の利用について興味があったので参加しました。今回の円卓会議に参加して、思ったことは、発言者の方々の意見の中には、個人的な(人間中心、自分中心な)意見の方がおられ、その意見を押しつけているように感じました。発言者の中のある人が言っておられたように、グラウンドや公園など、スポーツ施設としての利用者が多いのは確かですが、使っている方々の多くは、スポーツだけを目的としており、河川にふれ合う機会はありません。一見、河川敷のスポーツ施設としての利用は、自然と人間がうまく共生しているかのようですが、人工的に作られた場であり、本来の自然ではないと思います。お金はかかると思いますが、スポーツ施設の代替場はあるはず。しかし貴重な生物が棲息する環境は替わりがありません。地球環境の保全は、全世界的な問題であり、一部の人間が楽しむだけの娯楽施設は縮小されるべきであると思います。河川敷を本来の自然とふれ合うための場であるように、真の「人間と自然の共生」ができる場であってほしいと思います。そのためには、こういった円卓会議に多くの方が参加してほしいし、参加を呼びかけてほしいと思います。</p>
3	<p>スポーツ、レジャー、四季おりおりの花など、個人の趣味、楽しみレベルの話をしている場合なのでしょうか。人間が壊した自然は、もう元には戻せない、絶滅危惧される種の保存など時間の待てない問題はないのでしょうか。専門家のお話をもっとお聞きしたいです。</p>
4	<p>・ゴルフ・グラウンド利用側の人は、「それなりに皆自然環境を楽しんでいる」と話すが、もしナイスショット・ナイスヒットの時に鳥の声が聞こえたなら、それは悲鳴です。どうか分かって欲しい。 ・グラウンドと環境の両立？根本が違うので不可能。屋上緑化とは訳が違う。 ・自然再生は放っておくだけでは、達成し得ない。もともと(古く)の河川ではない。(直線・激流・外来種)。護岸能力を持ち、淀川に適した植物を皆(住民も巻き込んで)育て、増やし、生物が戻ってくる土台づくりをしなくてはならない。 ・スポーツは必要。ただその舞台として「河川」という世界を候補に出すのはレベルが低すぎるのでは？環境後進国の得点がさらにあがってしまいますよ。 ・もう自然環境の破壊はどうしようもない時点に限りなく近づいています。人間都合の整備はもう少なくとも河川・森林においてはすぐにでも止めるべきと考えます。 ・ヨシ原は人間を疎外するものではない。子供達は遊ぶ。きっと遊びます。遊ぶ精神を持つ子供達を僕らは育てましょう。</p>
5	<p>(1)街に近い河川では環境も大切だが「活用」との共生が必要である。(現実的に活用するという考え) (2)現状(全体)をもっと説明できないか？(公平な立場で)堤防強化の必要性、その具体的な場所(危険度、堤防強化の用地確保とは？) (3)生態系を守る為にすべてのゴルフ場やグラウンドをつぶす必要があるのか？ (4)ゴルフ場が改めるべき事は？(グラウンドもその他も・・・) (5)生態系の現状は？</p>
6	<p>・考える資料として河川敷の目的別利用割合がほしい。 ・グラウンド、ゴルフ等の利用と環境保全については決定的に異なる立場にある。どのように折衝をつけるのか？私は現状は過剰利用と考える。 ・鵜殿では導水路を作ってヨシの保全と繁殖をはかっている。部分的には美観と云って良い。これを拡大し、同時に安心して歩けるよう多少の整備をしてもらいたい。 ・導水路の維持拡大に税金を使うことは有益と考える。 ・流域委員会は諮問機関？どの程度役所に影響力あるのか。しかし昔よりは良くなったのでしよう。</p>
7	<p>こういう会議はあってよかったと思う。</p>
8	<p>この会が開催されたことに大きな意義と良くなるかも知れない未来を感じます。 ・行政(淀川河川敷事務所)の謙虚な姿勢を評価したいと思います。休日なのに出勤された方々ご苦労様でした。 この河の現状を理解するために1日ツアーを計画して下さいませんか。 今日を機会に自然のために何が出来るか、御指導下さい。 眠くならなかったの久し振り。お礼に替えさせていただきます。</p>
9	<p>人口の推移(野球、ゴルファー)等を考へて長期的計画を立てるべきである。</p>
10	<p>部外者の一方的な話、挑戦的な論戦にはき然(退場)と対応すべき問題である</p>
11	<p>発言のなかに、流域委員会の提言を曲解しているものがあった。提言に対する誤解は委員発言を求めて、修正してもいいのではないか。 運動利用か自然かという対立の議論で終止したのは残念です。</p>
12	<p>発言者の方たちは、決められた時間内に要約して発言してほしかった。ファシリテーターの先生が大変困っていました。</p>
13	<p>会議の進め方を円滑に公平にして下さい。 ヤジが気になった。退出させてはどうか？</p>
14	<p>役所の人の意見は重要だと思いました。このようなまちづくりの会議においてその自治体の職員を交じえる事が必要だと思いました。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想	
15	私は利用側の意見をもっておりましたが本日参加しまして保全・利用のトレードオフへの理解が深まり、かたよらずに、バランスのよい、方向性を指す事が大切と感じました。
16	・利用とはグラウンドやゴルフ場づくりだけではない。遊びの質を考えるべきだ。高槻の鶴殿を活用した遊び、自然への関心を生徒たちにもたせる遊び方などあるはず。 ・川を「文化」として考えてみるべきだ。「心」の問題を考えてみるべきだ。「保全」と「利用」だけではない。 谷崎潤一郎の「芦刈り」や鶴殿の歴史を考えてみよう。 ・議論が賛成反対のヒステリックな話にならない様に ・試案をもとに議論してみるのも一案 ・行政の方、ゴルフ場の方は、個人として参加されているのか、行政、業者の立場で参加しているのか？
17	スポーツ施設をのこしながら(ゴルフ場はいらない)淀川の自然を回復させる手段、アイデアがあると思う。 コンクリートで固めてしまうから、生物が住めなくなる訳で、石をつみ重ねて堤防をつくるなど、知恵があるはず。 ・石に水草が付き、魚が卵を生む環境をつくる。 ・自然に水が浄化するシステムができる 水際まで草木が生える環境づくりが必要である。
18	(テーマ)共生・飲料水について 共存できないか？自然もたいせつ。一定の役割をはたしているグラウンド・ゴルフ場もたいせつ。 思うことはすべての人・生物とうに優しい環境づくりをするべきだ。 ただ思うに両方にいえることは、水と言うことだ。 ・数年先まで淀川の水飲めるのか？そのためにどうするかがだいじだと思う。あと子人・大人の環境教育がだいじ環境と言うむずかしいものでなく、今あるワンド・河川をこれ以上つぶさないようによごさなくするために川にゴミをすてないようするなど今できることから考えることから始める河川敷の話は(バランス)ある話をし共存した地域環境づくりをしていただきたい
19	一般席からの円卓会議中の発言者に庶務はもっと注意すべきだし、注意を聞かない場合は退場させるべきである。一度しか注意していない。これはおかしい。この人は、最後まで議論のじゃまをしている。私だけでなく他の人でも良く思っていない人はいたと思います。 庶務に不満が残った。休憩時になぜすぐ窓をしめにごくごかなかったのか。寒い人もいたと思うが、横の住宅地からの子供の声、ブラインドがゆれる音議論のさまたげになっていたと思うが・・・。 うるさくてすみません。
20	行政の立場の者が、行政という看板をかかぎの意見発表や行政の立場の議論を展開されたことは問題である。個人としての参加ということであるなら、それに徹するべきであると思う。 今後の円卓会議や市民会議の運営にあつては、研究が必要であろう。
21	淀川の河川敷は自然にもどすべきである。 ・今河川敷をスポーツ設備に使っているのは人間の都合で使っているだけで、他の生物の事を考えてない。 ・河川敷のグラウンドをなくし、他に求めると高くつくと言われるが河川に接していない市町村はどうされているのか他の方法が取られている淀川、河川敷の自然環境が復元されれば川の生物、植物、昆虫、野鳥等の宝庫となると思う。大阪府域では淀川へ行けば何んでも見るのできる所にして欲しい。
22	1、ゴルフ場の利用について 河川敷のゴルフ場は、公共性から見ると、お金を取り利用はおかしいと思う。公共性を言うのなら金銭は不要とするべきだ！今後も継続するとしたら、ゴルフ代の1部を河川敷の自然保全にフィードバック出来る様にしたらと思う。10～20%を自然環境費とし、環境整備に利用すれば、プレーしている人も自然環境保全に役立つ事になると思う。 2、意見を聞いていると、総論賛成、格論反対の構図である。 グラウンド希望者に対し、代替グラウンドの確保を行政が積極的にしてほしい。代替グラウンドを与えて、減らして行く様にしてほしい。今反対している人も代替グラウンドが与えられれば反対しないと思う。 3、河川敷の1部を生物のために開放する対策が必要 堤防側は人が利用、川側は生物が利用と言うすみ分けが必要であり、その様なシステム作りを早急に検討してほしい。
23	3. 5のファシリテーターをおく方式については、大変満足しているにチェックを入れませんでした。それはファシリテーターというのが何なのか分からなかったからです。 ですが、円卓会議の傍聴というので参加して、最後までお聞きしていますと、方向づけや結論は決まっているわけではなくともある程度理念を持ち、かつ又国交省(国土交通省)のつまり行政の機関とかかわっての観点をお持ちなので良かったと思います。 正しい方向付けが、理解できた事が参考になりました。
24	ヤジる人は撤去させるべき 極論や原則論だけでは、合意することはない。ファシリテーターの役割が十分に機能されていない。
25	淀川舟運について
26	・自然環境の保全へという方針だが、ここで言う自然環境とはどういうものなのか？人も入らない自然なのか？人が入って行ける中途半端な自然なのだろうか？ ・一方の意見のみを押し通す議論は民主的ではない。どのように共生して行くかを議論すべきではないでしょうか？ ・100%自然に戻したいのなら、川から人を排除することか？ ・グラウンドがあることが良いことは思わないが、互いの歩み寄りが必要。○か×かの議論をしていても結論なんて出ない。 ・大変難しい議論で、私も何が良いのか判断出来ないが、一方のみの意見を押し通す結論はしてほしくないと思います。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

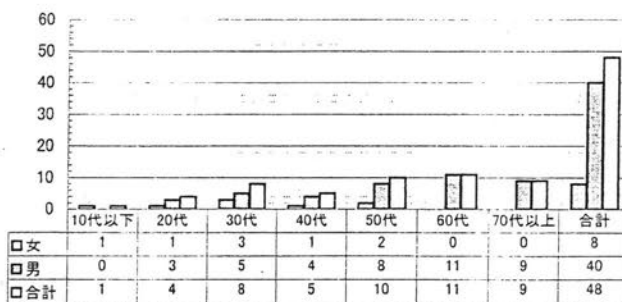
	ご意見・ご感想
27	<p>開会前のテレビの放映について、若干疑問があります。内容がかなり一方的な河川敷利用派の宣伝であり会議の中立性を損うものです。総じて流域委に対抗する河川局側の批判的意識すら感じられます。フラットな土地でのゴルフ場はこのスポーツとしても無意味です。</p> <p>日本の風土にそぐわないゴルフ場の自然破壊は目にあまるものがあります。里山をくずし、農薬をふりまき、テッポケなステータスシンボルを誇る、嫌なスポーツです。それが河川を破壊しているのです。</p> <p>河川の特性に則したレジャーはよいのですが、そこが空き地だから利用しようという立場からの河川の悪用には絶対反対です。</p> <p>・スーパー堤防問題について円卓会議を望みます！！</p>
28	<p>河敷での自然化、河敷の細かな利用状況、河敷での犯罪状況を分析提供した上で討議すべきである。私も少年野球に携わっています。年間淀川水系で数万人？の子供達が健全な育成を受けて育てられます。現在の利用状況等を考えるとどうして代替地の確保が出来るであろうか。河敷のグリーン作戦は数多くのボランティアの方々に助けてもらっています。</p> <p>自然も大切ですが自然に戻すとゴミなどは河川管理事業だけで出来るのだろうか？河敷(駐車場含む)には車までずてられている。</p> <p>現在社会においては青少年だけではなく大人も含めた犯罪の場となってしまう事が考えられる。</p> <p>現在社会そしてこれからの社会構勢を分析予測して討議していくべきである。</p> <p>P.S.現在自然に近い所では野犬がたくさん住んで被害を被っています。(賛否両論だけではなく討議すべきである)</p>
29	<p>いろいろな意見を知ることができて良い</p>
30	<p>本会の議論をどう生かすか不明だが、今後に活かしてほしい。</p> <p>本日を含め円卓会議の議論を聞いて、自然環境を改善・拡大再生しつつ、グラウンドも残していく方策があるような気がする。</p>
31	<p>色々の立場の違いから発言も異なることも仕方がない。野球場は減少せずにそのまま維持してほしい。駐車場もつくってほしい。ゴルフ場は500万人の中で何人利用しているのか。これはつぶすべきである。子供は少ないが体力づくりや交流をする為には必要。ただ大きく金をかけずに環境第1を考えた開発が必要、枚方大橋以南をもっと自然的にする様望む。</p> <p>牧野以北は散歩する道とか、自然散策道を八幡までつくってほしい。</p> <p>堤防は2階館、3階館の鉄筋建りの道路にしては、これは河川敷と少し違う。</p> <p>これは取り上げてほしいテーマ</p>
32	<p>・せっかくの円卓会議、今回の不規則発言は品位を欠くものです。厳しく注意、出入禁止にして下さい。</p> <p>・傍聴2回目です。合意形成の為。整備局の皆様の御努力に敬意を表します。</p> <p>・枚方のゾーニングは私し以前から考えています。南港の野鳥園は好例ですね。</p> <p>・「国の席は別だから」良く言われる縦割ですがもうそろそろ横断的な方法を開発する時ですね。</p>
33	<p>1、淀川河川敷の自然地区を拡大するための法的措置(例えば淀川自然再生促進法等により淀川沿川の堤内地での都市公園整備の国庫 ■ 河川敷ゴルフ場廃止に伴う生活再建措置等を定める。)を議題にすべきである。</p> <p>2、河川整備計画の保全目標が明確にされず、保全生態学、ビオトープ論等から淀川河川敷の生物の多様性を保全・再生する具体的な施策がないので、今後、議論すべきではないか。</p>
34	<p>傍聴席にもテーブルを設置出来ないか(メモをするのに不自由であった)</p> <p>傍聴席から許可のない発言に対し断固たる制裁を望む</p>
35	<p>今回の河川敷問題は全国的なものなのか関東方面の都会の中玉川 荒川の河川敷の利用は人口増 淀川は京都～大阪市内での公園化もある 然し青少年の利用出来る施設としてスポーツに使用している野球場、サッカー社会人高校生の全てのスポーツ人口は日本人の将来の姿を考える時に体力気力は少年時代に育てるもので どうかスポーツ施設を残して下さい。</p>
36	<p>発言者のレベルの均一化が必要では</p> <p>高田直俊氏のご意見は立場と関係なく非常に配慮されたお話で真剣なお考えに共鳴する。</p>
37	<p>01 groundの為、そしてgolf場の為の駐車場をつくってくれとはとんでもない事である。原子爆弾、飛行機はワル者だ。自動車つかいすぎ有害無益 なくすべき</p> <p>02 golf場で日本列島腐り果てた</p> <p>03 戦前自動車のない日本では馬車等で荷物を運んでいた。飢饉災害等の為には鉄道、船そして最低限の自動車にすべきである。</p> <p>04 枚方市役所は牽強附会、余計な事に金を人間をつかうところだ。</p> <p>自治体か市民の金をつかって余計なことをする自治体の見本だ</p>
38	<p>「国営河川公園」としてのグラウンド、自治体が使用許可されたグラウンドが区別されないままに河川敷でのスポーツが話されていた。</p> <p>整理できて後問題点(スポーツについての)を絞って討議してほしい。</p> <p>河川ゴルフ場の経営者が参加していたが、経営者になるためにどんな資格が必要か、教えてほしいものです。</p>
39	<p>もっと具体的な事例に絞って議論すべきである。</p> <p><例>サイクリングロード 野球場 ビオトープ ゴルフ場 広場</p> <p>既存の施設を残しながらも、自然の回復は可能ではないか。～どうする！！</p> <p>・サイクリングロードは牧野～八幡市間を完成させるべきでないか。</p> <p>・くずはゴルフ場は1/2にして有効利用すべきである</p> <p>※本流から50m～100mのところには第2水路を作りこの間を自然帯として回復できるのでは(施設との共存)</p>

年代・性別

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

	女	男	合計
10代以下	1	0	1
20代	1	3	4
30代	3	5	8
40代	1	4	5
50代	2	8	10
60代	0	11	11
70代以上	0	9	9
合計	8	40	48

参加者の年代・性別？



職業

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

学生	6
会社員	8
公務員	8
自営業	4
自由業	2
その他	20
無回答	0
合計	48

参加者の職業？

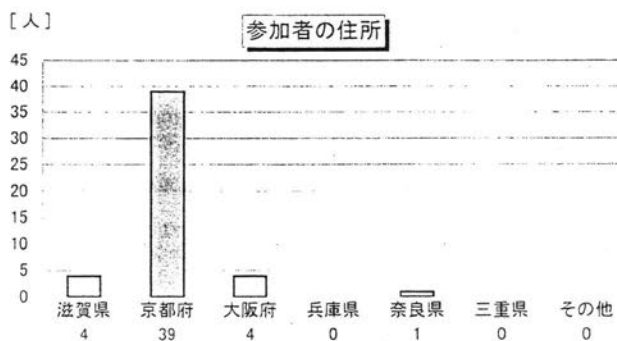


住所

回収枚数 48 回答数 48 回答率 100%

滋賀県	4
京都府	39
大阪府	4
兵庫県	0
奈良県	1
三重県	0
その他	0
無回答	0
合計	48

参加者の住所

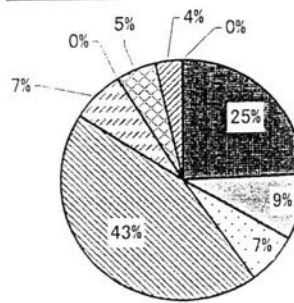


Q1.この円卓会議を何で知りましたか？（複数回答可）

回収枚数 48 | 回答数 57 | 回答率 119%

淀川河川事務所から案内があった	14
行政関係者から紹介された	5
知人から紹介された	4
新聞折り込みチラシ	25
新聞記事	4
ラジオ	0
淀川河川事務所のホームページ	3
流域委員で知った	2
その他	0
合計	57

この円卓会議を何で知りましたか？

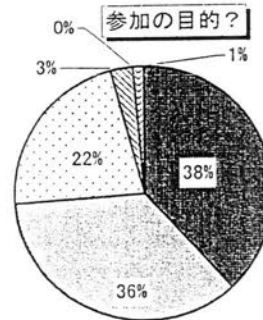


- 淀川河川事務所から案内があった
- 行政関係者から紹介された
- 知人から紹介された
- 新聞折り込みチラシ
- 新聞記事
- ラジオ
- 淀川河川事務所のホームページ
- 流域委員で知った
- その他

Q2.今回の参加目的を以下から選んでください。（複数回答可）

回収枚数 48 | 回答数 73 | 回答率 152%

河川敷の保全に関心があった	28
河川敷の利用に関心があった	26
どのような会なのかに関心があった	16
発言者に応募した	2
発言者の知人だから	0
その他	1
合計	73



- 河川敷の保全に関心があった
- 河川敷の利用に関心があった
- どのような会なのかに関心があった
- 発言者に応募した
- 発言者の知人だから
- その他

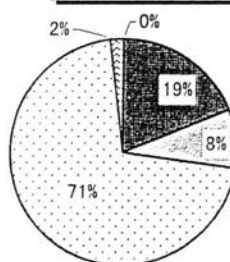
Q3.円卓会議の運営に関する意見を以下から選んでください

3・1.実施する曜日と時間について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

平日の昼間がいい	9
平日の夜がいい	4
土・日・祝日がいい	34
その他	1
無回答	0
合計	48

実施する曜日と時間？



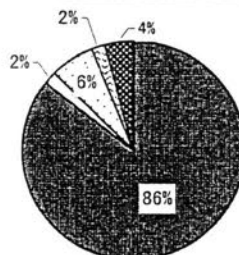
- 平日の昼間がいい
- 平日の夜がいい
- 土・日・祝日がいい
- その他
- 無回答

3・2.実施場所・地区について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

この地区ではこの会場は適している	41
この地区では他に適している会場がある	1
もっと違う場所・地区で行うべきだ	3
その他	1
無回答	2
合計	48

実施場所・地区について？



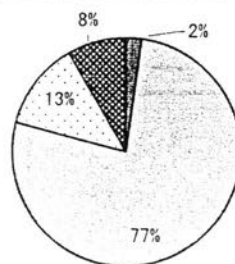
- この地区ではこの会場は適している
- この地区では他に適している会場がある
- もっと違う場所・地区で行うべきだ
- その他
- 無回答

3・3.円卓会議での討議時間について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

短い	1
ちょうど良い	37
長い	6
無回答	4
合計	48

円卓会議での討議時間について



- 短い
- ちょうど良い
- 長い
- 無回答

短い・長いと思われる方にお尋ねします。どのくらいの時間が適切だと思いですか。

回収枚数 48 | 回答数 6 | 回答率 13%

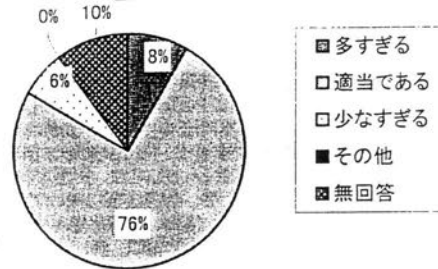
120分くらい	5
240分くらい	1
合計	6

3・4. 発言者の人数について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

多すぎる	4
適当である	36
少なすぎる	3
その他	0
無回答	5
合計	48

発言者の人数について

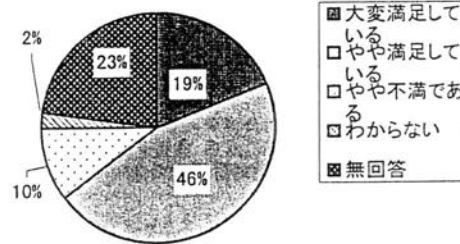


3・5. ファシリテーターをおく方法について

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

大変満足している	9
やや満足している	22
やや不満である	5
わからない	1
無回答	11
合計	48

ファシリテーターを置く方法について

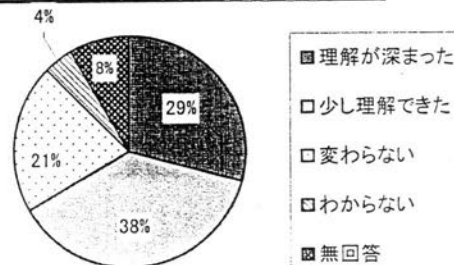


Q4. 内容についての理解は深まりましたか？

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

理解が深まった	14
少し理解できた	18
変わらない	10
わからない	2
無回答	4
合計	48

内容についての理解は深まりましたか？

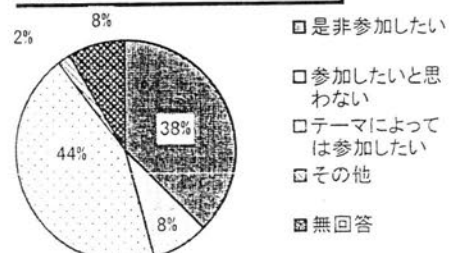


Q5. 今後このような円卓会議があった場合、参加したいと思いますか？

回収枚数 48 | 回答数 48 | 回答率 100%

是非参加したい	18
参加したいと思わない	4
テーマによっては参加したい	21
その他	1
無回答	4
合計	48

今後も参加したいと思いますか？



『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

ご意見・ご感想	
1	<p>11月16日 河川敷保全会議。京都会場『円卓会議』招待有り難うございました。盛会で、活発な意見湧出の中、議事進行もスムーズに予定時間で終了しまして成功でした。</p> <p>11月20日 京都市議会では、京都市の1級河川の水量減少が、田中英之 自民党議員から指摘されまして熱弁でしたが、京都市の返答は、『自然現象には何とも出来ない』でした。</p> <p>今後の運営資料としては、大型スライド幕の設置で、分かりやすく、鮮明に映写されており、河川の変遷。現在の問題点。改革案。等。継続映写に続いて、河川に集まる鳥、魚、虫、草の、美しい生態と、河川汚染による生物の病気等も、四季の撮影、編集、映写を望みます。</p> <p>滋賀県、大津市、琵琶湖は、湖、河川が汚染する洗剤の使用禁止令が、町に家庭に浸透して、僅かずつでも美化に復旧している。上流の努力にも応えるべく、恩恵を受けている、京都府。大阪府。河川河畔の各市町村。自然破壊の洗剤。除草剤。染料。工場排水。下流での自治体にも、汚染防止対策を要望します。コイの罹病溺死が無いように。水量減少の鴨川では、僅かの汚水でも、汚染濃度が高くて、困難な増水工事よりも、河畔汚染防止が、悠久の河川美化につながります。</p>
2	<p>淀川河川関係の担当に対し意見を述べ、それに対し回答する事を主眼にするものと思っていたのがっかりした。テーマに素なおに討論すべきで進行をもっと考えるべきだ。</p>
3	<p>自然工法、保全地の管理など新たに発生する費用の見込み。 近隣住民の意識(アンケート調査があれば、ぜひ) (セキュリティなどの観点で、意外に自然型への抵抗感はあるかもしれない)</p>
4	<p>桂川、宇治川及びテーマが植物、生物等の広範囲すぎて、色々な意見があっても発散してしまうので、もっとテーマを局所的に絞りこんで、意見を交わす方が有意義であると思われる。 たとえば、現地対話集会を検討する必要がある。</p>
5	<p>・金をかけて整備したものを自然に戻すということで又金をかけて戻すことの是非について考えさせられた。 ・せっかく整備したグラウンドをへらして河原にすることを意味がわからない。利用者がある限り使わせるべきであると思う。 ・今日の会議は何をテーマにしていたのか、ファシリテーターの会議が悪く、目的が何であったのか理解できなかった。 ファシリテーターが最後にまとめることが必要であろう。</p>
6	<p>・住民の声を聞く方法として正しいのか。意見を述べる人は日頃から対行政として活動をつづける人に多く、多くの人の声をうまく反映できるか、何かフォローアップがあってもいいかも。 ・もう少しテーマに具体性、範囲の縮小があると活発な議論になるかもしれない (高水敷について) ・その都市の問題に大きく係わると思われる。その都市のニーズが河川に影響すると思われる。治水、自然との共生を頭にいたうえて固有の議論があってもいいのではないかと ・淀川は日本を代表する歴史のある川であり、固有性が発揮できるのではないかと</p>
7	<p>地域住民の意見交換の場としては、素晴らしい会議だったと思います。ただ非常にすすめ方が難しいのでもう少し分かり易い流れにして頂きたいです。 また、このような会議の報告をHPで掲示されると思いますが、地域ごとに地図や写真と合わせて、意見とそれに対する近畿地方整備局の対応をそれぞれ見れるようにすればよいと考えます。そうすれば会議を継続、管理するにあたってよりよいデータとして蓄積されていくと思います。</p> <p>【図挿入有り】</p>
8	<p>河川敷の運動施設について 現在使用利用されている運動場施設(専用使用)を公認追認することになりはしないか 新規参加ができないのは既得権を守ることに過ぎない 全部ある施設を撤去する。できる前提で論議すべきである</p>
9	<p>盛り上がり欠けた。 出席者にいろいろな方が入る工夫をしてほしい</p>
10	<p>・河川敷農業(私有地)で後継者がなく困ったあげく、「ふれ会い農業」とは勝手すぎる ・羽東師橋下流に京都市が管理する野球場があり、少し増水すると水没する。するとブルドーザーがはいり、1000万円以上かけて整地している。その堤防は水防訓練の場所となっていて、ヘリコプターで市長が来たこともある。広域避難所でもある。全く不経済である。 ・洪水の時を知らない人の発言ばかりである。先祖伝来の地域を守る私としては堤防の強化が第一である。</p>

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
11	私自身河川敷にて畑をやっているが、最近中止の建礼が建てられた。桂川久我橋上流年老の集りでシルバークラブの畑として、これから大いにガンパローと話しあった所であった。作物はシルバー会の会員さんに配り喜ばれて居り非常に残ねんです。農薬はほとんど使用せず、虫は手で殺しています。他河に流れてくるペットボトル、カン等は拾い集めて家庭ゴミとして出しています。畑は聞く所によると戦争中からやってあり私自身20年近く、近くの百姓さんから借り受けたのがはじまりです。 会場は音のヒビキのよい所でしてほしい
12	1, それぞれの利害がある。 2, 利害のある人が集まって考える。 3, 現地を見る。 4, 現地で会議を行う。(できれば地元の人に入ってもらう) 5, 半分ずつ我まんすることが大事。 6, 次回期待。
13	川へ流れる汚物、汚水、ゴミの不法投キ どう市民が考えて行動するべきか。ゆっくり話したい。
14	もっと広く利用する側の意見を取り上げて欲しいと思う。
15	住民の意見を聞く、互いに議論をすることはよい事である。しかし、同メンバーで議論を数回重ねないと自分の意見もまとまらないし、他の人の意見も理解が難しい。「整備計画」策定にあたって、円卓会議の効果を吸収することが無理と感ぜられる。(時間的に) 淀川水系流域委員会の思いつきですか？計画の期限を延ばすのですか？
16	淀川流域の河川ごとで話し合いの場があればいいと思う。 例えば桂川流域円卓会議 木津川 " 宇治川 " 水生、河川敷、などテーマはいろいろあっていいと思う。 情報交換の場にもなる。
17	ほぼ国交省の方針と同じ方向の意見の方が多し事に物足りなさを感じました。 むしろ反対の方が多しと日ごろ感じていたので、そこら辺での活発な討論が有ると思っていたので、その点残念です。 反対意見の方々は どうして今日参加しないのだろうか？
18	本日の発言内容において、市民参加型の農業体験地域としての利用について興味をもって聞いていた。堤外の占用地ではなく民有地において管理された利用方法という視点が必要と思われた レンジャーの位置付けが議論されているか、市民の中で、四輪駆動車の乗入れ防止、不法占用不法投棄防止等の市民活動を行っている人に対し、何らかの認定をする事により、防止がかなり可能となると思われる。
19	河によって、また同じ河でも場所によって河川敷のあり方はことなるので、もう少しテーマをしぼるべきではないか。 論点がまったくかみ合わないという印象をうけた。
20	会議の目的(成果として期待されてるもの)が何なのか不明であったので、まとまりがなくなったのでは？
21	グラウンドの利用についてが主な論点ではなかったかと思っていたのですが、利用されている方の参加がないのはこの会議を行う意義が半減してしまうと思います。 会を行う時には事前に参加者を選定すべきだと思います。少年野球チームの子供達も参加されたらよかったのではないのでしょうか。 意見を言われる方は保全派・利用派・共存派などはっきり区別し、論点をしっかり定めるべきでは。話が具体的な例になりすぎかなと感じます。でも結局は個々の川・地域によって事情も異なるだろうし、話はそういう方向に行ってしまうものなのかもしれません。 このような「淀川水系」のように広域なものについて住民の方々と話しあうということは大変だなと実感しました。 もっと広い視点が必要だと思います。
22	桂川の流域住民として、また桂川で野生生物を調査している立場として、今日意見を述べる機会を与えていただき、有難うございました。 いろいろな立場の方々が、河川敷の保全・利用について話し合う場がこれまでなかったと思うので、今日のような円卓会議は非常に有意義な試みだと思います。ぜひ、今回限りのことに終わらず、今後も年1回くらいのペースで続けていっていただきたいと思います。
23	畑・グラウンド等の利用者が多く参加して意見を言って欲しかった。

『本日の「円卓会議」に関してのご意見・ご感想、今後とりあげて欲しいテーマ』

	ご意見・ご感想
24	<p>グラウンドの使用は、ほどほどがよいと思います。 一部可能なかぎり農地の活用はよいと思います。 しかし、農薬の使用は禁止すべきとよいと考えます。 河川敷には河川にしたしみやすい遊歩道をとぎれとぎれで無いような方法で、出来るかぎり宇治川から大阪方面や木津川の奈良方面にのびるような型で実現出来ればと考えます。 桂川地域のふれ合い農園はよいと思います。 使用方法と管理に課題が有ると感じます。 水質の浄化も考えてほしい。 バイクや自転車の乗入れは禁止すべきと考えます。 多くの意見を聞くことが出来参考になりました。 会場からの意見も取り上げられていただいたことはありがたいです。</p>
25	<p>討論の内容をもう少し限定した方がよかったと思います。議論が深まらなかったのが残念ですが、色々な人の意見を聞くことができました。 治水という視点からの意見も聞きたかったです。</p>
26	<p>医療問題について</p>
27	<p>なかなかまとまりがつかないが、これはこれでよいのだと思う。 いろいろな立場の意見を知ることができてよかった。 あとは、このようなPI手法を確保していきつつ、どのように政策決定していくのかが大きな課題であり、大変興味があるところだ。</p>
28	<p>自然との共存それは大変むずかしいものです。 自然なくして人間の生活も考えられないのも又、事実です。意見の中での河川の利用法はもっともっと論議する課題です。自然を守りながら、開拓するのは、人間の大きな課題。それに成功すれば、地球のあるべき姿も見えてくる気がします。</p>
29	<p>上流の治山についても</p>
30	<p>主題について内容が詳しく知らなかったの、今までは全部参加して来ましたが大体の内容が知りましたので今後、会議をしぼって参加したいと思います。 (即ち内容がしぼれないから)</p>
31	<p>もっと座席にゆとりを持たせてほしい。</p>
32	<p>宇治川、桂川、木津川でそれぞれの現状報告がほしい、とくに運動公園の設置や堤防上のサイクリングロードの利用、実態、等一定のポイントを知らせた上で話しを聞きたかった。 河川敷の利用の方向性を考える上で堤防上の利用をどうするか、一緒に考えてほしい。 会場からの発言がムダに長い時間を3分位に切るべき。</p>
33	<p>今年は国際「水フォーラム」が京都で開かれ、(途中、アメリカのイラク攻撃が開始されて「水フォーラム」が影が薄くなってしまったが)そのために国土交通省・環境庁から行事予算が付いたから、それぞれの地方の住民の声を聞くということは結構だが、応々行政が住民の声を聞くフリをするだけに終わらないように、積極的に可及的速やかに解決に努力されたい。 自然保護か。人間(利益)優先かにしぼられてきたようだが、例えば京都市内への観光客誘致の駐車場を河川敷に造り、シャトルバスで観光地までピストンする案は京都市・京都府から以前より積極的に建設省(河川管理庁)に提起されるべきであったと思うし、これからでも遅くはない。京都市等は働きかけるべきだろう。 観光都市京都の河川敷にホームレスが定住しているのは、見苦しく危険。関係庁間で至急解決すべきである。</p>
34	<p>水、川、問題の重要性はわかっているつもりです。 画面の全体が見えず、発言者の背中をみているという、座席の再考を望みます。</p>
35	<p>河川敷に施設がある場所はよく管理され維持されていると思いますが自然にまかされている場所に大型ゴミやペットボトル、ビニール等がすてられています。 これを失くす為には一人一人の、マナーの向上が求められます。マナーの向上を計る為にもう少しメディアの助力を得ることも考えるべきです。“落た常識の向上を計る” 淀川流域を区分して、問題を取り上げ議論を重ねて決論を出す。 河川敷は自然の最たる場所です。昔は自然災害さえなければ生物のイヤシの場所です。少しでもその自然に近い場所に戻すことを考え、地球の温暖化・異常気候の進行を軽減してほしいものです。</p>

1. 河川敷保全と利用に関する対話討論会

1. 2 琵琶湖河川事務所管内

1. 2. 1 対話討論会（円卓会議）について 1～3

1. 2. 2 ファシリテータとの検討会資料

河川敷ニュース1 4～15

河川敷ニュース2 16～27

対話討論会（円卓会議）について

対象テーマ

- ・ 河川敷保全と利用について（琵琶湖河川事務所）
- ・ 大戸川ダムの計画見直し案について（大戸川ダム工事事務所）
- ・ 余野川ダムについて（猪名川総合開発工事事務所）

平成16年2月26日

近畿地方整備局

河川敷保全と利用について

琵琶湖河川事務所

河川敷保全と利用についての対話討論会 報告

琵琶湖河川事務所

1. 開催状況

1.1 開催概要

河川敷保全と利用についての対話討論会を以下の状況で開催した。

当初は、1回の開催予定であったが、第1回目の討論会では活発な意見交換が行われ、さらに討論を深めるため、第2回目の討論会を開催するに至った。

項目	第1回対話討論会	第2回対話討論会
ファシリテーター	龍谷大学 理工学部 環境ソリューション工学科 竺 文彦 教授	
開催日	平成 15 年 12 月 7 日 (日)	平成 16 年 2 月 7 日 (土)
討論参加者数	7 名	5 名 (第1回のメンバーのうち2名欠席)
傍聴参加者数	43 名	52 名
会場	守山商工会議所	

1.2 討論参加者

討論参加者は、公募により募集し7名の応募があり、応募者全員に討論者として参加していただいた。

1.3 一般傍聴者

この対話討論会については、公開で行った。また、討論会の場において、傍聴者からも発言をいただく形式を採用した。

2. 対話討論会の状況

2.1 第1回対話討論会

別紙「河川敷ニュース1」参照

2.2 第2回対話討論会

現在「河川敷ニュース2」作成中

河川敷ニュース 1

第1号 発行／「河川敷対話討論会」

平成16年1月 発行

平成15年12月 7日（日）、「河川敷保全と利用についての対話討論会」が、守山商工会議所で開催されました。

現在、河川整備計画策定に向けて様々な方法で住民の皆さんの意見収集が行われています。今回、新たな試みとして、龍谷大学の竺先生をファシリテーター（進行調整役）に迎え、対話討論会という形式をとり、住民の皆さんが相互に意見交換を行う場を、国土交通省近畿地方整備局が設けました。

“河川敷保全と利用について”公募によって、いろいろな意見をお集りの方々が一堂に集まって、熱く意見交換が行われました。

熱心な意見交換は、当初1回の予定でしたが、第2回を開催することになる程の盛り上がりを見せました。



ファシリテーターの竺先生

討論会レポート

日 時	平成15年12月 7日（日） 午後1時00分～午後4時10分
場 所	守山商工会議所
進行調整役	龍谷大学 竺 文彦先生
参加討論者	市岡 均 さん 太田 利貞 さん 片淵 ふさ子 さん 志茂 文明 さん 武富 寛幸 さん 多羅尾 進 さん 西村 悟郎 さん

（五十音順）

野洲川・草津川・瀬田川の3河川の現状

（国土交通省 琵琶湖河川事務所 林占用調整課長）

野洲川・草津川・瀬田川の河川の形状は、それぞれ異なった特徴を持っています。野洲川は、堤内地（洪水氾濫から守られている住宅や農地のある側）から見ますと、大きな堤防、広い高水敷、そして常時水が流れている低水路の形状が日本の河川の代表的な形です。草津川は、堤内地と同じぐらいの高さの堤防、そして狭いながらも高水敷があって低水路があります。瀬田川は、草津川と同じ形をして

いますが堤防も高水敷もほとんどありません。

野洲川流域の概要を説明します。鈴鹿山脈から琵琶湖に注ぐ全長約65kmの川です。国土交通省で管理する区域は石部の頭首工から下流13.8kmです。下流部は昔、南流北流に分かれて流れていたのを昭和61年に一本化しました。この野洲川は高水敷が広く公園は6カ所あり、面積は約45万m²で、高水敷全面積の約25%を占めております。この公園の利用者は、年間約20万人と聞いております。野洲川を代表する公園は、栗東にある公式陸上競技場を備えた野洲川運動公園、対岸の野洲町の野洲川河川公園。そのほかにグラウンドゴルフ場を備えた公園等があります。

続いて草津川は、田上山地から琵琶湖の帰帆島に注いでいます。国土交通省が管理する区間は、草津川と金勝川の合流点から下流5.58kmです。この河川はできたばかりで、余り利用されておられません。旧の草津川は桜並木で有名だったものですから、この新河川でも堤防本体に支障のないよう堤防裏側に盛土にして桜を植樹しています。

続きまして瀬田川です。国土交通省が管理するのは、JR琵琶湖線の鉄橋上流約300mから下流を管理しています。今日の討論は琵琶湖から天ヶ瀬ダム湖までの約7～8kmを御願います。この瀬田川は明治40年ごろから大体今のよう形状になったと聞いています。瀬田川では、朝日レガッタ等の水面利用が中心です。高水敷の利用は、散策路を中心に行われています。

国土交通省の考えが変わった

(ファシリテーター 竺 先生)

“河川敷の保全と利用についての討論会”について、7人の討論参加者にいろいろな意見を出していただきたいと思えます。この討論会にいたる経緯は、国土交通省の考え方が時代と共に変化したことにあります。以前は川については、国土交通省で考えてきましたが、最近是一般の方の意見を聞きながら進めることになってきました。

水が汚染されると生命が危ない

(討論参加者 片瀨 ふさ子 さん)

甲賀町在住の“エコライフイン甲賀”に属している片瀨ふさ子です。“エコライフイン甲賀”は、『次世代に命と健康を大切に守っていくためには何が必要か』ということ考えた環境を考える団体です。水について考えた場合、水道水や排水処理過程の、塩素消毒が問題であると思いません。塩素化合物は、トリハロメタンや環境ホルモンなどとして排出されます。それがまた、水道水源に入り、また水道水として塩素消毒される。これは、人類や生物の命に影響を及ぼし、命の誕生さえ無くしてしまう恐れがあるのではないかと考えています。

ダムについても、水をよどませ、汚していくことで、生態系を乱し、生物による浄化機能が失われ、そのことがより一層、水を汚していくことになるのではないかと考えています。



片瀨 さん

現在、ゲートボール利用などを行っている高水敷を切り下げダム機能のかわりをさせ生態系の循環機能を備えた河川敷に変えることで生命にとって有効なものになると考えています。病院でも命の誕生の異常さが、近年増えているようです。川の水は、人の命の源泉としてきれいな環境を取り戻す必要があります。ゲートボール等に使いたいという点は理解できますが、芝生が張られ除草に薬剤がまかれ

ている場合、水を汚染することになります。この点は、川の水にとって問題であると考えています。

私自身自然環境を大切にしたいので、河川敷での遊びを優先することによって、次世代の命の誕生を終わらせるのであれば問題だと思っています。

川が拠点のまちづくり、地域づくりを

(討論参加者 志茂 文明 さん)

甲西町から来た志茂です。町の総合計画策定に住民として参加した経験があり、また、2つの川のグループに所属しています。町の都市計画、まちづくり委員をしています。河川が“まちづくり”や“地域づくり”の拠点であるという話がいつも中心になり、具体的にいろいろな提案がなされています。甲西町は野洲川を挟んでいろいろな地区が集まって1つの町が形成されています。その中心に野洲川があり今日的な問題として野洲川の河川敷利用というのは非常に具体性を帯びてきていると思います。



志茂 さん

川への関心がなくなっているのは危険

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

守山市のグラウンドゴルフ協会の理事、武富寛幸です。野洲川の放水路が開通されてから人々が、川に無関心になってきていることを危惧して、野洲川に人の心を取り戻そうと考えています。この豊穡の、野洲川平野は暴れ川の野洲川と人間の格闘によってつくられました。人間と川との共同作業によって、この地の文化・歴史が作られてきたため川を外してこの地を語れないと考えています。さらに、河川敷利用によるグラウンドゴルフ場は、人々の輪を作り、人々に生きがいを与えています。これは、野洲川のエネルギーの恩恵です。自然の中に身を置ける河川敷利用は、人々の心も体も健康な状態をつくります。現在、多くの身障者やお年寄り、ご夫婦が河川敷施設を利用し、心身ともに健康な生活を送っています。このことは、人間生活にとって重要なことであると考えています。

これら施設の、管理・運営一切を協会で行っています。現在、毎月1日は役員がグラウンドゴルフ場に面する堤防の下から2mの草刈りも全部やり、2日目は全会員が除草作業を行っています。除草剤は使っていません。さらに、役員は毎日コートの維持管理に努めています。

グラウンドを、自分たちのものという感覚で仕組みを作り、川を大切に使う心を育てています。川は、地域住民の憩いや安らぎの場であり、高齢化社会の到来に向けて皆さんが心から触れ合える場です。

生涯スポーツ・レクリエーションを通じて健康増進の場であり、自然環境に触れ合う場です。そばに川が流れている、水がある、この事が心をなごませてくれます。過度に川を汚さない、今のようなつき合い方でもっと生活空間として利用することがよいと思っています。



武富 さん

河川敷を利用している施設を、いま堤防の外の地に求めるとしたら、守山では水田をつぶすことになり、これまた環境破壊につながり、経済的にも無理でしょう。人間を川から切り離すことなく、その歴史と文化と生態系を守りながら、人と自然の共生をどうするかということを中心に考えていかなければいけないと思います。自然環境の保全と環境整備、親水空間整備と周りの文化の復活、これらへの実現を大切にしたいと考えています。

河川敷における自然と人の共存が大事

(討論参加者 多羅尾 進 さん)

栗東町に昭和17年から移り住んでいます。現在私は、栗東市の陸上競技連盟の長、体育協会の副を預かっています。幼い頃は、兵隊ごっこや野球等出庭地先の野洲川沿いで遊びました。

当時、食料難の時代は、野洲川の砂地を使って薩摩芋やジャガイモを植えることをお百姓さんに教わり、畑として利用しました。又住いた30年余りの間に洪水にも遭いました。上流の方で決壊すると床上浸水となった民家もあ

ります。そういうことに見舞われながら自然の恐ろしさを知り、一方では、川のいろいろな恵みを受けながら人々は暮らしてきました。その野洲川で、自然を愛し、大切に、感謝しながら生きいきとスポーツを楽しみ、恩恵に浴することは、大変有意義であります。

また、スポーツ公園、施設を、即、自然破壊と断じてしまうことは軽々に過ぎると思います。環境保全に配慮した施設は十分可能です。例えば、栗東市の場合でも、芝管理としての除草は、全て人の手により行われ、一切薬剤は使用していません。次世代を生きる子ども達のためにも、しっかりと残さねばなりません。併せて、全ての人々の心も大事です。

この野洲川河川敷が与えてくれる恩恵は数知れず、人とどう共存して生きていくかを教えてください。

地元の人々の協力で譲り受けた、ここ栗東市出庭地先には、陸上競技場やテニスコート、グラウンドゴルフ、多目的広場等の施設があり、市内は勿論、周辺市町や近隣府県からも沢山利用され、笑顔で感謝の言葉を残して帰ってきます。このように多くの人の心を育む現実があります。

それ故、保全のためにと、簡単に片付けられないと思います。地形・スポーツ活用の両面からみて何等課題はありません。このように考えるとき、河川敷の保全と利用は、調和を図りながら生かされるべきではないかと思います。

人は、自然と調和し、共存しながらどのように生きていくのか、ここを考えることが、大事だと思います。



多羅尾 さん

美しい自然と利用可能な河川敷が自慢

(討論参加者 太田 利貞 さん)

栗東市の出庭に56年住んでいます。私の家は、河川敷まで約500mの所にあります。私の幼いころ、風水害による洪水にも遭いました。家の前まで浸水してきたことを覚えています。その浸水から守るためにこのあたりでは、周辺の田んぼより宅地を少し高くしています。

栗東市の野洲川運動公園は、当時の山林をスポーツゾーンとする目的で用地買収しました。

川が地域を取り巻いて、生活の場を形成し、飲料水、農業用水と利用され、集落形成をしてきた地域です。

現在、河川敷は、人々が生き生きとしてスポーツや散策に利用しています。この環境の元で暮らしていることは、自分たちの誇りです。この地域には、背景に近江富士と呼ばれる三上山があり、野洲川があり、スポーツゾーンがある。この景観は、人々の心の潤いの場となります。

地域で利用している人々は、その愛着ゆえに、日々の管理に余念がありません。そんな気持ちで管理作業をしています。

人々の手によって管理されていることは、河川敷がごみ捨て場にならない有効な手段であると考えています。

「栗東市の水はおいしい水」という評判です。その水源は、野洲川の伏流水であると聞いています。これも、野洲川運動公園と共に私の自慢です。



太田 さん

野洲川の運動公園や河川敷公園は、地域の人々の誇りであると言う点を考慮すると公園を縮小する、また新たに作らさないということは反対です。

「川ガキ」が育つ環境作りを目指す

(討論参加者 市岡 均 さん)

甲西町からきました市岡です。「野洲川に親しむ会」に属しています。今まで私が活動してきたこと、これから活動していく事の中で自然との協調ということを様々な局面で感じています。その点を踏まえながら、生の声を話したいと思います。活動場所としては、杣川の合流点から石部の頭首工までを活動場所としています。設立は、今年の5月です。活動方針は、4つあります。「野洲川ちょっと発見ウォーク」自分たちの足で野洲川の現状把握をしようという活動です。目で見て、においをかいで、要するに五感の感覚を重要視したウォーキングです。

2番目は、野洲川の河川敷を利用したレクリエーションです。これは会員の親睦も兼ね、地域の皆さんも参加しなが

ら行っています。

3番目は、歴史部会として私たちの先輩の知識や知恵を借りながら野洲川の歴史を研究し、形にしています。



市岡 さん

4番目は、活動を多くの人々に、知ってもらう為に手づくりの機関誌を発行しています。この活動を通して気づいた点は、河川敷の一部がごみ捨て場になっていること。川の自然を残した水遊び場があればもっと親しみやすい野洲川になるということ。野洲川公園から川に近づける工夫が必要であること。子供の目の輝きが失われつつあるというように思います。その輝きを取り戻すために、地域住民の方々含めて、私たちが目指すものとして「川ガキ」の育つ場所づくり、かつて「川ガキ」だった大人たちが出会う場所として(環境等様々な事柄を含む)川を位置付けて行きたいと考えています。

柔らかな落ち葉と黒砂糖の匂いのする山の環境

(討論参加者 西村 悟郎 さん)

大津市の一番北部にある伊香立途中町からきました。

山における雑木林の中の足元がふわふわする感触。黒砂糖のようなにおいをご存知ですか。川の水は、本来この環境を通して川に流れてきています。そのような河川は1万年以前とも云われています。長い年月かけて、自然が作ってきたものを人間の利益や、勝手な言い分だけで河川敷を考えてはいけなと思います。人間にはよくても、微生物や動物たちへの影響を考えると必要があると思います。また、これらの微生物や動物たちの恩恵を得て人間が今日まで生きてこられたと考えています。河川や河川敷は、自然環境に応じる必要があり、人間の意見だけで決めてはいけなと思います。

現在、コイヘルペスが流行しています。これは、当然のことだと考えています。鮭が水のおいで帰ってくる習性を持っているのと同様に、魚も水のおいをかぎ分けその場所に住みます。人間が海外に旅行して、水が変わっただけで下痢をする人が多いのと同じように、魚も水が変われば、病気になるのは当然のことです。私は、山奥に住んで

います。昭和40年頃、植林の奨励があり、山の頂上から谷底まで全部切り開いて植林せいということに従事してきた1人です。その環境の変化は、山に落ち葉のない山に作ってしまったのです。落ち葉のないところを歩いてみてください。あの黒砂糖のようなおいがなく、微生物もない。様々な生物の恩恵を得て豊かだったものの環境の水が山から流れていない川には、魚の種類が変わり、今まで生きてきた魚たちが減ってきています。これらのことを考えると、私は、河川敷は川にふさわしい使い方をするべきであると考えています。



西村 さん

人々が自然との付き合い方を学んだ場所

(傍聴者 石田 英雄 さん)

守山市の川田町に住んでいます。

子供の頃から野洲川と共に育ってきました。私は、野洲川が好きです。子供の頃の記憶に、郡の運動会や地域の相撲大会が広瀬の河原で開催されると大人たちから聞いています。この辺は、かなり細かい砂で、漬け物の重しになる大きな石を持つ甲西や石部とは違う環境を作っています。

水の経験から、野洲川の怖さを十分に知っています。野洲川が増水すると、ゴマ等の被害を少なくする為青年団やみんなが収穫を手伝ったものです。牛は上手く泳ぐので、住所と名前を木片に書いて首にぶら下げ、万一の時には牛小屋から放すよう聞いておりました。乳牛には病気が発生することがあるので1km~2km先のところまで連れてゆきます。

現在は、野洲川の改修によって、安心して生活しています。これは、暫定だと聞いています。暫定なので恐怖感はないのですが、とにかく言えることは、昔の苦労は、したくないということです。現在、環境保全ということで、ヨシや柳の木が放水路に多く見られます。環境にはとても有効であると聞いています。しかし、その葦や、ヨシ柳の影響で野洲川の水は流れにくくなっています。安全確保が環境保全かを十分議論することが必要であると考えます。地域住民にとっての野洲川は、昔から人々がお互いの触れ

合いを深める場所として存在していました。地域の運動会、相撲大会、プール代わりに野洲川で泳ぐ。親や、祖父、先輩から、「おい、ここは泳いだらあかんところや、あそこは水を巻き込んでいるから、水の表面の流れを見て覚えろ」と言われ、自然の川の怖さというものを知りました。また非常に危険なことをしていると、隣のおじさんでもだれでも怒られました。野洲川にはそういう人々がふれあったよい歴史があります。

私は、人と野洲川との触れ合いは優先したいと考えています。また、その地域や地域を流れる川の特徴にあわせながら、河川や河川敷への対応は考えていくべきであると思います。私は現在、淡海森林クラブに属しています。私が山に興味を持ったのは、北海道で川に魚が居なくなったことに対して、上流部の山奥に雑木林を作ったら、魚が帰ってきた新聞記事を読んだことに始まります。守山では、豊穰の郷赤野井湾流域協議会を10年ほど前に立ち上げて活動を行っています。河川の水の流れの根源は、山にあると考えています。

(ファシリテーター 竺先生)

発言者の意見には様々な考え方の違いが見られました。その意見を聞かれた上で意見を討論したいと思います。その後、傍聴者の方もいろいろ意見を言いたいという方がいらっしやと思いますので、傍聴者の方からも話を聞きたいと考えています。今まで出た意見に、何か意見がありましたら発言してください。

「質」の見極めが大事

(討論参加者 志茂 文明 さん)

河川敷利用の継続が、問題になっていること自体が私としては意外なことです。河川敷利用の質は問われても、河川敷は今日まで住民に利用され、交流の場所としても機能しています。目的を持った価値のある有効利用そのものが問題だということがまず疑問です。

河川敷利用は、人間同士の交流や自然環境への理解、福祉等人々にとって大変有効に働いていると思います。川には、単なる遊びなどの利用だけでなく、いろんなものを含めた生活文化の中心を担っていると考えているので、河川敷が利用されていることは非常に素晴らしいことだと思います。

私は、新住民として十何年前にこちらに移り住んできましたが、移り住めた理由として山の開発があり、ここに住むことができました。全く自然に手をつけないということであれば、私はここにいません。

自然との共存は、今日の問題では当たり前のことです。ただ、その質は十分問われます。一番問題になっているの地域住民にとっての野洲川は、昔から人々がお互いの触れ

ているか、環境にどれだけ配慮しているか。そういう質の問題が重要なのです。私がいろんな会に参加して一番問題であると感じたことは、縦割だということです。横つながりがない。県、国、漁協を初め団体、市民、地域の住民、という横のつながりが薄い。その縦割りを解消するには、こういう会議を通していろいろな立場の様々な意見を持っているものが意見を出していく今回の対話討論会は、とても、だいいな会議だと思えます。

川は自然博物館ではありません。生きた生活の場所として有効利用をするには、十分価値のある場所です。合併の問題もほぼ同じです。合併をするしないということは、さほど重要な問題ではなく質の問題が問われないままひとり歩きして、知らない間に成立してしまうということが問題だと私は考えています。これは、川の問題と同じことだと私は考えています。どれだけ住民が意見を出し合って、河川改修等のときに意見を出せるかということが非常に重要だと考えています。



視覚の上での環境が環境を考えることではない

(討論参加者 片瀨ふさ子 さん)

河川敷をスポーツに使いたいということは、人間の健康にもいいことですが、その健康な人間を将来、誕生させ続けられることができるかということに心配しています。

皆さんは、良い環境と言いますが、それは、視覚の上での環境ではないでしょうか。草が生えない。木も少ない。芝生の緑があればそのことが良い環境であると思っているのではないのでしょうか。私は、今よりも緑がもっと豊かな環境が良い環境だと思っています。それは、人間に必要な酸素を植物が供給するからです。

現在、炭酸ガスの温室効果が叫ばれ、氷河が解ければ海面が50センチ上がると言われています。その地球の危機を人間の楽しみのために無視することは、人間のエゴだと思います。今さえよければいい、今さえ楽しければいいというのは、地球の危機的状況の中では、方向転換して考えて行く時代だと考えます。

さらに、河川敷は、自然に戻していく、高い水域のところは下げていくということが必要だと考えています。

(ファシリテーター 竺 先生)

歴史的に考えてみると、河川敷をこういう形で利用し始めたというのはそんなに古くはないと思います。現実に放水路は昭和61年にできたということですから、当然今の利用の状況が出てきたのは、それ以降のことだと予測されます。

先程、戦後や戦中は畑等に利用したということだったのですが、もう少しそのあたりの話を聞かせてください。

昔は、人間が責任を持って維持管理をしていた

(討論参加者 多羅尾 進 さん)

昔は、人間が責任を持って、維持管理をしながら、人間が生きていくために必要なように活用していました。そのまま放置するということではなかったかと思えます。

昭和10年代の終りから21年ごろの野洲川沿いは、直(直)洪水を避ける為に松林がありました。そこは、非農家の畑にも利用されていました。

昔は、生活の場に近い部分で利用されていた

(討論参加者 太田 利貞 さん)

現在河川敷のグラウンドとなっているところは、河畔林が主でした。昔の家庭は、まき等を燃料にしていたので、河畔林の木の葉をかいたり、木を切り家へ持って帰って割り木をしたりと河川敷は、自分たちの生活する燃料を取り入れる場としても存在していました。

さらに、昔は、農業の機械のかわりに牛を使っていました。その牛に食べさせる青草として野洲川の河川敷に生えていた草を刈って使っていました。

これらの利用でわかるように、川は、人間の生活とに密着した存在であり、必要な場所でした。

河川に対して思うことは、河川は、やはり水が流れやすい状況をつくっておくのが一番いいと考えています。以前は河畔林であり竹藪であったところは、水の流れが悪くて不安を抱えていました。現在は、水がスムーズに流れる状況になっており、住民を安心させています。

(ファシリテーター 竺先生)

昔、川をうまく利用しながら、ある種、共存していたという事かもしれません。昔、川では洪水との闘いが中心でした。近年河川整備が十分行われて、河道内の樹木を燃料として使用することがなくなった中で、運動公園に利用しようということが出てきたのではないかと思います。

河川でのアスファルト・コンクリートは行き過ぎ

(討論参加者 西村 悟郎 さん)

河川敷での舗装は、行き過ぎだと思います。山の植林も、動物、鳥等が生活できなくなっています。人家に被害も出てます。このような舗装は、地下の植物やミミズにも影響が出ていると思います。

(ファシリテーター 竺 先生)

河川のある種の利用や、河川と人間との触れ合いは、皆さん、認めていると思うのですが、その中で、例えば先ほど市岡さん等の活動のような、自然を歩くことや、あるいは、子供たちが昔は川に入って危ないところと危なくないところを教えてもらいながら川に親しんでいたことに対しては、皆さん反対はしないと思います。その中でいわゆる運動公園だとかアスファルトというところに関しては、西村さんの意見でちょっと行き過ぎだという指摘について意見をお願いします。

時代に応じた住民との繰り返しの議論が必要

(討論参加者 市岡 均 さん)

施設利用の住民参加だけでなく、維持管理等の重要な事柄に住民が参加することが非常に大事だと考えています。

今まで、施設内容に対しては、様々な案を実現してきましたが、今までのパターン、河川敷は運動公園だよとか、グラウンドゴルフであるとかということが、満たされてしまって、アイデアの曲がり角に来ていると考えています。

それを考えるには、いろんな住民の生の声を聞く、つまり、実際使っている人に聞くことも重要で、現在この討論会が行われているひとつの趣旨でもあると考えています。先ほど西村さんの話にあったコンクリートで簡単に解決するのではなくて自然と共存しながら考えていくということも同じ事のように思います。

結論的に言うと、今までの運動公園はもうそろそろ曲がり角で、川に関して考えるとき、単一的な考え方で決めてしまうのではなく川の自然、もちろん利水や治水等様々な関係を考慮し、一回だけの討論会ではなく、アンケート等を行いながら、利用者や住民と繰り返し繰り返し調整していくことが重要であると考えています。

人間のエゴで自然をないがしろにしてはいけない

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

人間は、自然に逆らって生きてはいけない。それを高度経済成長のときには逆行し、そのしっぺ返しが今きているのだと思います。ただ、自然だから全然手をつけないというのも、人間の生活文化の歴史とは違うと考えます。

昔の暮らしは、自然と共存して折り合いをつけていまし

た。確かに河川敷でコンクリートというのは良くないと考えます。舗装等行き過ぎの面もあると考えます。つつい便利にと要求しています。やはり市民感覚としてどうするかを議論する必要があると考えます。我々のグラウンド管理は、他人任せの環境整備では、自然が自分のものにならないと考え、自分が汗をかくことによって、河川環境も一緒に守り、利用もする。この関係が出てこないと他人の財産と考えて行動すると、好き放題にして人間のエゴで自然をないがしろにすると考えています。そういうこともあって、河川敷を全て運動場にすることは反対です。

現在、野洲川流域を歩くと運動公園は、ぽつんぽつんあるだけで、あとは自然のままに放置されています。自然のままに放置されていると、ごみが捨てられる場所になることも多いことからそういうことも含めてどうするかということ、そろそろみんなが考えてやっていかないといけないと考えます。グラウンドを今以上にどんどんふやせというのがいいのか、それとも今あるのをベターとして、それを自然環境の共存の中でどうしたらいいか、その辺の兼ね合いが議論の中心になる必要があると感じています。

(ファシリテーター 竺先生)

完全に人が川から離れてしまうと、川を考えない人たちがばかりになってしまうし、かえって悪いということも起こる事が予測できるので、何らかの形で人が川に近づいて触れるとか、関心を持つということを持続していくということは基本的に必要なことであると考えます。西村さんが言った、コンクリートは良くないということも理解でき、運動公園をどんどんふやすことは皆さんも望んでいないことだと感じます。

それでは、どのぐらいそういう利用をしていくのか、あるいは具体的にどういう形で利用するのか等細かい話を議論して行きたいと思います。



除草剤や農薬の使用は禁止

(討論参加者 片瀨 ふさ子 さん)

河川敷を管理するときは、薬を使わない、除草剤を使わないという維持管理方法をとることは、とてもいいことだと考えます。

安易に手間暇を惜しんで薬にお金だけかけて済ましてしまう方法では、やはり川の水を汚すことになるので、それは怖いことだと考えています。便利さがみんなの能力を退化させています。

(ファシリテーター 笠 先生)

河川管理者の方、現在、河川敷で農薬を使っていますか。除草作業は、どうしていますか。

(国土交通省 琵琶湖河川事務所 林占用調整課長)

私達は、基本的に農薬で除草は行っていません。公園で若干使われているかもしれないが、農薬除草を行わないようお願いしています。

(討論参加者 多羅尾 進 さん)

農薬除草は栗東市でも使っていません。不認識ですね。

(討論参加者 志茂 文明 さん)

コンクリート舗装は、使わないという話は、同感です。国も財政難だと聞いています。管理や開発を地域の住民が行う方向が出始めています。

(討論参加者 西村 悟郎 さん)

最近では、便利さが先行して家の周りをセメントで固める人が約2割います。この人達が多数決で河川敷利用を決めてしまうと大変です。人間が泣くのはもちろん、ほかの微生物等が泣きます。野洲川の河川敷で野鳥が今までたくさんいたはずですが。川の周りにはタヌキもイノシシも出てきていました。現在はどうですか。野鳥の泣く声。朝、川から霧が上がったときに、鳥が鳴く声を聞いていますか。

(討論参加者 片瀨 ふさ子 さん)

甲賀町の杣川の上流に私は住んでいますが、鳥の鳴き声は幸いにして聞いています。

(ファシリテーター 笠 先生)

この場合は草津川、瀬田川も含めてということで3河川ということがテーマです。意見がある傍聴者の方から意見を聞きたいと思います。

むやみに河川に入る道をつけてはいけない

(傍聴者 前田 武夫 さん)

水口から来ました前田です。

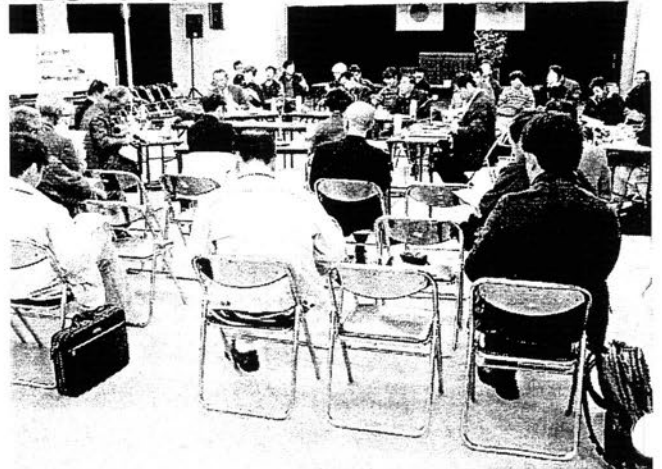
水質保全、環境保全という面から考えると自然のままが良いと考えます。人間以外の生物、動物、鳥類も自然のままが良いと考えますし、魚の数も多い。人類は、狩猟時代

や遊牧民は自然破壊は行われていないと考えています。農耕生活が始まってから自然を破壊してきました。自然破壊なしでは、耕作できないということから自然破壊が行われたと思います。戦前の農業は、自然環境に対してあまり悪影響は与えてなかったと思いますが、戦後、農薬が使われ出してから、ドジョウやタニシを見かけなくなりました。

現在、野洲川に天然のアユは溯上してきていません。川へ行けば、川の石はぬるぬるしていて、今まで砂地であったところが富栄養化で草だらけです。そういう場所であっても我々が利用できる範囲で利用するというのは、自然なことだと思います。河川敷が利用できるようになったのは上流にダムができてからだと考えています。そういうことから、ダムも一概には否定できないと思います。

それよりも、最近、山や川には道がたくさんできています。自動車の通る道ができると、ごみを捨てにくる人がいます。こんなことから、河川敷へ入る道には車が入れないように作る必要があると考えます。河川などに捨てられているごみは、自然に帰らないものが多いですから。

河川敷利用については、人間がこれだけふえてきて、活動する範囲や量もふえてくると、これはある程度やむを得ないと思います。



河川と地域の特徴に合わせた計画が必要

(傍聴者 石田 英雄 さん)

農薬使用については、農業や林業において、できるだけ農薬を使わないように、化学肥料を使わないように努めています。滋賀県では環境こだわり農産物作りを行うことを危機感を持って実行しています。

治水重点、環境重点対応どちらを選択するかは河川の特性に依じた選択が必要であると考えます。

西村さんの話の中にあつた野洲川河川敷のことですが、タヌキやキツネが昔は多く見られました。今では、野洲川廃川敷地の農地化が進み特定の地域にしか見ることができなくなり、環境の変化を知ることができます。そういうことから現在「地球市民の森構想」が提示され、広く皆さんに呼びかけ植樹等の事業が展開されています。

琵琶湖周辺の人達と議論することは有意義

(傍聴者 安田 傳夫 さん)

甲西町から来ました安田です。

私は、石部甲西の中流域に住んでいますが、琵琶湖周辺に住んでいる人々と議論をする機会が今まで無かったので今回の対話集会は、非常に有意義だと思っています。

私の住んでいる辺りの野洲川に流入する支川は、天井川で川幅は狭く、裏山も迫っており、河川敷を使える状況ではありません。上流にダムがあっても、台風的时候は、川一面に水が流れます。普段水が有っても無くても、天井川は里山と繋がっているので、「河川敷」と一緒に話が出来たら良いなあ~と思っています。

私の母は、山のそばに暮らし、河原でご近所と野菜づくりをしています。同じように近所のお年寄りもグラウンドゴルフを楽しんでいます。

子供のための環境教育が必要

(傍聴者 東郷 尚 さん)

中主町から参りました東郷 尚です。

今回討論で出た自慢話がうらやましく思いました。栗東には河川敷公園がある。水がきれい。河川敷が設置されているのは、左岸の方で、右岸の方には野洲町に1つありますが、とても少ないです。

5年程前に野洲川河川愛護モニターを2年間続けましたが、その時は、まだ河川敷がそれほど整備されてなく小さな公園があったぐらいです。そのときは、非常に粗大ゴミが多かったと記憶しています。(農機具の廃棄物が非常に多い、油類、塗料が捨てられていました。)このことは、非常に困っていました。これらの現象は、琵琶湖を美しくしようというきっかけが崩れてしまうため、とても厄介なことだと思っています。それから何年か経過し、河川敷ができ道路も施設もよくなって、これは非常にいいことだと思っています。ただ1つ残念なことは、子供の姿が少ないということです。高齢の方の利用は、目につきますが、子供の姿が少ない。私の幼い時分を考えると、親が午睡、昼寝をするのを待ち構えて、堤防、野洲川へ走ったものです。そして、川上からしもへ流されていく楽しさでやっと泳げるきっかけをつかみました。泳ぐというよりも流されたという経験からいろいろなことを学びました。

今から約15年ほど前に野洲川の竹生を中心に、子供は河原へ出してはいけないということが広まりました。それが影響しているのか、いまだに子供が河原へ行く、河原に親しむという光景がないのは残念に思います。

河川レンジャー、河川の見回り役として、子供の環境教育を行う場を作る必要があるのではと考えています。

(傍聴者 中原 正隆 さん)

野洲町の方から来ました中原です。

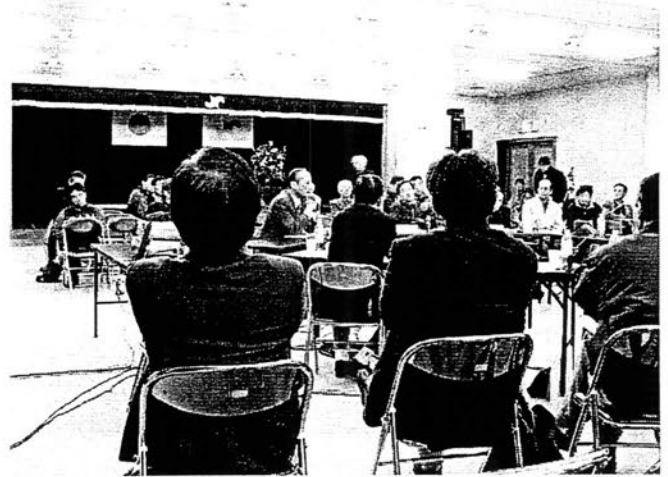
私は、河川敷利用賛成という立場で意見を述べさせていただきます。河川敷の周囲や、堤防沿いを歩くと人が行かないところは不法投棄が多いと言うことを実感しています。河川敷を整備し、有効な活用をしている場所では、余り不法投棄がないようです。

施設は、自然に戻れる最小限のつくりがよい

(傍聴者 谷 弥一郎 さん)

石部から来ました谷です。

河川敷の利用は最小限にするべきではないかと考えています。時代によっては、その施設が使われなくなる場合があります。施設を作っても最小限にとどめ使われなくなったら自然に戻せるように作るべきと考えています。管理についても、利用者が維持管理をすることは、非常に良いことだと思います。



遊びの中から「きれいにする意識」の芽生え

(傍聴者 田中 俊雄 さん)

草津市から来ました田中です。

私は現在、草津市の淡海生涯カレッジに学んでいます。河川敷等で、子供達を水と触れさせる機会を設ける必要があると考えています。現在の小・中学生の親のほとんどは、危ないから近づくなという時代に育ってきた為、子供達をそういうところに連れていくことをしていないように思います。滋賀県も『マザーレイク21計画』という中で、20年後に昭和40年初期の水質にしようという計画があるようです。将来を担う子供達に水質改善の意識を持たせる為には、河川敷を子供達が遊べる空間として利用し、子供達に「水をきれいにする意識」を芽生えさせることにより、最終的に水質をよくすることを目指すことが良いと考えています。

(ファシリテーター 笠 先生)

河川敷は、自然の状態が望ましいと考えた時に、河川敷にあるグラウンドゴルフ場等は、別な場所に設置することでいいですか。

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

別にうつすのではなく、川のそばで生活をするのが人間にとって、非常に重要と考えています。

管理の話に戻りますが、我々の管理しているところは、無料です。他は全部有料です。行政が管理をすると有料になります。協会は、現在、正式会員が約350名います。予備軍が、自治会の同好会等約300名います。毎年1クラブずつ増えて現在、11クラブです。11クラブが分担して管理を行う体制をとっていますので、やっぱりあそこよりきれいにしようという感じが出てきて、維持管理というのが非常にうまくいきます。

(ファシリテーター 笠 先生)

ヨーロッパでは近自然工法という、自然に戻そうという流れになってます。これは、人間だけが地球上で繁殖し続けていてよくないという考え方からできました。日本でよく見られるコンクリートで固められた川は、ヨーロッパでは景観の面と生物の面でよくないという考え方に変わっています。

(討論参加者 西村 悟郎 さん)

川に生かされた利用を早く行わないと1日の遅れが、何百年の遅れになる可能性があります。もとへ戻すにも何百年もかかるわけですから、十分な河川敷の検討をする必要があると考えます。

(ファシリテーター 笠 先生)

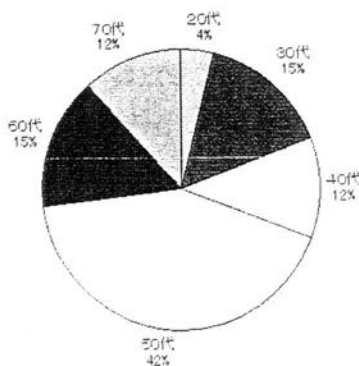
十分な河川敷の検討をするには、まだまだ時間が足りないようです。みなさんからも貴重なご意見をたくさん頂いていますので、引き続きもう一度、対話討論会を開催したいと思います。



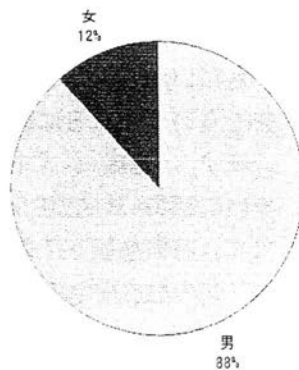
アンケート集計

*アンケートについては、皆様方から頂いたご意見を紙面の関係上、簡略化させて頂いており、また、似ているご意見については、まとめていただいております。

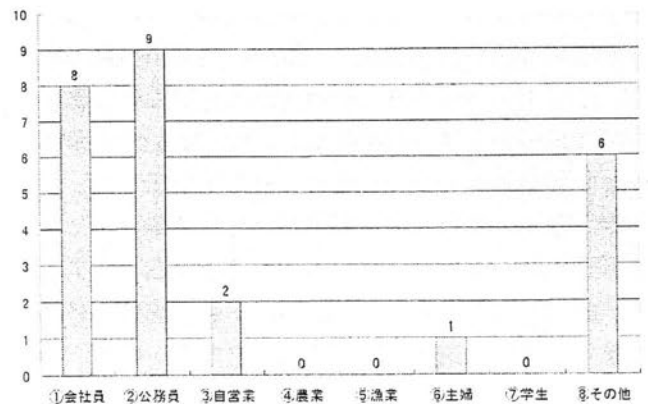
年齢



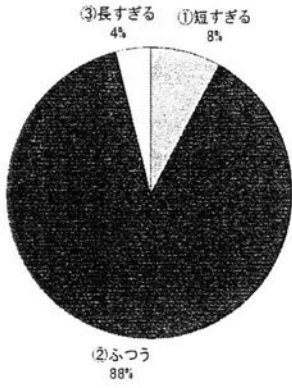
性別



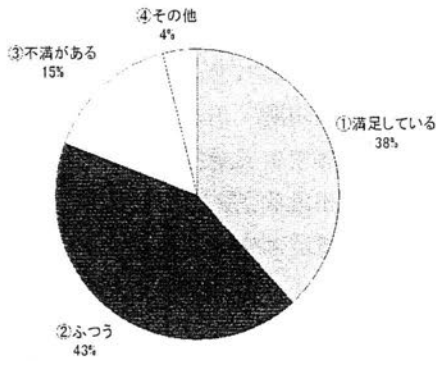
職業



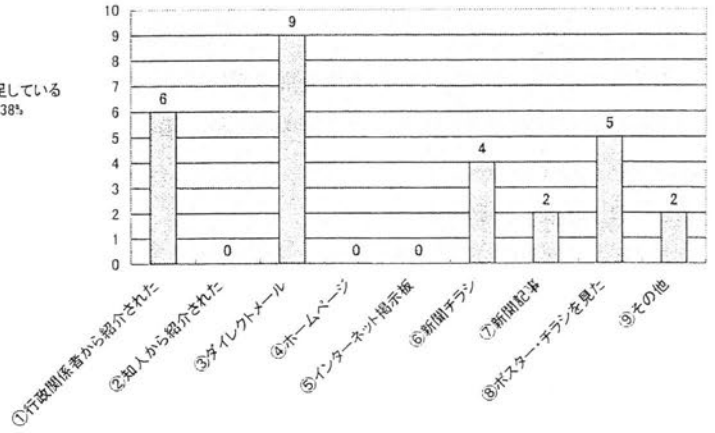
対話討論の時間



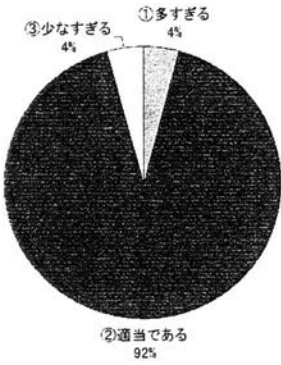
運営方法の満足度



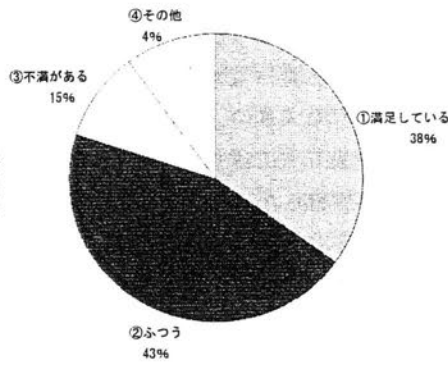
参加のきっかけ



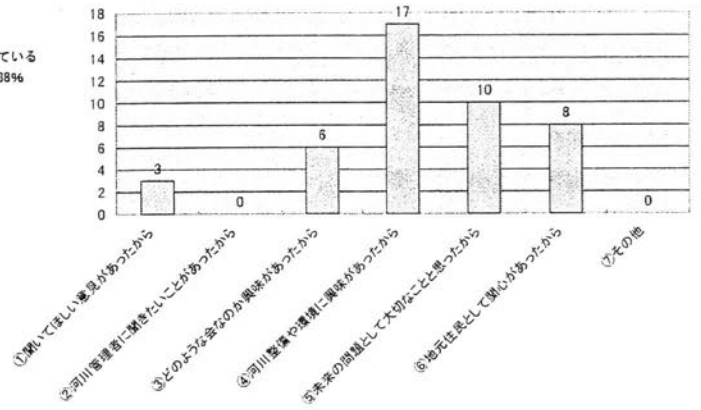
討論の人数



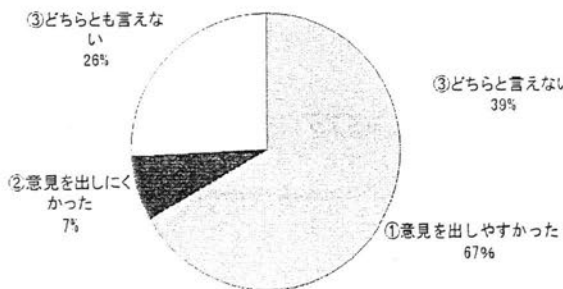
理解度



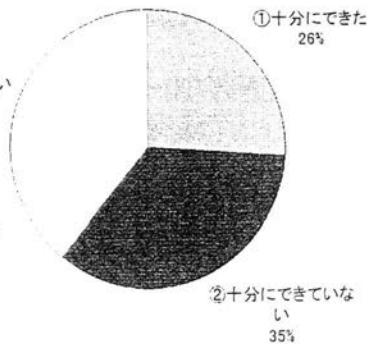
参加理由



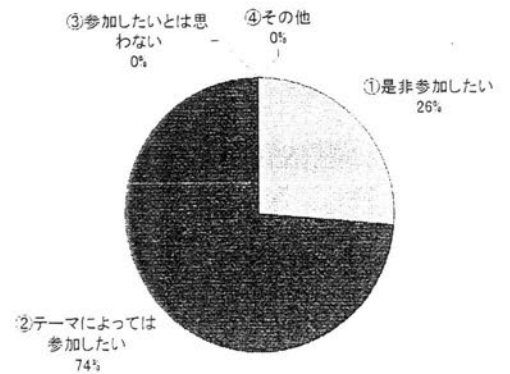
意見の出しやすさ



討論の充足度



今後の参加の意思



意見と感想

- ・河川環境の①生態系を縦断的に分断②環境に悪影響の具
体例を出して下さい。
- ・河川環境の質に問題があるのではないか。
- ・環境の源が汚染されている。生命の誕生の為に自然の恵
みを守る必要がある。
- ・昔の河川敷は、生活の場である。
- ・利用者自らが河川利用施設を作り管理する。条件付利用
でよい。また、子供の意識向上の為に利用させるべきで
ある。
- ・発言時間は決めるべき。決めた方がテーマが絞れて、参
加者に理解しやすいのではないか。
- ・参加者の発言に不要な面が多すぎ、論点の整理がなされ
ていない。
- ・大部分の討論参加者が環境（自然の）保全に対しての基
礎、基本的なことの理解が十分でなく、自己個人の近視
眼的な考えが主体になっている。もっと根本的に掘り下
げた発言がほしい。
- ・たくさんの素人相手にごくろうさまでした。参加者の発
言が支離滅裂ですがこれからもよろしくお願いします。
- ・地域受益者負担原則の徹底をするべき維持管理に各々が
関わるべき。
- ・河川敷利用は最小限にすべき。
- ・河のあるべき姿（治水、利水）を徹底議論も必要。
- ・自然との共生は現状はもっともっと深掘りするべき。
- ・川への思いは十分に伝わってきました。
- ・大変面白かった。勉強になった。
- ・自然の大切さ、共生等の大切さがわかった。
- ・討論参加者は自然の状態をわかっていない。
- ・公園の設置されていない地面を自然の状態と思いこんで
いる。
- ・自然の状態とは、低水、高水と分かれているのではなく
水位によって、河川の堤外地の姿が変わる状態だと思う
- ・“河川敷”の意見がまとまっていない。
- ・求めている意見がファシリテーターに伝わっているのか
- ・河川敷利用にあたっては、運動公園等直接利用する人の
要望だけを地域住民の声として聞くのではなく、「声な
き声」というか、自然環境の意義について、より住民で
考えていかなければならないのだと思う。
- ・河川敷を利用するに当たっての薬剤の使用については、河
川管理者は、実態を調査、把握しておくべきで、不使用
を条件に利用を認めるべきだと思う。（今日の討論では
、河川管理者は「薬剤を使用していないだろうから大丈
夫と思う」と述べられてきたが。）
- ・25%利用出来る様に出来ているとのことですから、守山
地域はこれぐらいの開発でいいのではないのでしょうか
- ・子供達を川や自然に親しむレジャーやクラブ的なものが
大切だと思う。
- ・利用と維持管理について議論してほしい。
- ・自然の大切さ、共生などの大切さがわかった。
- ・有識市民の発言が多かった。今回のような内容なら、ぜ
ひ参加したい。
- ・発言は3回ぐらいにして、1回目5~7分、2回目以降は2~
3分にすれば、より多くの傍聴者の発言が可能である。
- ・河川敷保全と利用について、ほとんど活動・意見が野洲
川についてであったが、川沿いの居住者は川に愛着を持
っており本能的に危険を良く知っている。流域居住者の
生命財産の保護を至上命令としている管理者の使命を理
解して妥協の道を求め可能な限り開放されるべきだ。
- ・親水性や川にゆとり（無駄）が無さ過ぎる思いがする

今後の予定（対話討論会開催日）

第2回 2004年2月7日（土） 13:00~16:00

開催会場 守山商工会議所2F大ホール
守山市吉身3-11-43 TEL (077) 582-2425

お問い合わせ先 〒520-2279 滋賀県大津市黒津4-5-1

琵琶湖河川事務所 調査課内

「河川敷保全と利用について対話討論会」係

TEL 077-546-0844（代表） ホームページ <http://www.biwako.ws/seibi/>

河川敷保全と利用についての対話討論会（河川整備計画策定に向けて）

河川敷ニュース 2

第2号 発行／「河川敷対話討論会」

平成16年3月 発行

平成16年2月7日（土）、「第2回河川敷保全と利用についての対話討論会」が、守山商工会議所で開催されました。

現在、河川整備計画策定に向けて様々な方法で住民の皆さんの意見収集が行われています。

「第1回河川敷保全と利用についての対話討論会」が、平成15年12月7日（日）に開催され、活発な意見交換が行われました。この意見交換の輪をさらに広げ、討論を深めるために、引き続き第2回討論会が開催されました。

第2回討論会では、傍聴者からの発言も多く、第1回目以上の充実した議論が展開されました。



ファシリテーターの竺先生

討論会レポート

日 時	平成16年 2月 7日（土） 午後1時00分～午後4時10分
場 所	守山商工会議所
進行調整役	龍谷大学 竺 文彦先生
討論参加者	太田 利貞 さん 片瀨 ふさ子 さん 武富 寛幸 さん 多羅尾 進 さん 西村 悟郎 さん (五十音順)

野洲川・草津川・瀬田川の現状

（国土交通省 琵琶湖河川事務所 林占用調整課長）

野洲川、草津川、瀬田川における河川敷利用の現状について説明させていただきます。

私どもが具体的に河川敷利用について考えておりますのは、通常の利用については自由使用を原則として、河川環境を損なう利用については、皆様の理解を得て無くしていきたいと考えています。また、河川敷における施設の設置については、周辺環境、地域性を考慮し、川らしい自然環境を保全・再生することを重視して許認可の判断をしようと考えています。私どもが許可している公園は、野洲川で7箇所、草津川で1箇所、瀬田川で4箇所あり、また草津川では桜並木を許可しています。

野洲川河川敷利用の現状ですが、川田橋付近に去年8月にオープンしたグラウンドゴルフ場があります。また近江富士大橋下流の落差工付近の河川敷では、家族連れでバーベキューや魚とり等を楽しむ姿が見られますが、人命にかかわる事故も発生しております。私どもも、安全対策には心がけていますが、安全に川と親しんでいただくために、どこまでこういった遊びを規制するべきなのかいつも悩んでおります。野洲川の近江富士大橋付近は、夏になると木がうっそうと茂り、洪水流下の阻害になります。一方、これらの木は、生物にとって貴重な生息・生育場所であるため、生物調査をされている京都大学と相談しながら、生物に余り支障のないよう伐採を行っています。

その他、野洲川には、栗東市の公式陸上競技場が、川田橋上流では、グライダーの滑走路として利用したいと相談を受けている場所等があります。

野洲川河川敷における不法投棄の問題ですが、警察や滋賀県、私どもがパトロールや啓発活動を行っていますが、なかなか変わらないのが現状です。

次に、草津川は、堤防に影響がないよう配慮して造った桜並木や、北川との合流点部分の広い堤防部を利用して造った公園があります。

続きまして瀬田川ですが、日本書記等でよく取りあげられたと言われる瀬田の唐橋が、瀬田川と結びつきが強い石山寺をここでは写真で紹介させていただきます。

以上、簡単ですが、私どもの管理している川についてご紹介させていただきました。

歴史から見る人と川との関わり合い

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

守山の歴史は野洲川を中心とした地域の歴史であると言えます。野洲川に今ある放水路も、昭和28年の大水害が発端になって建設されたものです。野洲川とそこに住む人々との苦闘を知っておかないと、川や河川敷について議論しても底の浅い議論になってしまいます。南流・北流がなくなると、川に対する安心感が出てきて人々は川に振り向かなくなり、川に近づかないようになってきました。そうすると、川が作ってきた歴史や文化はどうなるのだろうと考えました。

野洲川の堤防は全部人の手を入れることで守ってきています。野洲の町史によりますと、昔は一人当り5間ないし7間を割り当てて各自の土地を管理していました。その中で刈った草木を家畜の肥料にしたり、人々が竹を立て、木を植えたりすることで堤防が守られてきたのです。人間が手を入れて緑と共に川を守っていくという歴史の積み上げが、野洲川の文化・歴史を作ってきたのです。

野洲川や野洲川の文化・歴史を守るためには、もう一度人々が川に目を向けることが必要だと思います。特に新放水路は人工河川なので、本来の川に戻す為にはどうすればいいかという知恵をみんなが出して、河川敷の利用の問題もその中で出てきているんだと思います。

ただ、野洲川の河川敷の価値意識は、都会の川のものとは異なります。都会では人口の過密化で土地がなくなり、河川敷なら空いているということでゴルフ場やグラウンドが造られていますが、野洲川は違います。野洲川の河川敷利用は、今が天かなと感じています。

この前も言いましたが、グラウンドゴルフは住民運動の中でやっているのだから、草刈り等の管理は行政任せにせず自分たちですするというような意識が住民の中に芽生えてくると、この野洲川は昔の南流・北流以上の利用価値のある、

みんなが愛する川になっていくのではないかと思います。

川の自然浄化機能を高めることが必要

(討論参加者 片瀬 ふさ子 さん)

堤防の管理を県に加え、河川敷を利用する住民の方たちがされていたことはとても素敵なことだと思います。これはごみ投棄の監視にも繋がるとは思います。ごみの投棄に関しては河川管理者並びに近くの方々による監視施設のようなものがあるといいと思います。滋賀県にはごみのポイ捨てを禁止する条例もあり、罰則規定もあるので、それを生かす工夫がなされていいと思います。

スライドを見て思いましたのは、植物が少なくなっている場所が多くなっているんだと感じました。河川敷利用25%が30%にということに対しては反論を申し上げたいです。

やはり川に植物があることによって、貝や小魚などを棲まわせることになり、水の浄化作用がかなり高まるので、植物が多くあるべきだと思います。命と健康を守ってきた私としては、毎日1.5~2リットルを口にするお水の質の悪化は、小さな生物がいなくなり人間の数を減らすことにつながるのだから、未来の世代に問題です。

スライドの瀬田川は、石山寺と紅葉の樹々を背景としてきれいです。川の水質はきれいではありません。今は、コンクリートや岩などで固められているため、水の自然浄化はされていないと思います。川は本来もっと水の自然浄化を保てるようにすべきだと思います。

河川敷の利用に関してはできるだけ利用面積を狭めてほしいと思います。そして、高水域の河川敷はもっと掘り下げ、大雨の際に川に保てる水量を増やせるようにし、上にダムを造るのを避けるべきです。管理については年金をもらっている方がボランティアとして監視体制や除草等に関わっていただけたら、よりよい自然環境だけでなく、奉仕の気持ちで働くことの大切さも次の世代に伝えられると思います。



武富さん



片瀬さん

自然と人間の共存が大事

(討論参加者 多羅尾 進 さん)

川は、自然が人間に与えてくれ、与えきれなかったものを人間が構築してつくりあげたものだと思います。つまり、川と人間は生かし生かされる密接な関係であると思います。川が水を浄化することも大事であるし、川で人々が運動をして汗を流し、心を浄化することも大事なことです。自然には自然としてのありようがあり、人間に色々な恩恵を与えてくれるので、それをいかに大事にしながら手を加えていくかが重要だと思います。

河川敷は大きな役割を果たしていますが、その中でも特にスポーツの面からの役割は極めて大きいと考えます。全ての河川敷でグラウンド利用をある程度以下に抑えるというのではなく、それぞれの河川敷の特色や地形的問題を考慮して、野洲川を私たちの住みよい形に変えていくべきだと思います。自然と人間がどう共存していったらいいのか考えなければなりません。自然も大事ですが、スポーツも大事です。自然というのは、そのまま放置することではないと思います。

栗東市もインターチェンジができたことをきっかけに発展しましたが、同時に土地も値上がりし、平地にグラウンドを造ることが難しい状況です。これらの理由から、申し訳ないんですが、河川の広い高水敷を利用したいと考えるのは、誰の思いも一緒だと思います。至る所で同様の開発をすることは問題ですが、環境を損なわない程度に私達が必要なものを作ることも大事だと思います。例えば公認の陸上競技場がどれだけ自然を破壊しているかということを考えてときに、その地域に陸上競技場があることがどれだけ人々の生活を良くしているかということも考慮して、メリットとデメリットを考えていくべきだと思います。



多羅尾さん

河川敷利用の効用

(討論参加者 太田 利貞 さん)

まず始めに、全国的に見て、この地域が突出して運動公園が多いとは思わないので、なぜあえてこの地域で河川敷の保全と利用についての議論がなされたのか不思議に思います。本来でしたら東京の多摩川などで議論がなされるのが先だと思います。

もう1点、野洲川は堤防も含め、ほとんどが石と砂でできているので、地質的なことから、加工を加えなければ運動施設にはできないので若干は加工されておりますが、ほとんどは川の流れをあまり阻害しないに近い状況でやらせてもらっているのかなと、こんな思いもしております。

また、年に1、2回高水敷のすぐそばまで大水が出ていますので、私たちが小さい頃には無かった低水敷のいわゆる自然的な木が、水害を出す要因になるんじゃないかという心配をしております。そういう状況ですので、洪水防止の観点から、運動公園としての平地化、整備をされている状況は、一定認めてもらわなければならないと思います。

野洲川は昔から暴れ川であるため、小・中学校で”野洲川に立ち入ることはだめですよ”という通達があり、子供たちを野洲川から遠ざけている要因となっております。河川敷の運動公園は、お年寄りが多いです。お年寄りがスポーツに親しむことで、介護を必要としない丈夫な体を作ることも重要だと考えます。



太田さん

なぜ今この議論が必要なのか？

(討論参加者 太田 利貞 さん)

守山市や野洲町については、運動公園を造られてから、本当にわずかな年数しか経っていません。このわずかな数年前に許可をされたのに、この議論がなされるのはあまりにも唐突ではないでしょうか。

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

例えば守山の立入地先の河川公園は、わずかな期間に莫大な費用を掛けて整備し、なおかつ時間も経たないうちにひっくり返すのかと悪い勘ぐりも出てきます。この公園の占用期間は平成20年となっておりますが、その辺の経過はど

うなんでしょうか。

また、今話している国の直轄の範囲でなく、県が管理者となっている部分はなるのでしょうか。整合性はどうか図られるのでしょうか。

(ファシリテーター 笠先生)

私の理解をちょっと話しておきますと、私は20~30年前から川に携わっていますが、昔の建設省は、住民の意見を聞くということはありませんでした。それが最近では、親水公園等が出てきたり、法的にも住民の意見を聞きながら川づくりをやるという流れに変わってきています。その時代や時期として、こういうものが良いだろうという判断をされてきたわけです。

全国的には住民の意見を聞くことを熱心にやっている地域とあまりそうでない地域の温度差はあると聞いていますが、特にこの地域だけではないと思います。この間造ったものをどうこうという感じはあるかも知れませんが、住民の考え方が変わってきたことを行政が反映しているというように私は思います。

国の管轄と県の管轄については、行政の縦割りで他のところには手を出さず、自分のところだけでやるというのは行政の常で、それをつなぐのはむしろ住民の役割ではないかと思います。

(国土交通省 琵琶湖河川事務所 児玉所長)

住民の皆さんの意見を聞きながら方針を立てるのはどの河川でもそういう方向でやろうとしていることです。一度決めたことを変えることについてという問題は、その時その時で一番良いことをやっていく、一度決めたことでも、その時点で議論をして良ければ変えていくという姿勢は必要だと思います。

河川というのは直轄で管理している所や県で管理している所もありますが、全体として良い方向に向かっていくには連携していかないといけないと思っています。

県との関係については、主体が違う為考え方は当然違いますし、我々国の考え方を一方的に押しつけることはできませんが、我々の考え方を話しますし、当然そこには議論が出てくるということにもなろうかと思っています。

子供たちがともに川辺に集まるように

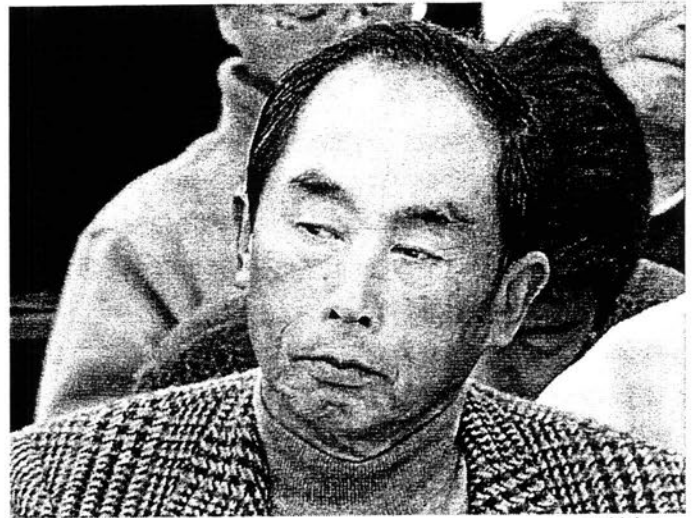
(討論参加者 西村 悟郎 さん)

人々が川辺に戻り、子供たちがともに川辺に集まるようになれば河川敷は生きてくるのではないかと思います。

私の小さい頃のように、子供たちが川で魚を捕り、喉が渴けばその川の水を飲んだものです。ですから多くの川々の水を飲める程度に環境に早く戻すことです。滋賀県だけでなく、南郷洗堰を通して京都や大阪、奈良、神戸にきれいな水を送れるようにすることが、滋賀県の責務であると痛感しています。そのため、第1回討論会では、水をいか

にきれいにすることが重要であると発言しました。

川辺に人々が戻り、子供たちが遊べるようにするということを念頭において、河川敷の利用計画をたてていけばいいと思います。



西村さん

河川管理者としての仕事と責任

(傍聴者 小林 寛明 さん)

河川管理者は一過性の方ですが、利害のまたがっている人に対して公平な行政をしないといけないので、非常に責務の大きなものだと思います。河川管理者は、住民が安全な生活を送れるように自分たちの責任を果たしていると、もっと強くおっしゃるべきだと思います。また、皆さんの意見を聞いて変えるべき点は変えるとありましたが、川というのは千年万年の昔からあり、将来に続いていくものなので、河川管理者はそう簡単に考えを変えてはならないと思います。

私が住む宇治には宇治川がありますが、琵琶湖周辺の野洲川や草津川とは扱いが全く違い、川には近づくことができません。ゆくゆくは宇治川も人々が川に近づけるようになってほしいという夢を持っています。

河川敷利用については、周辺の住民の方には、安全や管理に対する妥協の中で考えていただきたく思います。



小林さん

原風景を育てていこう

(傍聴者 東郷 尚 さん)

私は、野洲川右岸の中主からきました。左岸側はグラウンドが多くありうらやましく思っています。

河川敷では水辺らしい景観や風景を復活、あるいはつくっていくことを進めていただきたいです。水辺の利用は、基本的には川らしい生かし方、すなわち川でしか与えられないものや、川でしかできないというものを優先していただきたいと思います。

また、河川敷の役割として、高齢者雇用にもつながることから、高齢者に子供の教育に携わってもらえるような方策をとっていただきたいと思います。



東郷さん

川辺の環境を整えることが大事

(傍聴者 田島 卓明 さん)

私は自然と親しみたいという気持ちで、10年前に大阪から卯木の里に移ってきました。私はもっと人間以外の生き物に目を向けて欲しいと思います。

琵琶湖の周辺には内湖が無数にあったそうですが、そのほとんどが埋め立てられたそうです。川に淵、瀬、よどみなどをつくり、高水敷もある程度切り開いて池にするなどの試みも欲しいと思います。河川についても直線的な造成工事ではなく、曲線を加えることにより、原風景を取り戻し、楽しい川辺の環境ができ、子供たちが遊びを求めて川へやってくることに繋がると考えます。

植物や生物には連続性が必要

(傍聴者 吉川 正信 さん)

植物や動物には連続性があるので、片岸が全て利用されてしまうことなどないよう、バランスや連続性を保ちながら河川敷を利用することが必要ではないかと思えます。



吉川さん

子供が川で遊べる状態が必要

(傍聴者 石田 英雄 さん)

野洲川のすぐ近くに住んでいますが、一日も早く野洲川を完成断面にしていきたいと思います。河口にはたくさんの砂がたまっています。良いヨシがはえています。確かに自然景観上は大切だと思いますが、それで4500tの水が流れてくれるだろうか。地元としては非常に不安を抱えています。

不法投棄については、住民がお互いに気をつけ”捨てる人には声をかける”、”怖い場合は車のナンバーだけでも控える”というように自治会を通じてお願いしています。

もう1つは、子供の水辺への近寄りです。学校では川に行ってはいけないと言われてるかもしれませんが、昔は親や兄弟でなくても、周辺の大人が近寄ってもいい場所、悪い場所を教えてくださいました。その辺りは現在の大人が十分に気を付け対応していかなければならないと思います。



石田さん

(ファシリテーター 竺先生)

子供がもっと川で遊ばなくてははいけないというのは、全員一致しているような気がします。危険性はありますが、もう少し川で遊べる状態にし、冒険したりできる場所も必要だと思います。

河川管理者には先を見通した深い洞察力が必要

(傍聴者 古川 道夫 さん)

河川管理者へのお願いですが、河川を管理する際に、時代の状況や世相、自然などを見ながら、先を見通した深い洞察力のもと、対策を講じてもらいたいと思います。

草津の住民として、草津川には親しみがありました。新草津川ができてから草津川は砂の更新がなくなり、常に水浸しで、魚もいなくなり、私たちも近づかなくなり、当然生活からどんどん切り離されています。今、草津川は私が生きてきた中で一番汚い状況です。もう川に恩恵を感じないから、ごみが平気で捨てられています。また新草津川は広い河川敷があるので、川には近づけますが、水面が琵琶湖と同じなので流れがなく常によどんで川底が見えず、深さもわからない、砂もとれない状態です。親水性や安全性のためにつくった割にはこんな川になっています。川をさわるといことは、果てしなく影響が出るので、慎重にやってもらいたいと思います。



古川さん

(ファシリテーター 笠先生)

草津川の場合、洪水の問題などで努力をして、巨大な金を使ってこういった状況になっているということを理解しておかなければならないと思います。

子供を交えた意見交換が重要

(傍聴者 北田 俊夫 さん)

子供には、これからの川や水というものをつないでいかなければならないというのは、皆さん一緒だと思います。

私どもは、1, 2回子供を交えた川のイベントをやりましたが、基本的に子供は水が好きで、川とか水に親しみたいという気持ちが強いと思います。これからは、子供を交えて子供から意見を聞くということも大事だと思いますので、企画していただきたいです。



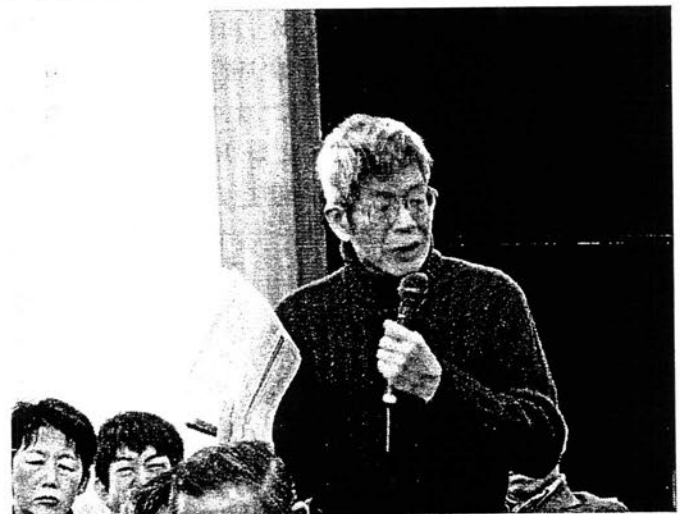
北田さん

野洲川に目を向けることが必要

(傍聴者 長尾 是史 さん)

先程から、グラウンドゴルフや陸上競技の人たちが多くなってきているのを感じて受けますが、残念ながら、今野洲川に目を向けている人は、逆にそういう人しかいないのではないのでしょうか。私たちは、ホテルを乱舞させながら市民の人たちに川に目を向けて欲しいという思いで、運動の中で河川を守るために水質調査等をしてはいますが、野洲川に目を向けるかといったら、なかなか遠い所まで目が向きません。川から市民の目が離れてしまうと、不法投棄の場所にしかありません。河川敷利用者が、野洲川を管理し、監視レンジャーのような役割を果たしていただき、もっと市民の人たちが野洲川に入っていけるという形にして欲しいと思います。

また、スポーツゾーンばかりでなく、いろいろな形で文化的に使えるということを示してもらえると、もっと人が入りやすくなると思います。いずれにせよ、森と川と海というのは私たちの心を癒してくれるものなので、大切にしなければなりません。



長尾さん

野洲川の管理について

(傍聴者 竹内 辰郎 さん)

このような国土交通省さんの企画は非常にいいことだと感じております。

野洲川自体65kmありますが、頭首工の下流側が国土交通省の管轄、上流側が県の管轄だと思います。上流と下流でそれほど水質が変わるわけでもないと思いますが、1本の川を分けて管轄するというので、県と国との行政のやりとり、両者がどういう形で全体の川を管理していくのか、我々市民はよくわからないので教えてください。



竹内さん

(国土交通省 琵琶湖河川事務所 児玉所長)

制度上管理をしているのは国であったり県であったり分かれています。これは一体として管理していくことが望ましいと思っています。そういう意味で県と国は、日常的に話をしています。ただ、全ての事が完全に考えが一致しているかという点、そうではありません。地先によっても違ったり、考え方として異なっていることもあります。たゞ流域に住んでおられる住民の皆さんにとっては、誰が管理しようが川は川であるということなので、国・県をつなげていく住民の皆さんの意見は大変大事なことで、国・県でも話はいたしますし、連携してやっていきたいと考えています。

(ファシリテーター 笠先生)

県が一括するとか、国が一括するという考えもありますが、ある種の状況の中でこういった振り分けになっているので、そこをつなぐのは住民の方が接着剤になるとか緩衝材になるなど、そういう役割も住民の方にあるのではないかと思います。一貫して見ていく、何十年も住み続けて見ているというのは住民しかいないわけですから、やはり住民の役割というものもあるのではと思います。

河川保全利用委員会について

(国土交通省 琵琶湖河川事務所 林占用調整課長)

従来の河川法では“治水”、“利水”が目的でしたが、平成9年に河川法が改正され、“環境保全の取り組み”、“住民等の意見を聞いて河川整備計画を作成する”という内容が新たに加われました。私どもは、この河川法の改正を受けて、本日、このような会で皆様方の意見を聞かせていただいています。

近畿地方整備局は河川整備計画を策定するにあたって、平成13年2月に淀川水系流域委員会を設置しました。翌14年12月に河川整備計画作成に向けての資料第1稿という、整備計画の試案的なものを12月に出し、翌15年6月に第2稿を出しました。その後議論を重ね、修正を行いながら去年の9月に、まだたたき台ではありますが、淀川水系河川整備計画基礎原案を出させていただきました。その中で、これまでの河川敷に関する河川整備はどうであったかという部分で記載しているのは、広範囲に造成された高水敷において、社会的要請に応じて公園・グラウンド等の整備が進められたということで、若干多く整備したかなというイメージを示しています。

野洲川では私どもが管理している高水敷が約170万㎡あります。そのうち45万㎡、大体25%を公園等として整備しています。これに対して猪名川は、都市化が進んでいるということもあり、高水敷の65%を公園等として整備しています。そういう意味では、25%の野洲川と65%の猪名川等地域によってかなり差があると認識しています。

淀川水系全体で見た場合、公園・グラウンド等、人工的に整備された施設については、河川の生態系を縦断的に分断し、本来の川の姿である瀬や淵、水陸移行帯及び変化に富んだ河原等の空間を失わせているものもあり、こういう部分については反省しなければならないと考えています。高水敷の利用については、川でなければできない利用、川に生かされた利用という観点を中心に考えております。その中でグラウンドゴルフ場等のスポーツ施設等、本来河川敷以外で利用する施設は縮小を原則に考えております。

既存の利用施設は、数多くの方が利用しています。また住民の方や自治体からは、グラウンド等のスポーツ施設に対して、長い間使い続けたい、新設したいという強い要望があります。各地域・河川で、状況は本当に大きく異なっていると思います。公園・グラウンド等の施設の新設・更新の許可は、当然周辺環境・地域性を考慮し、淀川水系1本ではなく、各地域・河川毎に河川保全利用委員会を設置し、住民から広く意見を聞き、個々の案件毎に判断するというように、川ごとに方針を決め、申請されている案件を判断していけばどうかと考えております。河川保全利用委員会について、このように考えております。

心は川にあり

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

先程からグラウンドゴルフがやり玉に上げられているような感じがしてすくんでいます。僕は何も全部をスポーツ施設にせいとも言ってませんし、自分では自然環境派だと思っています。

野洲川は、放水路と思わせるような川にしてはだめで、昔の野洲川に早く戻さないといけな。そのためには隔離してはだめで、南流・北流時代の川に寄与した生活を新しい川で取り戻したい。子供も含め大人と一緒に川に集まってくるような施策をしないと川が復活しないと思います。

環境の本来の姿は、他人のものと思ったときには、その川や環境は廃れます。これが自分の財産だ、自分のものだと思ったときに初めて環境は生きてきます。川は生きてますよ。こういうことを今まで忘れていました。心は川にありと思っています。だから、心に戻すという実践は、川にどう人が入り込んでいくかということだと思っています。

少なくとも野洲川流域の範囲では、そんなめったなグラウンド使用はしていないと思っています。自然と本当にうまく付き合っている中で、利用面積がどの程度が良いのかわかりませんが、それは委員会の中で議論していただければいいことだと思っています。ただし、我々が利用している使用範囲の中で、これ以上減らすというのであれば、ちょっと待って下さいよということは申し上げておきたいです。



川は預かったものとして大切に守るべき

(討論参加者 片瀬 ふさ子 さん)

川は自分のものじゃなく、あくまでも一時預かったものとして大切に守っていくべきだと思います。

高水敷に遊び場がつくられているほうが大雨による大水量が出た時にかえって心配になると思います。

河川保全利用委員会についてですが、使いたいという団体があれば、その場所を管理しきれんかということをお約束

していただき、それを1年ごとに見直していくこと等が必要ではないかと思います。管理をできるだけ公から離し、使っている人が管理し、それが不可能ならギブアップということで、河川管理者が次の世代に本当にいいことは何かを考えていただき実施していただけたらと思います。



河川保全利用委員会のあり方について

(討論参加者 太田 利貞 さん)

利用委員会には、学者の先生も、農業をしている者は水利の問題もあり必要ですが、その沿川に住んでいる者の声だけは、できるだけ数多く入れていただきたいです。

(討論参加者 多羅尾 進 さん)

河川敷が公園になったことで、生態系がどのようにゆがめられているのか、科学的情報を知識として与えていただき、その上で討論を煮詰める必要があると思います。

委員会の設置については、野洲川をよく知り、共存している人、スポーツ団体等河川敷を活用している団体、自然そのものを愛している人等、各層からの参加が必要です。今日の討論会のように公明正大にやって欲しいです。

(討論参加者 西村 悟郎 さん)

この川に相応しい委員会を設けるには、子供や大人、いろんな方々が寄って、進めていけば良いと思います。今まさに公園を造ろうとしている所もあるので(旧野洲川敷)、早く検討会に進まれた方が良いと思います。

また、委員には、自治会の会長や、いろんな役職についておられる方々よりも一般からピックアップした方がいいと思います。広くアナウンスして、関心のある方に入ってくださいたいです。

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

野洲川の場合、野洲川を考える懇談会のメンバーは入れてほしい。この主要メンバーは行政的な立場ではなく、市民の代表的な人で構成されていますので、継続性という意味からもお願いしたいです。

(討論参加者 片瀬 ふさ子 さん)

女性の方は、命・健康等大切だと考えていますが、こういう会にはなかなかこれられません。例えば、婦人会や看護婦さんにも参加してほしい。男女共同参画も考えていただきたいと思います。

(討論参加者 武富 寛幸 さん)

自然環境の活動に取り組んでいる団体に女性もいます。守山では女性が主流的な役割を果たしています。女性が目立たないことはないと思います。委員は、やはり活動している人にしないと、元肩書で選ぶのでは趣旨に反します。

(討論参加者 太田 利貞 さん)

野洲川に子供が近づいていないという問題について考えていかなければならないと思います。子供たちの意見をとり入れるためにも、野洲川に近い小学校の先生に入っただけならば、野洲川に子供を近づけることが、本当に良いのか悪いのかなど、幅広くなるのではと思います。

(傍聴者 東郷 尚 さん)

市町や議員の代表等は、いい意見を述べていません。公募等ですらよしと勉強されている方は、意気込みが違いますし考え方も違いますので、縦型よりも横型で選出した方が充実したものになると思います。

(傍聴者 下田 義春 さん)

守山市の立入町、栗東市の出庭町は、昭和の終わりに河川敷に民地があり、その民地を国が安い値段で買い上げたという話があります。その時の条件に、運動公園的なこともあったと聞いていますので、そちらの方もメンバーに入れていただきたいと思います。



下田さん

(傍聴者 長尾 是史 さん)

この利用委員会は、公園やグラウンドを造りたいということに対する賛否を決めるものなのか、あるいは日常的に野洲川をどうしていったらいいか検討するものなのか、どういう性格のものでしょうか。

(国土交通省 琵琶湖河川事務所 林占用調整課長)

詳細はまだ決まっていません。既設あるいは新設の施設関係について議論していただく委員会と認識しています。

(傍聴者 田島 卓明 さん)

グラウンドは、どういう場所にどういうふう存在するかが重要だと思います。私の見る限りでは連続的に使われているので、これをもう少しばらまいて存在させればいいと思います。施設の造り方を工夫しその配置を考えることで、自然をうまく利用した河川敷ができるのではないかと思います。これらの判断ができる人をメンバーに加えて欲しいです。



田島さん

総評

(ファシリテーター 笠先生)

私自身河川敷は、利用していくことも必要ですが、もうちょっと自然寄り系の方かなと思います。全体に自然系に戻していこうとしている世界的な流れの中で、ちょっと日本は立ち遅れているということがあるので、自然寄りの方だと私個人は思っています。

私は川だけの問題ではなく、町の中全体をむしろ生物にどう利用させるのか、住み場所、生物との付き合いをどうするのかを考えるべきだと思います。その1つが河川敷だという位置付けで考えています。

ヨーロッパは70年代から人間と生物はどうつき合うべきかという、生物の生存の権利等を国の中でかなり話し合っています。私は生物と人間がどうつき合うかということの議論が、日本は抜けていると思います。いろんな歴史的な条件の中で仕方がないとは思いますが、ヨーロッパではその辺の議論がされた上で、いわゆる近自然工法や、河川をもう一度見直すという動きが出てきています。そういう流れであるということだけは理解していただければありがたいと思います。